

(様式第10)

鹿第病総第 431 号

令和 5 年 10 月 5 日

厚生労働大臣 殿

開設者名 国立大学法人鹿児島大学長

佐野 輝

鹿児島大学病院の業務に関する報告について

標記について、医療法(昭和23年法律第205号)第12条の3第1項及び医療法施行規則(昭和23年厚生省令第50号)第9条の2の2の第1項の規定に基づき、令和4年度の業務に関して報告します。

1 開設者の住所及び氏名

住所	〒890-8580 鹿児島県鹿児島市郡元1丁目21番24号
氏名	国立大学法人鹿児島大学

(注) 開設者が法人である場合は、「住所」欄には法人の主たる事務所の所在地を、「氏名」欄には法人の名称を記入すること。

2 名称

鹿児島大学病院

3 所在の場所

〒890-8520 鹿児島県鹿児島市桜ヶ丘8丁目35番1号
電話(099) 275 - 5111(代表)

4 診療科名

4-1 標榜する診療科名の区分

<input type="radio"/>	1 医療法施行規則第六条の四第一項の規定に基づき、有すべき診療科名すべてを標榜
<input type="radio"/>	2 医療法施行規則第六条の四第四項の規定により読み替えられた同条第一項の規定に基づき、がん、循環器疾患等の疾患に関し、高度かつ専門的な医療を提供する特定機能病院として、十以上の診療科名を標榜

(注) 上記のいずれかを選択し○を付けること。

4-2 標榜している診療科名

(1) 内科

内科				有			
内科と組み合わせた診療科名等							
<input type="radio"/>	1呼吸器内科	<input type="radio"/>	2消化器内科	<input type="radio"/>	3循環器内科	<input type="radio"/>	4腎臓内科
<input type="radio"/>	5神経内科	<input type="radio"/>	6血液内科	<input type="radio"/>	7内分泌内科	<input type="radio"/>	8代謝内科
<input type="radio"/>	9感染症内科	<input type="radio"/>	10アレルギー疾患内科またはアレルギー科	<input type="radio"/>	11リウマチ科		
診療実績							
「腎臓内科」・「血液内科」・「内分泌内科」の診療内容は「内科」、「神経内科」の診療内容は「脳神経内科」、「代謝内科」・「感染症内科」・「アレルギー疾患内科またはアレルギー科」の診療内容は、「皮膚科」・「耳鼻咽喉科」・「呼吸器内科」等の複数の診療科で提供している。							

(注) 1 「内科と組み合わせた診療科名等」欄については、標榜している診療科名に○印を付けること。

2 「診療実績」欄については、「内科と組み合わせた診療科名等」欄において、標榜していない診療科がある場合、その診療科で提供される医療を、他の診療科で提供している旨を記載すること。

(2) 外科

外科					有	
外科と組み合わせた診療科名						
○	1呼吸器外科	○	2消化器外科		3乳腺外科	4心臓外科
	5血管外科	○	6心臓血管外科		7内分泌外科	○ 8小児外科
診療実績						
「乳腺外科」、「内分泌外科」の診療内容は「外科」で提供している。						

- (注) 1 「外科と組み合わせた診療科名」欄については、標榜している診療科名に○印を付けること。
 2 「診療実績」欄については、「外科」「呼吸器外科」「消化器外科」「乳腺外科」「心臓外科」「血管外科」「心臓血管外科」「内分泌外科」「小児外科」のうち、標榜していない科がある場合は、他の標榜科での当該医療の提供実績を記載すること(「心臓血管外科」を標榜している場合は、「心臓外科」「血管外科」の両方の診療を提供しているとして差し支えないこと)。

(3) その他の標榜していることが求められる診療科名

○	1精神科	○	2小児科	○	3整形外科	○	4脳神経外科
○	5皮膚科	○	6泌尿器科		7産婦人科	○	8産科
○	9婦人科	○	10眼科	○	11耳鼻咽喉科	○	12放射線科
	13放射線診断科		14放射線治療科	○	15麻酔科	○	16救急科

- (注) 標榜している診療科名に○印を付けること。

(4) 歯科

歯科					有	
歯科と組み合わせた診療科名						
○	1小児歯科	○	2矯正歯科	○	3歯科口腔外科	
歯科の診療体制						

- (注) 1 「歯科」欄及び「歯科と組み合わせた診療科名」欄については、標榜している診療科名に○印を付けること。
 2 「歯科の診療体制」欄については、医療法施行規則第六条の四第五項の規定により、標榜している診療科名として「歯科」を含まない病院については記入すること。

(5) (1)～(4)以外でその他に標榜している診療科名

1	心療内科	2	リハビリテーション科	3	病理診断科	4		5	
6		7		8		9		10	
11		12		13		14		15	
16		17		18		19		20	
21		22		23		24		25	

- (注) 標榜している診療科名について記入すること。

5 病床数

精神	感染症	結核	療養	一般	合計	(単位:床)
40	1	0	0	612	653	

6 医師、歯科医師、薬剤師、看護師及び准看護師、管理栄養士その他の従業者の員数

職種	常勤	非常勤	合計
医師	230	272	416.8
歯科医師	94	36	106.3
薬剤師	41	2	41.6
保健師	0	0	0
助産師	21	1	21.4
看護師	645	37	672.1
准看護師	0	0	0
歯科衛生士	14	2	16
管理栄養士	11	4	15

職種	員数
看護補助者	56
理学療法士	24
作業療法士	11
視能訓練士	5
義肢装具士	0
臨床工学士	22
栄養士	0
歯科技工士	4
診療放射線技師	42

職種	員数
診療エックス線技師	0
臨床検査技師	51
衛生検査技師	0
その他	3
あん摩マッサージ指圧師	0
医療社会事業従事者	14
その他の技術員	21
事務職員	169
その他の職員	105

- (注) 1 報告書を提出する年度の10月1日現在の員数を記入すること。
 2 栄養士の員数には、管理栄養士の員数は含めないで記入すること。
 3 「合計」欄には、非常勤の者を当該病院の常勤の従事者の通常の勤務時間により常勤換算した員数と常勤の者の員数の合計を小数点以下2位を切り捨て、小数点以下1位まで算出して記入すること。それ以外の欄には、それぞれの員数の単純合計員数を記入すること。

7 専門の医師数

専門医名	人数(人)	専門医名	人数(人)
総合内科専門医	49	眼科専門医	12
外科専門医	40	耳鼻咽喉科専門医	8
精神科専門医	11	放射線科専門医	16
小児科専門医	15	脳神経外科専門医	12
皮膚科専門医	6	整形外科専門医	12
泌尿器科専門医	12	麻酔科専門医	18
産婦人科専門医	15	救急科専門医	9
		合計	235

- (注) 1 報告書を提出する年度の10月1日現在の員数を記入すること。
 2 人数には、非常勤の者を当該病院の常勤の従事者の通常の勤務時間により常勤換算した員数と常勤の者の員数の合計を小数点以下1位を切り捨て、整数で算出して記入すること。

8 管理者の医療に係る安全管理の業務の経験

管理者名 (坂本 泰二) 任年月日 令和 2 年 4 月 1 日

- ・副病院長(医科担当):平成29年度～令和元年度
- ・医療安全管理委員会 委員:平成29年度～
- ・感染症対策委員会 委員:令和元年度～

9 前年度の平均の入院患者、外来患者及び調剤の数

歯科、矯正歯科、小児歯科及び歯科口腔外科の前年度の平均の入院患者及び外来患者の数

	歯科等以外	歯科等	合計
1日当たり平均入院患者数	496.4 人	22.3 人	518.7 人
1日当たり平均外来患者数	1201.1 人	392.8 人	1593.9 人
1日当たり平均調剤数	1,040		剤
必要医師数	123		人
必要歯科医師数	7		人
必要薬剤師数	18		人
必要(准)看護師数	314		人

- (注) 1 「歯科等」欄には、歯科、矯正歯科、小児歯科及び歯科口腔外科を受診した患者数を、「歯科等以外」欄にはそれ以外の診療料を受診した患者数を記入すること。
 2 入院患者数は、前年度の各科別の入院患者延数(毎日の24時現在の在院患者数の合計)を暦日で除した数を記入すること。
 3 外来患者数は、前年度の各科別の外来患者延数をそれぞれ病院の年間の実外来診療日数で除した数を記入すること。
 4 調剤数は、前年度の入院及び外来別の調剤延数をそれぞれ暦日及び実外来診療日数で除した数を記入すること。
 5 必要医師数、必要歯科医師数、必要薬剤師数及び必要(准)看護師数については、医療法施行規則第二十二條

10 施設の構造設備

施設名	床面積	主要構造	設備概要			
			病床数			
集中治療室	320 m ²	鉄筋コンクリート	14 床	有	心電計	有
			人工呼吸装置	有	心細動除去装置	有
			その他の救急蘇生装置	有	ペースメーカー	有
無菌病室等	[固定式の場合]	床面積	379 m ²		病床数	26 床
	[移動式の場合]	台数	0 台			
医薬品情報管理室	[専用室の場合]	床面積				m ²
	[共用室の場合]	共用する室名			病棟薬剤業務管理室	
化学検査室	304 m ²	鉄筋コンクリート	(主な設備)	生化学自動分析装置、免疫比濁分析装置、免疫蛍光分析装置、免疫発光測定装置、蛋白分画電気泳動分析装置、グルコース分析装置、グリコヘモグロビン分析装置、血液計数装置、血液塗抹標本作製装置、フローサイトメータ、顕微鏡		
細菌検査室	45 m ²	鉄筋コンクリート	(主な設備)	血液培養自動分析装置、遺伝子解析装置、嫌気培養装置、炭酸ガス培養装置、抗酸菌培養検査装置、微生物分類同定分析装置、微生物感受性分析装置、微生物由来成分質量分析装置、安全キャビネット、クリーンベンチ、遺伝子抽出装置、好気培養装置、顕微鏡		
病理検査室	159 m ²	軽量鉄骨造	(主な設備)	密閉式自動固定包埋装置、パラフィン包埋ブロック作製装置、滑走式マイクローム、自動染色装置、自動封入装置、自動免疫染色装置、凍結切片作製装置、集細胞遠心装置、顕微鏡、病理・細胞診検査業務支援システム、液状処理細胞診前処理装置		
病理解剖室	33 m ²	軽量鉄骨造	(主な設備)	バイオハザード対応排気システム、排水蒸気滅菌処理システム		
研究室	8,026 m ²	鉄筋コンクリート	(主な設備)	ガスクロマトグラフ、電子顕微鏡		
講義室	655 m ²	鉄筋コンクリート	室数	3 室	収容定員	499 人
図書室	2,007 m ²	鉄筋コンクリート	室数	11 室	蔵書数	122,344 冊程度

- (注) 1 主要構造には、鉄筋コンクリート、簡易耐火、木造等の別を記入すること。
 2 主な設備は、主たる医療機器、研究用機器、教育用機器を記入すること。

11 紹介率及び逆紹介率の前年度の平均値

紹介率	78.2	%	逆紹介率	69.2	%
算出 根拠	A: 紹介患者の数		14,932		人
	B: 他の病院又は診療所に紹介した患者の数		14,487		人
	C: 救急用自動車によって搬入された患者の数		1,450		人
	D: 初診の患者の数		20,950		人

- (注) 1 「紹介率」欄は、A、Cの和をDで除した数に100を乗じて小数点以下第1位まで記入すること。
 2 「逆紹介率」欄は、BをDで除した数に100を乗じて小数点以下第1位まで記入すること。
 3 A、B、C、Dは、それぞれの前年度の延数を記入すること。

12 監査委員会の委員名簿及び委員の選定理由(注)

氏名	所属	委員長 (○を付す)	選定理由	利害 関係	委員の要件 該当状況
栗原 慎太郎	長崎大学病院	○	医療に係る安全管理に関する識見を有する者	無	1
蓑毛 まりえ	さくら総合法律事務所		法律に関する識見を有する者	無	1
三好 綾	NPO法人 がんサポートかごしま		医療を受ける者	無	2

- (注) 「委員の要件該当状況」の欄は、次の1~3のいずれかを記載すること。
 1. 医療に係る安全管理又は法律に関する識見を有する者その他の学識経験を有する者
 2. 医療を受ける者その他の医療従事者以外の者(1.に掲げる者を除く。)
 3. その他

13 監査委員会の委員名簿及び委員の選定理由の公表の状況

委員名簿の公表の有無	有
委員の選定理由の公表の有無	有
公表の方法	
鹿児島大学ホームページに掲載。	

(様式第2)

高度の医療の提供の実績

1 承認を受けている先進医療の種類(注1)及び取扱患者数

先進医療の種類	取扱患者数 (人)
糖鎖ナノテクノロジーを用いた高感度ウイルス検査	0
先進医療の種類合計	1
取扱患者数の合計(人)	0

(注) 1 「先進医療の種類」欄には、厚生労働大臣の定める先進医療及び施設基準(平成二十年厚生労働省告示第百二十九号)第二各号に掲げる先進医療について記入すること。

(注) 2 「取扱患者数」欄には、前年度の年間実患者数を記入すること。

(様式第2)

高度の医療の提供の実績

2 承認を受けている先進医療の種類(注1)及び取扱患者数

先進医療の種類	取扱患者数 (人)
インターフェロンα皮下投与及びジドブジン経口投与の併用療法 成人T細胞白血病リンパ腫(症候を有するくすり型又は予後不良因子を有さない慢性型のものに限る。)	0
腹腔鏡下センチネルリンパ節生検 早期胃がん	0
テモゾロミド用量強化療法 膠芽腫(初発時の初期治療後に再発又は増悪したのものに限る。)	0
S-1内服投与並びにパクリタキセル静脈内及び腹腔くう内投与の併用療法 膵臓がん(遠隔転移しておらず、かつ、腹膜転移を伴うものに限る。)	0
先進医療の種類合計数	4
扱い患者数の合計(人)	0

(注) 1 「先進医療の種類」欄には、厚生労働大臣の定める先進医療及び施設基準(平成二十年厚生労働省告示第百二十九号)第三各号に掲げる先進医療について記入すること。

(注) 2 「扱い患者数」欄には、前年度の年間実患者数を記入すること。

(様式第2)

高度の医療の提供の実績

3 その他の高度の医療

医療技術名		取扱患者数	
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	
当該医療技術の概要			

(注) 1 当該医療機関において高度の医療と判断するものが他にあれば、前年度の実績を記入すること。

(注) 2 医療法施行規則第六条の四第四項の規定に基づき、がん、循環器疾患等の疾患に関し、高度かつ専門的な医療を提供する特定機能病院として十以上の診療科名を標榜する病院については、他の医療機関での実施状況を含め、当該医療技術が極めて先駆的であることについて記入すること(当該医療が先進医療の場合についても記入すること)。

その他の高度医療の種類合計数	0
扱い患者数の合計(人)	0

(様式第2)

高度の医療の提供の実績

4 指定難病についての診療①

	疾患名	患者数		疾患名	患者数
1	球脊髄性筋萎縮症	1	56	下垂体性ADH分泌異常症	22
2	筋萎縮性側索硬化症	11	57	下垂体性TSH分泌亢進症	4
3	脊髄性筋萎縮症	35	58	下垂体性PRL分泌亢進症	5
4	進行性核上性麻痺	8	59	クッシング病	11
5	パーキンソン病	89	60	下垂体性ゴナドトロピン分泌亢進症	2
6	大脳皮質基底核変性症	4	61	下垂体性成長ホルモン分泌亢進症	29
7	ハンチントン病	2	62	下垂体前葉機能低下症	172
8	神経有棘赤血球症	1	63	家族性高コレステロール血症(ホモ接合体)	1
9	シャルコー・マリー・トウス病	2	64	先天性副腎皮質酵素欠損症	3
10	重症筋無力症	81	65	アジソン病	3
11	多発性硬化症/視神経脊髄炎	69	66	サルコイドーシス	80
12	慢性炎症性脱髄性多発神経炎/多巣性運動ニューロパチー	16	67	特発性間質性肺炎	44
13	封入体筋炎	4	68	肺動脈性肺高血圧症	64
14	クドウ・深瀬症候群	4	69	慢性血栓塞栓性肺高血圧症	87
15	多系統萎縮症	12	70	リンパ脈管筋腫症	5
16	脊髄小脳変性症(多系統萎縮症を除く)	34	71	網膜色素変性症	47
17	ライゾゾーム病	19	72	パッド・キアリ症候群	1
18	副腎白質ジストロフィー	1	73	原発性胆汁性胆管炎	15
19	ミトコンドリア病	17	74	原発性硬化性胆管炎	4
20	もやもや病	47	75	自己免疫性肝炎	16
21	プリオン病	1	76	クローン病	101
22	HTLV-1関連脊髄症	20	77	潰瘍性大腸炎	117
23	全身性アミロイドーシス	21	78	好酸球性消化管疾患	8
24	神経線維腫症	44	79	慢性特発性偽性腸閉塞症	2
25	天疱瘡	13	80	コストロ症候群	1
26	膿疱性乾癬(汎発型)	22	81	チャージ症候群	1
27	高安動脈炎	21	82	クリオピリン関連周期熱症候群	3
28	巨細胞性動脈炎	9	83	若年性特発性関節炎	11
29	結節性多発動脈炎	5	84	ブラウ症候群	1
30	顕微鏡的多発血管炎	22	85	先天性ミオパチー	1
31	多発血管炎性肉芽腫症	10	86	筋ジストロフィー	14
32	好酸球性多発血管炎性肉芽腫症	23	87	脊髄空洞症	4
33	悪性関節リウマチ	8	88	脊髄髄膜瘤	1
34	バージャー病	5	89	アイザックス症候群	6
35	原発性抗リン脂質抗体症候群	2	90	遺伝性ジストニア	2
36	全身性エリテマトーデス	332	91	脳表ヘモジデリン沈着症	2
37	皮膚筋炎/多発性筋炎	122	92	前頭側頭葉変性症	5
38	全身性强皮症	141	93	神経細胞移動異常症	3
39	混合性結合組織病	34	94	ウエスト症候群	1
40	シェーグレン症候群	45	95	大田原症候群	1
41	成人スチル病	16	96	早期ミオクロニー脳症	1
42	再発性多発軟骨炎	4	97	結節性硬化症	5
43	ベーチェット病	88	98	類天疱瘡(後天性表皮水疱症を含む)	24
44	特発性拡張型心筋症	42	99	特発性後天性全身性無汗症	14
45	肥大型心筋症	18	100	弾性線維性仮性黄色腫	2
46	再生不良性貧血	24	101	マルファン症候群	9
47	自己免疫性溶血性貧血	5	102	エーラス・ダンロス症候群	1
48	特発性血小板減少性紫斑病	34	103	ウィルソン病	3
49	原発性免疫不全症候群	9	104	ウィリアムズ症候群	1
50	IgA腎症	19	105	アントレー・ピクスラー症候群	2
51	多発性嚢胞腎	35	106	多脾症候群	1
52	黄色靱帯骨化症	12	107	無脾症候群	4
53	後縦靱帯骨化症	84	108	ウェルナー症候群	2
54	広範脊柱管狭窄症	3	109	プラダー・ウィリ症候群	1
55	特発性大腿骨頭壊死症	39	110	22q11.2欠失症候群	2

(様式第2)

高度の医療の提供の実績

4 指定難病についての診療②

	疾患名	患者数		疾患名	患者数
111	修正大血管転位症	2	166		
112	完全大血管転位症	2	167		
113	単心室症	6	168		
114	左心低形成症候群	6	169		
115	三尖弁閉鎖症	3	170		
116	ファロー四徴症	9	171		
117	両大血管右室起始症	3	172		
118	エプスタイン病	2	173		
119	アルポート症候群	1	174		
120	急速進行性糸球体腎炎	2	175		
121	一次性ネフローゼ症候群	19	176		
122	一次性膜性増殖性糸球体腎炎	1	177		
123	紫斑病性腎炎	6	178		
124	間質性膀胱炎(ハンナ型)	3	179		
125	オスラー病	9	180		
126	肺胞低換気症候群	1	181		
127	α 1-アンチトリプシン欠乏症	1	182		
128	副甲状腺機能低下症	1	183		
129	偽性副甲状腺機能低下症	1	184		
130	フェニルケトン尿症	2	185		
131	プロピオン酸血症	1	186		
132	メチルマロン酸血症	2	187		
133	肝型糖原病	1	188		
134	家族性地中海熱	2	189		
135	慢性再発性多発性骨髄炎	1	190		
136	強直性脊椎炎	5	191		
137	クローンカイト・カナダ症候群	3	192		
138	総排泄腔遺残	2	193		
139	胆道閉鎖症	6	194		
140	アラジール症候群	1	195		
141	嚢胞性線維症	2	196		
142	IgG4関連疾患	17	197		
143	黄斑ジストロフィー	2	198		
144	レーベル遺伝性視神経症	2	199		
145	好酸球性副鼻腔炎	31	200		
146	特発性多中心性キャッスルマン病	2	201		
147	ホモシスチン尿	1	202		
148			203		
149			204		
150			205		
151			206		
152			207		
153			208		
154			209		
155			210		
156			211		
157			212		
158			213		
159			214		
160			215		
161			216		
162			217		
163			218		
164			219		
165			220		

(注) 「患者数」欄には、前年度の年間実患者数を記入すること。

疾患数	147
合計患者数(人)	2,922

(様式第2)

高度の医療の提供の実績

5 届出が受理されている診療報酬制度における施設基準等(基本診療料)

施設基準の種類	施設基準の種類
地域歯科診療支援病院歯科初診料	ハイリスク分娩管理加算
歯科外来診療環境体制加算2	後発医薬品使用体制加算1
歯科診療特別対応連携加算	病棟薬剤業務実施加算1
特定機能病院入院基本料	病棟薬剤業務実施加算2
救急医療管理加算	データ提出加算
超急性期脳卒中加算	入退院支援加算
診療録管理体制加算1	認知症ケア加算
医師事務作業補助体制加算1	せん妄ハイリスク患者ケア加算
急性期看護補助体制加算	精神疾患診療体制加算
看護職員夜間配置加算	精神科急性期医師配置加算
療養環境加算	地域医療体制確保加算
重症者等療養環境特別加算	救命救急入院料1
無菌治療室管理加算1	特定集中治療室管理料1
無菌治療室管理加算2	新生児特定集中治療室管理料1
放射線治療病室管理加算(治療用放射性同位元素による場合)	小児入院医療管理料2
緩和ケア診療加算	特定機能病院リハビリテーション病棟入院料
精神科身体合併症管理加算	看護職員処遇改善評価料
精神科リエゾンチーム加算	入院時食事療養/生活療養(I)
摂食障害入院医療管理加算	
栄養サポートチーム加算	
医療安全対策加算1	
感染対策向上加算1	
患者サポート体制充実加算	
重症患者初期支援充実加算	
褥瘡ハイリスク患者ケア加算	
ハイリスク妊娠管理加算	

(様式第2)

高度の医療の提供の実績

6 届出が受理されている診療報酬制度における施設基準等(特掲診療料)①

施設基準の種類	施設基準の種類
歯科治療時医療管理料	検査・画像情報提供加算及び電子的診療情報評価料
在宅患者歯科治療時医療管理料	医療機器安全管理料
ウイルス疾患指導料	在宅植込型補助人工心臓(非拍動流型)指導管理料
心臓ペースメーカー指導管理料の注5に掲げる遠隔モニタリング加算	在宅腫瘍治療電場療法指導管理料
糖尿病合併症管理料	在宅経肛門的自己洗腸指導管理料
がん性疼痛緩和指導管理料	持続血糖測定器加算(間歇注入シリンジポンプと連動する持続血糖測定器を用いる場合)及び皮下連続式グルコース測定
がん患者指導管理料イ・ロ・ハ・ニ	持続血糖測定器加算(間歇注入シリンジポンプと連動しない持続血糖測定器を用いる場合)
外来緩和ケア管理料	遺伝学的検査
移植後患者指導管理料(臓器移植後)	染色体検査の注2に規定する基準
移植後患者指導管理料(造血幹細胞移植後)	有床義歯咀嚼機能検査1のイ
糖尿病透析予防指導管理料	有床義歯咀嚼機能検査1のロ及び咀嚼能力検査
小児運動器疾患指導管理料	有床義歯咀嚼機能検査2のイ
乳腺炎重症化予防ケア・指導料	有床義歯咀嚼機能検査2のロ及び咬合圧検査
婦人科特定疾患治療管理料	精密触覚機能検査
腎代替療法指導管理料	骨髄微小残存病変量測定
一般不妊治療管理料	BRCA1/2遺伝子検査
生殖補助医療管理料2	がんゲノムプロファイリング検査
二次性骨折予防継続管理料1	先天性代謝異常症検査
下肢創傷処置管理料	抗アデノ随伴ウイルス9型(AAV9)抗体
外来放射線照射診療料	抗HLA抗体(スクリーニング検査)及び抗HLA抗体(抗体特異性同定検査)
外来腫瘍化学療法診療料1	HPV核酸検出及びHPV核酸検出(簡易ジェノタイプ判定)
ニコチン依存症管理料	ウイルス・細菌核酸多項目同時検出
がん治療連携計画策定料	検体検査管理加算(I)
肝炎インターフェロン治療計画料	検体検査管理加算(IV)
ハイリスク妊産婦連携指導料2	国際標準検査管理加算
薬剤管理指導料	遺伝カウンセリング加算

高度の医療の提供の実績

6 届出が受理されている診療報酬制度における施設基準等(特掲診療料)②

施設基準の種類	施設基準の種類
遺伝性腫瘍カウンセリング加算	乳房MRI撮影加算
心臓カテーテル法による諸検査の血管内視鏡検査加算	小児鎮静下MRI撮影加算
胎児心エコー法	頭部MRI撮影加算
時間内歩行試験及びシャトルウォーキングテスト	抗悪性腫瘍剤処方管理加算
ヘッドアップティルト試験	外来化学療法加算1
人工臓臓検査、人工臓臓療法	無菌製剤処理料
長期継続頭蓋内脳波検査	心大血管疾患リハビリテーション料(Ⅰ)
長期脳波ビデオ同時記録検査1	脳血管疾患等リハビリテーション料(Ⅰ)
脳波検査判断料1	運動器リハビリテーション料(Ⅰ)
神経学的検査	呼吸器リハビリテーション料(Ⅰ)
補聴器適合検査	がん患者リハビリテーション料
ロービジョン検査判断料	歯科口腔リハビリテーション料2
コンタクトレンズ検査料1	認知療法・認知行動療法1
小児食物アレルギー負荷検査	抗精神病特定薬剤治療指導管理料(治療抵抗性統合失調症治療指導管理料に限る。)
内服・点滴誘発試験	医療保護入院等診療料
経気管支凍結生検法	口腔粘膜処置
画像診断管理加算3	レーザー機器加算
歯科画像診断管理加算1	エタノールの局所注入(甲状腺)
歯科画像診断管理加算2	エタノールの局所注入(副甲状腺)
ポジトロン断層撮影	導入期加算2及び腎代替療法実績加算
ポジトロン断層・コンピューター断層複合撮影	移植後抗体関連型拒絶反応治療における血漿交換療法
CT撮影及びMRI撮影	手術用顕微鏡加算
冠動脈CT撮影加算	う蝕歯無痛的窩洞形成加算
外傷全身CT加算	CAD/CAM冠及びCAD/CAMインレー
血流予備比コンピューター断層撮影	手術時歯根面レーザー応用加算
心臓MRI撮影加算	歯科技工加算1及び2

高度の医療の提供の実績

6 届出が受理されている診療報酬制度における施設基準等(特掲診療料)③

施設基準の種類	施設基準の種類
センチネルリンパ節加算	乳がんセンチネルリンパ節加算2及びセンチネルリンパ節生検(単独)
骨移植術(軟骨移植術を含む。)(自家培養軟骨移植術に限る。)	胸腔鏡下拡大胸腺摘出術(内視鏡手術用支援機器を用いる場合)
椎間板内酵素注入療法	胸腔鏡下縦隔悪性腫瘍手術(内視鏡手術用支援機器を用いる場合)
内視鏡下脳腫瘍生検術及び内視鏡下脳腫瘍摘出術	胸腔鏡下良性縦隔腫瘍手術(内視鏡手術用支援機器を用いる場合)
脳刺激装置植込術及び脳刺激装置交換術	胸腔鏡下肺悪性腫瘍手術(区域切除で内視鏡支援機器を用いる場合)
脊髄刺激装置植込術及び脊髄刺激装置交換術	胸腔鏡下肺悪性腫瘍手術(肺葉切除又は1肺葉を超えるもので内視鏡手術用支援機器を用いる場合)
癒着性脊髄くも膜炎手術(脊髄くも膜剥離操作を行うもの)	胸腔鏡下食道悪性腫瘍手術(内視鏡手術用支援機器を用いる場合)
角結膜悪性腫瘍切除術	縦隔鏡下食道悪性腫瘍手術(内視鏡手術用支援機器を用いる場合)
角膜移植手術 内皮移植加算	食道縫合術(穿孔、損傷)(内視鏡によるもの)、内視鏡下胃、十二指腸穿孔瘻孔閉鎖術、胃瘻閉鎖術(内視鏡によるもの)、等
緑内障手術(緑内障治療用インプラント挿入術(プレートのあるもの))	経皮的冠動脈形成術(特殊カテーテルによるもの)
緑内障手術(流出路再建術(眼内法)及び水晶体再建術併用眼内ドレーン挿入術)	胸腔鏡下弁形成術
緑内障手術(濾過胞再建術(needle法))	経カテーテル大動脈弁置換術(経心尖大動脈弁置換術及び経皮的な大動脈弁置換術)
網膜付着組織を含む硝子体切除術(眼内内視鏡を用いるもの)	胸腔鏡下弁置換術
網膜再建術	経皮的僧帽弁クリップ術
経外耳道的内視鏡下鼓室形成術	不整脈手術 左心耳閉鎖術(経カテーテル的手術によるもの)
人工内耳植込術、植込型骨導補聴器移植術及び植込型骨導補聴器交換術	経皮的な中隔心筋焼灼術
内視鏡下鼻・副鼻腔手術5型(拡大副鼻腔手術)及び経鼻内視鏡下鼻副鼻腔悪性腫瘍手術(頭蓋底郭清、再建を伴うもの)	ペースメーカー移植術及びペースメーカー交換術
鏡視下咽頭悪性腫瘍手術(軟口蓋悪性腫瘍手術を含む。)	ペースメーカー移植術及びペースメーカー交換術(リードレスペースメーカー)
内喉頭筋内注入術(ボツリヌス毒素によるもの)	両心室ペースメーカー移植術(経静脈電極の場合)及び両心室ペースメーカー交換術(経静脈電極の場合)
鏡視下喉頭悪性腫瘍手術	植込型除細動器移植術(経静脈リードを用いるもの又は皮下植込型リードを用いるもの)、植込型除細動器交換術(その他のもの)及び経静脈電極除去術
喉頭形成手術(甲状軟骨固定用器具を用いたもの)	両室ペーシング機能付き植込型除細動器移植術(経静脈電極の場合)及び両室ペーシング機能付き植込型除細動器交換術(経静脈電極の場合)
上顎骨形成術(骨移動を伴う場合に限る。)(歯科)、下顎骨形成術(骨移動を伴う場合に限る。)(歯科)	大動脈バルーンパンピング法(IABP法)
内視鏡下甲状腺部分切除、腺腫摘出術、内視鏡下バセドウ甲状腺全摘(亜全摘)術(両葉)、内視鏡下副甲状腺(上皮小体)腺腫過形成手術	経皮的な循環補助法(ポンプカテーテルを用いたもの)
内視鏡下甲状腺悪性腫瘍手術	補助人工心臓
乳腺腫瘍画像ガイド下吸引術(一連につき)(MRIによるもの)	経皮的な下肢動脈形成術
乳がんセンチネルリンパ節加算1及びセンチネルリンパ節生検(併用)	腹腔鏡下リンパ節群郭清術(後腹膜)

高度の医療の提供の実績

6 届出が受理されている診療報酬制度における施設基準等(特掲診療料)④

施設基準の種類	施設基準の種類
腹腔鏡下リンパ節群郭清術(傍大動脈)	生体腎移植術
腹腔鏡下リンパ節群郭清術(側方)	膀胱水圧拡張術
腹腔鏡下小切開骨盤内リンパ節群郭清術、腹腔鏡下小切開後腹膜リンパ節群郭清術、腹腔鏡下小切開後腹膜腫瘍摘出術、等	腹腔鏡下膀胱悪性腫瘍手術(内視鏡手術用支援機器を用いる場合)
内視鏡的逆流防止粘膜切除術	腹腔鏡下膀胱悪性腫瘍手術
内視鏡的逆流防止粘膜切除術	人工尿道括約筋植込・置換術
腹腔鏡下十二指腸局所切除術(内視鏡処置を併施するもの)	膀胱頸部形成術(膀胱頸部吊上術以外)、埋没陰茎手術及び陰嚢水腫手術(鼠径部切開によるもの)
腹腔鏡下胃切除術(単純切除術(内視鏡手術用支援機器を用いる場合)及び腹腔鏡下胃切除術(悪性腫瘍手術(内視鏡手術用支援機器を用いるもの))	精巣内精子採取術
腹腔鏡下噴門側胃切除術(単純切除術(内視鏡手術用支援機器を用いる場合)及び腹腔鏡下噴門側胃切除術(悪性腫瘍手術(内視鏡手術用支援機器を用いるもの))	腹腔鏡下前立腺悪性腫瘍手術
腹腔鏡下胃全摘術(単純全摘術(内視鏡手術用支援機器を用いる場合)及び腹腔鏡下胃全摘術(悪性腫瘍手術(内視鏡手術用支援機器を用いるもの))	腹腔鏡下前立腺悪性腫瘍手術(内視鏡手術用支援機器を用いるもの)
バルーン閉塞下逆行性経静脈的塞栓術	腹腔鏡下仙骨腔固定術(内視鏡手術用支援機器を用いる場合)
腹腔鏡下総胆管拡張症手術(内視鏡手術用支援機器を用いる場合)	腹腔鏡下腔式子宮全摘術(内視鏡手術用支援機器を用いる場合)
腹腔鏡下胆嚢悪性腫瘍手術(胆嚢床切除を伴うもの)	腹腔鏡下子宮悪性腫瘍手術(子宮体がんに対して内視鏡手術用支援機器を用いる場合)
胆管悪性腫瘍手術(膵頭十二指腸切除及び肝切除(葉以上)を伴うものに限る。)	腹腔鏡下子宮悪性腫瘍手術(子宮体がんに限る。)
腹腔鏡下肝切除術	腹腔鏡下子宮悪性腫瘍手術(子宮頸がんに限る。)
腹腔鏡下膵腫瘍摘出術	腹腔鏡下子宮瘢痕部修復術
腹腔鏡下膵体尾部腫瘍切除術	体外式膜型人工肺管理料
腹腔鏡下膵体尾部腫瘍切除術(内視鏡手術用支援機器を用いる場合)	医科点数表第2章第10部手術の通則の16に掲げる手術
腹腔鏡下膵頭部腫瘍切除術	医科点数表第2章第10部手術の通則の19に掲げる手術(遺伝性乳癌卵巣癌症候群患者に対する乳房切除術に限る。)(遺伝性乳癌卵巣癌症候群患者に対する子宮付属器腫瘍摘出術)
腹腔鏡下膵頭部腫瘍切除術(内視鏡手術用支援機器を用いる場合)	輸血管理料Ⅱ
早期悪性腫瘍大腸粘膜下層剥離術	自己クリオプレシピテート作製術(用手法)
内視鏡的小腸ポリープ切除術	同種クリオプレシピテート作製術
腹腔鏡下直腸切除・切断術(切除術、低位前方切除術及び切断術に限る。)(内視鏡手術用支援機器を用いる場合)	人工肛門・人工膀胱造設術前処置加算
腹腔鏡下腎盂形成手術(内視鏡手術用支援機器を用いる場合)	胃瘻造設時嚥下機能評価加算
腎腫瘍凝固・焼灼術(冷凍凝固によるもの)	歯周組織再生誘導手術
腹腔鏡下腎悪性腫瘍手術(内視鏡手術用支援機器を用いるもの)	広範囲顎骨支持型装置埋入手術
同種死体腎移植術	歯根端切除手術の注3

高度の医療の提供の実績

6 届出が受理されている診療報酬制度における施設基準等(特掲診療料)⑤

施設基準の種類	施設基準の種類
麻酔管理料(Ⅰ)	
麻酔管理料(Ⅱ)	
歯科麻酔管理料	
放射線治療専任加算	
外来放射線治療加算	
高エネルギー放射線治療	
1回線量増加加算	
強度変調放射線治療(IMRT)	
画像誘導放射線治療(IGRT)	
体外照射呼吸性移動対策加算	
定位放射線治療	
定位放射線治療呼吸性移動対策加算	
画像誘導密封小線源治療加算	
保険医療機関間の連携による病理診断	
保険医療機関間の連携におけるデジタル病理画像による術中迅速病理組織標本作製	
病理診断管理加算2	
デジタル病理画像による病理診断	
悪性腫瘍病理組織標本加算	
口腔病理診断管理加算2	
クラウン・ブリッジ維持管理料	
歯科矯正診断料	
顎口腔機能診断料(顎変形症(顎離断等の手術を必要とするものに限る。)の手術前後における歯科矯正に係るもの)	

(様式第2)

高度の医療の提供の実績

7 診療報酬の算定方法に先進医療から採り入れられた医療技術

施設基準等の種類	施設基準等の種類
腹腔鏡下傍大動脈リンパ節郭清術	

(注) 1 特定機能病院の名称の承認申請の場合には、必ずしも記入しなくともよいこと。

(注) 2 「施設基準等の種類」欄には、特定機能病院の名称の承認申請又は業務報告を行う3年前の4月以降に、診療報酬の算定方法(平成二〇年厚生労働省告示第五九号)に先進医療(当該病院において提供していたものに限る。)から採り入れられた医療技術について記入すること。

8 病理・臨床検査部門の概要

臨床検査及び病理診断を実施する部門の状況	1. 臨床検査部門と病理診断部門は別々である。 2. 臨床検査部門と病理診断部門は同一部門にまとめられている。	
臨床部門が病理診断部門或いは臨床検査部門と開催した症例検討会の開催頻度	150	
剖 検 の 状 況	剖検症例数(例)	14
	剖検率(%)	6.4

(注) 「症例検討会の開催頻度」及び「剖検の状況」欄には、前年度の実績を記入すること。

(様式第3)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

1 研究費補助等の実績

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元	
循環器疾患診療実態調査(JROAD)のデータベースによる心臓サルコイドーシスの診療実態調査と二次調査に基づく診断・治療プロトコールの策定に関する研究	大石 充	心臓血管内科	9,000	委	国立研究開発法人 国立循環器病研究センター
フレイル高齢者のレジストリ研究及びロコモ、サルコペニアを含めた病態解明及び予防介入法の確立を目指した臨床ならびに関連研究	大石 充	心臓血管内科	600,000	委	国立研究開発法人国立長寿医療研究センター
垂水市在住一般住民における前向きコホート研究	大石 充	心臓血管内科	556,400	委	垂水市
持続性心房細動とフレイル共通病態としての心臓周囲脂肪を発生源とした分子機序解明	大石 充	心臓血管内科	2,000,000	委	えびの市立病院
持続性心房細動とフレイル共通病態としての心臓周囲脂肪を発生源とした分子機序解明	大石 充	心臓血管内科	500,000	委	肝属郡医師会立病院
地域住民における脳血管疾患発症に対して効果的な血压管理についての検討	大石 充	心臓血管内科	2,200,000	委	枕崎市立病院
持続性心房細動とフレイル共通病態としての心臓周囲脂肪を発生源とした分子機序解明	大石 充	心臓血管内科	1,700,000	委	垂水中央病院
高齢者コホートデータ人工知能解析によるフレイルネットワーク分析及び予後因子の同定	大石 充	心臓血管内科	780,000	補	日本学術振興会
オルタナティブオートファジーとマクロファージを標的としたサルコペニア治療法の確立	池田 義之	心臓血管内科	650,000	補	日本学術振興会
心房細動患者の認知症予防に関する研究-脳血管障害・血管内皮機能障害との関連-	市来 仁志	心臓血管内科	390,000	補	日本学術振興会
抗がん剤による心筋および骨格筋障害に対するミトコンドリアを介した新規治療法の開発	赤崎 雄一	心臓血管内科	910,000	補	日本学術振興会
肺高血圧症の進行抑制を目的としたフレイルサイクルの多角的評価と介入治療の検討	窪田 佳代子	心臓血管内科	780,000	補	日本学術振興会
BPA治療による血行動態改善後のCTEPH患者における心肺運動負荷試験時ピーク心係数に及ぼすリオンシアートの効果～多施設共同二重盲検ランダム化比較試験～(THERAPY-HYBRID-BPA trial)	窪田 佳代子	心臓血管内科	715,000	委	独立行政法人 国立病院機構岡山医療センター
血漿および白血球中αガラクトシダーゼ活性相違の検討	樋口 公嗣	心臓血管内科	1,170,000	補	日本学術振興会
大動脈弁狭窄症による全身血管変化の分子機序解明-ずり応力による血小板活性化の役割	上田 英昭	心臓血管外科	1,430,000	補	日本学術振興会
肝障害合併成人心臓手術のアシアロ肝シンチグラフィによる術前リスク評価法の確立	松本 和久	心臓血管外科	1,430,000	補	日本学術振興会
大動脈瘤ステントグラフト内挿術前後の凝固線溶動態の解析とエンドリークの機序解明	豊川 建二	心臓血管外科	1,430,000	補	日本学術振興会
生活習慣病が消化器疾患や腎疾患の病態進展に及ぼす影響に関する研究	井戸 章雄	消化器内科	1,000,000	委	高原病院
非切除腫瘍を対象とした腫瘍溶解性ウイルスの腫瘍内局所投与療法の有効性と安全性に関する医師主導試験	井戸 章雄	消化器内科	27,875,919	委	国立研究開発法人 日本医療研究開発機構
2次化学療法実施中の切除不能腫瘍患者におけるElectronic Patient-Reported Outcome (ePRO)を用いたQOL調査研究	有馬 志穂	消化器内科	110,000	委	公益財団法人 パブリックヘルスリサーチセンター
粘膜下層剥離面治癒を促進するHGF含浸外用剤の開発	佐々木 文郷	消化器内科	780,000	補	日本学術振興会
コピー数多型研究に基づいた腸管炎症の新たな重症化機序の解明	上村 修司	消化器内科	1,170,000	補	日本学術振興会
肝細胞癌における腫瘍関連マクロファージに発現するGPNMBの役割	熊谷 公太郎	消化器内科	780,000	補	日本学術振興会
アルコール性肝障害における臓器連関の解析	馬渡 誠一	消化器内科	1,430,000	補	日本学術振興会

小計23件

胃癌に対するセンチネルリンパ節理論の微小免疫環境からの検証	大塚 隆生	消化器外科	2,000,000	委	えびの市
消化器癌に対する血中循環腫瘍細胞を標的とした治療戦略の構築	大塚 隆生	消化器外科	2,000,000	委	小林市立病院
癌のリンパ節転移に対する診断の精度向上に関する研究	大塚 隆生	消化器外科	2,000,000	委	高原病院
切除不能進行・再発食道癌に対する免疫チェックポイント阻害剤の治療効果予測バイオマーカーの探索研究	大塚 隆生	消化器外科	1,200,000	委	垂水中央病院
ゲノム医療が導く究極の膵癌予防法・予防的膵全摘術の適応患者とは？	大塚 隆生	消化器外科	5,850,000	補	日本学術振興会
なぜ膵臓全体が発癌危険地帯に？マイクロバイオームの関与と膵癌早期診断への挑戦	大塚 隆生	消化器外科	2,080,000	補	日本学術振興会
リキッド・バイオプシーを用いた早期胃癌の術前リンパ節転移診断能向上への挑戦	松下 大輔	消化器外科	650,000	補	日本学術振興会
治療抵抗性マイクロRNA・オルガノイド解析に基づいた革新的膵癌治療戦略の確立	伊地知 徹也	消化器外科	1,560,000	補	日本学術振興会
腹腔鏡下肝臓切除術は「真に低侵襲」か？～酸化ストレスからみた影響	川崎 洋太	消化器外科	1,430,000	補	日本学術振興会
オルガノイドによる食道癌発生予防を目指した新規治療薬開発	下之菌 将貴	消化器外科	1,560,000	補	日本学術振興会
J-CAT及びJ-CAT PRIMEを活用した純粋小脳型脊髄小脳変性症のヒストリカルデータの収集	高嶋 博	脳神経内科	143,000	委	国立研究開発法人 国立精神・神経医療研究センター
自己免疫性脳炎における血清・髄液サイトカインプロファイル解析	高嶋 博	脳神経内科	1,000,000	委	肝属郡医師会立病院
認知機能障害性疾患における感染性微生物の網羅的遺伝子解析研究	高嶋 博	脳神経内科	400,000	委	垂水中央病院
自己免疫性脳炎・脳症に関する研究	高嶋 博	脳神経内科	1,300,000	委	出水市立病院機構(出水総合医療センター)
Charcot-Marie-Tooth病の治療を見据えた分子遺伝学的研究	高嶋 博	脳神経内科	5,590,000	補	日本学術振興会
原因不明脳炎の感染症診断に貢献するショットガンメタゲノム解析の新しい研究	崎山 佑介	脳神経内科	1,170,000	補	日本学術振興会
超早期治療による発症抑制を目指したHAM発症前炎症病態の診断に資する研究	松浦 英治	脳神経内科	780,000	補	日本学術振興会
R言語を用いた次世代シーケンサーの網羅的解析パイプラインの構築	安藤 匡宏	脳神経内科	2,210,000	補	日本学術振興会
脊髄小脳変性症の臨床疫学と新規原因遺伝子の同定	樋口 雄二郎	脳神経内科	1,430,000	補	日本学術振興会
鹿児島県てんかん地域診療連携体制整備事業	花谷 亮典	脳神経外科	57,000	委	鹿児島県
新しい水頭症治療システム:代替的髄液拍動緩衝装置の開発	花谷 亮典	脳神経外科	130,000	委	厚地脳神経外科病院
グリオーマ遺伝子パネルによる日本人グリオーマ患者での網羅的ゲノム・エピゲノム解析	比嘉 那優大	脳神経外科	2,470,000	補	日本学術振興会
膠芽腫におけるLPPを中心とした新規浸潤・遊走機構の解明	増田 圭亮	脳神経外科	1,560,000	補	日本学術振興会
悪性神経膠腫におけるテモゾロミド耐性獲得においてオートファジーが果たす役割の解明	米澤 大	脳神経外科	1,040,000	補	日本学術振興会
小細胞肺癌の新規診断マーカーの開発	井上 博雅	呼吸器内科	750,000	委	肝属郡医師会立病院
大隅地方における喘息診療の実態に関する調査研究	井上 博雅	呼吸器内科	300,000	委	垂水中央病院

小計25件

重症喘息およびCOPD患者の地域特性に関連したコホート研究	井上 博雅	呼吸器内科	1,300,000	委	出水市立病院機構(出水総合医療センター)
自然リンパ球と脂質分子に注目した難治性喘息の病態解析	井上 博雅	呼吸器内科	1,300,000	補	日本学術振興会
フェノタイプ・エンドタイプに着目した本邦の喘息患者における3年間予後の検討	町田 健太郎	呼吸器内科	112,200	委	独立行政法人国立病院機構 東京病院
TL1A/DR3シグナルを介したステロイド抵抗性のメカニズム	町田 健太郎	呼吸器内科	1,300,000	補	日本学術振興会
早期特発性肺線維症患者に対するニンテダニブ投与の有効性と安全性に関する解析	内田 章文	呼吸器内科	66,000	委	国立大学法人 長崎大学
マイクロRNAを起点とした肺扁平上皮癌に関する分子経路と新規治療法の探索研究	内田 章文	呼吸器内科	260,000	補	日本学術振興会
機能性RNA分子アトラスに基づく治療抵抗性小細胞肺癌の分子機序の解明	美園 俊祐	呼吸器内科	1,430,000	補	日本学術振興会
STING伝達経路の肺癌進行における役割—免疫療法中心に集学的治療の確立に向けて	佐藤 雅美	呼吸器外科	300,000	委	垂水中央病院
STING伝達経路の肺癌進行における役割—免疫療法中心に集学的治療の確立に向けて	青木 雅也	呼吸器外科	1,430,000	補	日本学術振興会
転写因子BHLHE41/DEC2の発現制御機構の多角的解析と肺癌における臨床意義	永田 俊行	呼吸器外科	910,000	補	日本学術振興会
終末期の病態解明と新規治療法開発—骨髄-脳-筋相関と運動からのアプローチ	浅川 明弘	心身医療科	1,560,000	補	日本学術振興会
治療抵抗性腎細胞癌におけるエクソソームを起点とした耐性獲得機序の解明	榎田 英樹	泌尿器科	2,000,000	委	小林市立病院
治療抵抗性腎細胞癌におけるエクソソームを起点とした耐性獲得機序の解明	榎田 英樹	泌尿器科	1,000,000	委	肝属郡医師会立病院
多面的アプローチによる膀胱癌のプライマリーレジスタンスを予測するマーカーの開発	榎田 英樹	泌尿器科	300,000	委	垂水中央病院
セルソーティングを応用した尿中マイクロRNA検出による新規尿路上皮癌診断法の開発	榎田 英樹	泌尿器科	1,820,000	補	日本学術振興会
エクソソーム含有核酸の測定による尿路上皮癌の新規体液診断の開発	吉野 裕史	泌尿器科	1,300,000	補	日本学術振興会
エクソソーム解析による治療抵抗性腎癌の新規治療戦略と治療効果予測マーカーの開発	鏑野 秀一	泌尿器科	1,170,000	補	日本学術振興会
エクソソームによる治療抵抗性膀胱癌に対する新規治療戦略と治療効果予測法の開発	井口 智生	泌尿器科	2,600,000	補	日本学術振興会
進行性膀胱癌に対するRASを標的とした新規治療戦略の探索	松下 良介	泌尿器科	2,730,000	補	日本学術振興会
治療抵抗性腎癌に対するエクソソームを起点とした新規治療戦略の探索	坂口 大	泌尿器科	1,300,000	補	日本学術振興会
薬剤併用による相乗効果を目指した成人T細胞白血病・リンパ腫への治療開発	石塚 賢治	血液・膠原病内科	300,000	委	垂水中央病院
成人T細胞白血病・リンパ腫(ATL)に対する抗アポトーシス蛋白標的療法の研究	石塚 賢治	血液・膠原病内科	1,300,000	委	出水市立病院機構(出水総合医療センター)
PROTAC技術を用いた成人T細胞白血病・リンパ腫に対する新規創薬基盤の樹立	吉満 誠	血液・膠原病内科	1,170,000	補	日本学術振興会
高齢者に対するイメグリミンによる筋肉減少抑制効果の検討	西尾 善彦	糖尿病・内分泌内科	500,000	委	肝属郡医師会立病院
枕崎地区における糖尿病重症化予防に関する研究	西尾 善彦	糖尿病・内分泌内科	1,100,000	委	枕崎市立病院
高齢糖尿病症例に対するイメグリミンによる効果の検討	西尾 善彦	糖尿病・内分泌内科	500,000	委	垂水中央病院

小計25件

高齢糖尿病症例に対するイミグリミンによる効果の検討	西尾 善彦	糖尿病・内分泌内科	1,300,000	委	出水市立病院機構(出水総合医療センター)
電子カルテ情報活用型多施設症例データベースを利用した糖尿病に関する臨床情報収集に関する研究(J-DREAMS)	西尾 善彦	糖尿病・内分泌内科	300,000	委	国立研究開発法人 国立国際医療研究センター
転写因子Nrf2の活性化を利用してグルコーススパイクによる血管傷害を予防する。	西尾 善彦	糖尿病・内分泌内科	1,560,000	補	日本学術振興会
単一遺伝子疾患からの精神疾患の分子病態追求—有棘赤血球舞踏病の分子病態と精神疾患	中村 雅之	神経科精神科	1,820,000	補	日本学術振興会
成人発症白質脳症における包括的変異解析及び抽出した新規変異の機能解析	石塚 貴周	神経科精神科	390,000	補	日本学術振興会
有棘赤血球舞踏病に対するてんかん発作を生じる症状修飾因子の検討	崎元 仁志	神経科精神科	780,000	補	日本学術振興会
In vivoにおけるchoreinとオートファジーの関わり	佐々木 なつき	神経科精神科	1,300,000	補	日本学術振興会
児童養護施設での養育が逆境的幼少期体験のある子どもの発達に与える影響	島田 尚子	神経科精神科	3,770,000	補	日本学術振興会
枕崎地区における小児予防接種率向上と小児医療体制充実に関する研究	岡本 康裕	小児科	1,100,000	委	枕崎市立病院
出水地区における小児疾患の予防策と保健業務の推進に関する研究	岡本 康裕	小児科	2,600,000	委	出水市立病院機構(出水総合医療センター)
COX-2阻害薬によるリンパ管奇形に対する新しい治療法の開発	岡本 康裕	小児科	1,170,000	補	日本学術振興会
デュシェンヌ型筋ジストロフィーを対象とした新たな患者レジストリを構築するための研究(Remudy-DMD)	丸山 慎介	小児科	374,000	委	国立研究開発法人 国立精神・神経医療研究センター
IL-6抑制によるメサングウム増殖性腎炎の新たな治療開発	稲葉 泰洋	小児科	450,000	委	公益財団法人 森永奉仕会
アクロレイン除去によるシクロフォスファミド心筋障害予防法の研究	西川 拓朗	小児科	1,040,000	補	日本学術振興会
フォンタン循環における肺動静脈瘻の機序解明	川村 順平	小児科	1,690,000	補	日本学術振興会
若年性皮膚筋炎の全国前向きコホート研究	山崎 雄一	小児科	1,430,000	補	日本学術振興会
核小体ストレス応答を利用して抗癌剤耐性を解除する新たな小児白血病治療の開発	中川 俊輔	小児科	1,690,000	補	日本学術振興会
Ph+ALL細胞におけるSIRT1が誘導するABL1変異獲得の機序の解明	児玉 祐一	小児科	2,080,000	補	日本学術振興会
Liquid Biopsyによる胆道閉鎖症の出生前診断と胎児治療の可能性探索	家入 里志	小児外科	1,430,000	補	日本学術振興会
網羅的シミュレータ開発による内視鏡外科手術オンラインコーチングシステム確立と実証	家入 里志	小児外科	2,730,000	補	日本学術振興会
小児腹腔鏡下肝管空腸吻合術の世界トレンドについて-世界の小児外科医800人を対象としたアンケート調査-	大西 峻	小児外科	300,000	委	公益財団法人 興和生命科学振興財団
新生児外科疾患の中樞神経発達と腸内フローラ制御	大西 峻	小児外科	2,000,000	委	公益財団法人 上原記念生命科学財団
腸内フローラは新生児壊死性腸炎における中枢発達改善の治療ターゲットか？	大西 峻	小児外科	1,950,000	補	日本学術振興会
ニーズアセスメントにより国際格差を是正する小児内視鏡外科プログラム開発と世界展開	川野 孝文	小児外科	1,040,000	補	日本学術振興会
若年成人まで包含するLPECシミュレータ開発とテレシミュレーション教育の世界展開	村上 雅一	小児外科	1,170,000	補	日本学術振興会
短腸症とIFALDを同時に克服するアドレノメデュリン・ランデブー治療の可能性探索	矢野 圭輔	小児外科	1,690,000	補	日本学術振興会

小計25件

内視鏡外科手術のモニターサイズの大型化・高精細化が鉗子操作に与える影響を検証する	山田 耕嗣	小児外科	1,950,000	補	日本学術振興会
特定診療医師派遣事業	小林 裕明	産科、婦人科	5,170,176	委	鹿児島県
骨盤臓器脱に対するAllograftを用いたロボット支援仙骨固定術	小林 裕明	産科、婦人科	1,300,000	委	出水市立病院機構(出水総合医療センター)
ラット肩関節腱板tendonopathyモデルの開発とHmgb1/2の発現解析	谷口 昇	整形外科・リウマチ外科	500,000	委	肝属郡医師会立病院
HMGB1とHMGB2の骨リモデリングにおける機能解析~炎症加齢と骨粗鬆症~	谷口 昇	整形外科・リウマチ外科	1,560,000	補	日本学術振興会
menopause handsにおけるSirt1の機能解析	佐々木 裕美	整形外科・リウマチ外科	1,170,000	補	日本学術振興会
がん患者終末期における予後予測分子マーカーの検索	篠原 直弘	整形外科・リウマチ外科	1,040,000	補	日本学術振興会
メラニン欠乏に起因した側弯症の病態解明:原因候補遺伝子Tbx1との機能解析	河村 一郎	整形外科・リウマチ外科	1,300,000	補	日本学術振興会
新規サルコペニア関連マイオカインとオステオカインの検索	富永 博之	整形外科・リウマチ外科	1,820,000	補	日本学術振興会
HMGB1抑制による前十字靭帯再建術後拘縮予防の有効性の検討	中條 正英	整形外科・リウマチ外科	1,040,000	補	日本学術振興会
CD147/basiginを標的とした乾癬の新規治療の開発	金蔵 拓郎	皮膚科	1,430,000	補	日本学術振興会
低密度好中球(LDN)のmiRNAを治療標的とした好中球性皮膚症の病態解明	東 裕子	皮膚科	1,560,000	補	日本学術振興会
網膜脈絡膜・視神経萎縮症に関する調査研究	坂本 泰二	眼科	16,000,000	補	日本学術振興会
鹿児島県内(おもに肝属地区)の眼科疾患の概要	坂本 泰二	眼科	500,000	委	肝属郡医師会立病院
垂水地区における小中学生の眼疾患の疫学的調査	坂本 泰二	眼科	800,000	委	垂水中央病院
北薩地域における成人眼疾患の概要	坂本 泰二	眼科	1,300,000	委	出水市立病院機構(出水総合医療センター)
眼球内細胞学の確立:基礎から臨床までのシームレスな研究	坂本 泰二	眼科	5,850,000	補	日本学術振興会
眼底写真を用いた性別判定および疾患進行・発症予測	山下 高明	眼科	1,300,000	補	日本学術振興会
AMPKを介した抗酸化作用を有する新規機能性単糖による加齢黄斑変性の予防と治療	寺崎 寛人	眼科	910,000	補	日本学術振興会
Explainable AIを用いた光干渉断層計による診断と病態解析	椎原 秀樹	眼科	1,560,000	補	日本学術振興会
高齢者の経口的咽頭喉頭部分切除術症例の検討	山下 勝	耳鼻咽喉科・頭頸部外科	600,000	委	垂水中央病院
喉頭気管粘膜の傷害抑制および再生治療に関する研究	山下 勝	耳鼻咽喉科・頭頸部外科	1,820,000	補	日本学術振興会
経眼投与による粘膜免疫応答の誘導	永野 広海	耳鼻咽喉科・頭頸部外科	1,690,000	補	日本学術振興会
ヒトiPS細胞を用いた気管喉頭軟骨再生	吉松 誠芳	耳鼻咽喉科・頭頸部外科	1,690,000	補	日本学術振興会
細胞形態を可視化する先進的MRIによる脳腫瘍診断法の開発	吉浦 敬	放射線科	1,040,000	補	日本学術振興会
電子密度画像を用いた血栓マップの開発と血栓症の診断・治療効果予測法の確立	長野 広明	放射線科	1,560,000	補	日本学術振興会

小計25件

CEST画像による膵癌の分子イメージングとこれを用いた非造影MR診断法の確立	福倉 良彦	放射線科	1,430,000	補	日本学術振興会
血流動態画像解析と人工知能による肺癌術後血栓形成メカニズム解明と予測モデルの開発	内匠 浩二	放射線科	1,430,000	補	日本学術振興会
Dual energy CTの定量画像指標に基づく椎間板変性症診断法の開発	中條 正典	放射線科	1,040,000	補	日本学術振興会
FDG-PET代謝速度定数画像による免疫チェックポイント阻害剤効果判定法の確立	中條 正豊	放射線科	1,430,000	補	日本学術振興会
画像流体力学解析による動脈塞栓術後側副血行路発達の予測法の開発	林 完勇	放射線科	1,560,000	補	日本学術振興会
2022年度「国際青少年サイエンス交流事業(さくらサイエンスプログラム)さくら招へいプログラム」実施業務	犬童 寛子	顎顔面放射線科	794,400	委	国立研究開発法人科学技術振興機構
低酸素誘導因子を標的とした放射線耐性口腔癌新規治療戦略の確立に向けて	宮腰 昌明	顎顔面放射線科	1,170,000	補	日本学術振興会
アスタキサンチンは敗血症性腎障害の新規治療薬となりえるか?	森山 孝宏	麻酔科	910,000	補	日本学術振興会
インビボ神経イメージングによる敗血症関連脳症に関与する大脳神経回路同定と治療戦略	中原 真由美	麻酔科	1,040,000	補	日本学術振興会
三叉神経領域の痛覚日内変動機構の解明	杉村 光隆	歯科麻酔科	1,690,000	補	日本学術振興会
聴覚を介した自律神経変動の管理による高血圧患者の安全な歯科治療環境の創造	山下 薫	歯科麻酔科	2,470,000	補	日本学術振興会
漢方薬がオーラルフレイルに与える影響の解明	四道 瑠美	歯科麻酔科	780,000	補	日本学術振興会
血管機能指標CAVIとバイオマーカーを用いた左室拡張機能の推定法の確立	梶谷 淳	歯科麻酔科	2,990,000	補	日本学術振興会
安心安全な歯科治療環境の提供 リナロール香気吸入による抗不安作用・鎮痛作用の検証	比嘉 憂理奈	歯科麻酔科	1,040,000	補	日本学術振興会
摂食嚥下障害に対する神経筋電気刺激の安全性および効果の検討:介入前後比較試験	下堂 蘭 恵	リハビリテーション科	300,000	委	垂水中央病院
霊長類脳梗塞片麻痺モデルを用いた新たなリハビリテーションと脳・神経可塑性の研究	下堂 蘭 恵	リハビリテーション科	5,200,000	補	日本学術振興会
上肢に対する振動刺激が脳皮質活動に与える影響-脳磁図による検討	河村 健太郎	リハビリテーション科	260,000	補	日本学術振興会
経頭蓋磁気刺激、末梢刺激、ロボットによる重度上肢麻痺の治療法と回復指標の開発	衛藤 誠二	リハビリテーション科	1,820,000	補	日本学術振興会
「県民の歯科口腔保健実態調査」に係る集計・分析評価業務委託	於保 孝彦	口腔保健科	550,000	委	鹿児島県
カンジダ菌による口腔粘膜炎症における先天性免疫因子DMBT1の関与	於保 孝彦	口腔保健科	1,430,000	補	日本学術振興会
口腔バイオフィルムの動脈硬化誘発における病原性獲得メカニズムの解明	長田 恵美	口腔保健科	1,430,000	補	日本学術振興会
異なる口腔環境より採取したカンジダ菌の性状解析に基づく新規誤嚥性肺炎予防法の開発	藤島 慶	口腔保健科	1,430,000	補	日本学術振興会
口腔常時菌による血流感染の発症機構に基づいた医科歯科連携による高度管理方法の構築	山口 泰平	口腔保健科	1,430,000	補	日本学術振興会
新たな食道疾患の発症機序の解明:不正咬合と咀嚼筋障害に起因する口腔機能低下の影響	宮脇 正一	矯正歯科	780,000	補	日本学術振興会
顎顔面形態異常や不正咬合に関連する咀嚼筋痛障害が骨格筋力の低下に及ぼす影響の解明	中川 祥子	矯正歯科	1,560,000	補	日本学術振興会
長鎖非コードRNAによる骨細胞メカニカルストレス応答制御機構の解明	石川 崇典	矯正歯科	1,300,000	補	日本学術振興会

小計25件

食道知覚過敏が中枢性感作を介してブラキシズムと顎関節症関連疼痛に与える影響の解明	大賀 泰彦	矯正歯科	1,300,000	補	日本学術振興会
口腔常在細菌叢メタゲノム解析によるオーダーメイドのう蝕予防法の開発	渡邊 温子	矯正歯科	2,080,000	補	日本学術振興会
消化管促進作用を有するグレリンの動態が睡眠時ブラキシズムに及ぼす影響の解明	高橋 広太郎	矯正歯科	1,820,000	補	日本学術振興会
プロバイオティクスが覚醒時ブラキシズムと顎関節症に及ぼす影響の解明	大迫 佑季	矯正歯科	2,860,000	補	日本学術振興会
顎骨間葉系幹細胞を用いた再生医療実現のための基盤研究	西村 正宏	小児歯科	4,420,000	補	日本学術振興会
小型3Dカメラを応用した新規摂食嚥下機能検査システムの開発	佐藤 秀夫	小児歯科	520,000	補	日本学術振興会
歯の再生を目指したヒト乳歯歯髄幹細胞濃縮と機能解析	稲田 絵美	小児歯科	1,300,000	補	日本学術振興会
口唇口蓋裂児の鼻腔・口腔細菌叢は呼吸器疾患の発症に関連するか？	辻井 利弥	小児歯科	1,950,000	補	日本学術振興会
小児の口呼吸の病態分類と治療法の確立	村上 大輔	小児歯科	1,690,000	補	日本学術振興会
非接触型バイタルセンシング技術を活用したオンライン咀嚼嚥下機能検査システムの開発	橋口 真紀子	小児歯科	2,860,000	補	日本学術振興会
小児期の摂食嚥下と呼吸動態の定量的機能解析による相互発達メカニズムの探索	山本 祐士	小児歯科	2,860,000	補	日本学術振興会
2022年度「国際青少年サイエンス交流事業(さくらサイエンスプログラム)さくら招へいプログラム」実施業務	西谷 佳浩	保存科	574,400	委	国立研究開発法人科学技術振興機構
ミュータンスレンサ球菌表面タンパクの病原性解析に基づく齲蝕予防法の開発	勝俣 環	保存科	780,000	補	日本学術振興会
アクアポリンを制御するミトコンドリア移植法による新しい歯髄保存・再生療法の開発	高 裕子	保存科	1,040,000	補	日本学術振興会
炎症性歯髄におけるイオンチャンネルの役割	西谷 登美子	保存科	1,560,000	補	日本学術振興会
覆髄処置に対する白金ナノコロイドの新たな応用方法の検討	勝俣 愛一郎	保存科	1,430,000	補	日本学術振興会
LIPUSとBMP9を用いた糖尿病患者に対する歯周組織再生療法開発の基盤的研究	野口 和行	歯周病科	2,340,000	補	日本学術振興会
妊娠性糖尿病に関わる口腔環境因子の検索とそのメカニズムの解明に関する包括的研究	長谷川 梢	歯周病科	910,000	補	日本学術振興会
In situ組織工学アプローチによる真の歯周組織再生獲得に向けた治療基盤の確立	白方 良典	歯周病科	1,430,000	補	日本学術振興会
C-DFATと成長因子のコンビネーションによる歯周組織再生療法の樹立	篠原 敬哉	歯周病科	1,820,000	補	日本学術振興会
BMP-9による顎骨・歯周組織再生の効率化に向けた微小環境コントロールの基盤確立	中村 利明	歯周病科	1,820,000	補	日本学術振興会
歯周組織の修復および再生におけるGDF6の機能解析	瀬名 浩太郎	歯周病科	1,300,000	補	日本学術振興会
BMP9とMTAを用いたバイオアクティブアプローチによる外科的歯内療法の基盤構築	川上 克子	歯周病科	1,560,000	補	日本学術振興会
令和4年度鹿児島県海外技術研修員の受入	西村 正宏	義歯インプラント科	283,490	委	鹿児島県
口腔保湿剤を用いた新規口腔カンジダ症の治療戦略	村上 格	義歯インプラント科	1,430,000	補	日本学術振興会
高齢ドナー顎骨由来MSCを用いたSASP抑制による高度顎堤吸収治療法の開発研究	原田 佳枝	義歯インプラント科	1,560,000	補	日本学術振興会

小計25件

組織再生を目指した人工粘膜の開発と人工骨を併用した骨造成能の評価	益崎 与泰	義歯インプラント科	1,560,000	補	日本学術振興会
顎骨再生に向けた移植体の骨形成能を担保するための基礎的研究	末廣 史雄	義歯インプラント科	1,430,000	補	日本学術振興会
顎骨再生を目的とした顎骨骨髓由来間質細胞の骨形成能マーカーの探索とメカニズム分析	駒走 尚大	義歯インプラント科	2,210,000	補	日本学術振興会
薩摩川内市鹿島町における住民の口腔疾患の保健管理に関する研究	杉浦 剛	口腔外科	1,000,000	委	薩摩川内市役所鹿島診療所
長島町における住民の口腔疾患に関する調査研究	杉浦 剛	口腔外科	1,000,000	委	長島町(鷹巣診療所)
口腔癌の統合的リアルタイムモニタリングの社会実装の為の検証研究および治療への応用	杉浦 剛	口腔外科	5,330,000	補	日本学術振興会
バクテリオファージを用いたARONJに対する新規治療法の創出	比地岡 浩志	口腔外科	780,000	補	日本学術振興会
口腔癌個別化療法における骨髓由来免疫抑制細胞を標的としたバイオマーカーの開発	別府 真広	口腔外科	1,300,000	補	日本学術振興会
口腔癌シングルセル解析による転移原因遺伝子・遺伝子修飾の検索	松村 吉晃	口腔外科	1,040,000	補	日本学術振興会
口腔癌における新規バイオマーカー検索と特異遺伝子に対する新規核酸抗がん薬の開発	久米 健一	口腔外科	1,950,000	補	日本学術振興会
口腔細菌叢のオミクス解析による口腔癌発症機序の解明とリスク診断の構築	後藤 雄一	口腔外科	2,860,000	補	日本学術振興会
リアルタイム音声可視化システムを応用した視覚フィードバック口蓋裂言語訓練法の開発	中村 典史	口腔顎顔面外科	2,470,000	補	日本学術振興会
VEGF-Cによるリンパ管新生効果は、骨再生・修復促進に関与しているか？	柚木 寿理	口腔顎顔面外科	1,560,000	補	日本学術振興会
血管新生誘導マイクロ粒子の応用とWntを標的とした薬剤関連顎骨壊死の新規治療戦略	岐部 俊郎	口腔顎顔面外科	1,560,000	補	日本学術振興会
音声可視化システムを用いた客観的評価に基づく口蓋裂術後の異常構音の病態解明	手塚 征宏	口腔顎顔面外科	780,000	補	日本学術振興会
唇裂患者の顔貌評価を三次元から四次元へ進化させる分析方法の開発	大河内 孝子	口腔顎顔面外科	1,690,000	補	日本学術振興会
運動によるmyokineを介した口腔癌微小環境・免疫機能改善と癌細胞への直接作用	吉村 卓也	口腔顎顔面外科	2,470,000	補	日本学術振興会
種子島スタディー口腔から地域高齢者の健康寿命延伸を目指す官学連携縦断的機能評価一	鈴木 甫	口腔顎顔面外科	1,300,000	補	日本学術振興会
自己免疫性出血症診療の「均てん化」のための実態調査と「総合的」診療指針の作成	橋口 照人	検査部	12,100,000	補	日本学術振興会
時間軸・空間軸融合による血管炎症収束の制御機構解明一「炎症性」血小板の新概念構築	山口 宗一	検査部	3,510,000	補	日本学術振興会
circRNA-miRNAによる大動脈弁狭窄症病態解明とバイオマーカー創出の挑戦	山口 宗一	検査部	5,460,000	補	日本学術振興会
腫瘍血管成熟に着目した膵癌の新たな個別化免疫治療の確立	田上 聖徳	検査部	1,300,000	補	日本学術振興会
神経障害性疼痛が慢性化すると脊髄後角における疼痛メカニズムは変化するのか？	五代 幸平	手術部	1,560,000	補	日本学術振興会
定量肺血流SPECT/CTと機械学習による肺高血圧症診断法の開発	神宮司 メグミ	放射線部	1,690,000	補	日本学術振興会
持続的血液浄化療法に関する他機関共同の後ろ向き観察研究	垣花 泰之	救命救急センター(救急科)	1,221,000	委	国立大学法人 東京大学
敗血症関連脳症におけるメラトニンとテトラヒドロピオプテリンのクロストーク解析	新山 修平	救命救急センター(救急科)	1,300,000	補	日本学術振興会

小計25件

壊死性腸炎モデルラットを用いた新生児神経学的予後向上に関する研究-敗血症とテトラヒドロピオプテリンのクロストーク解析-	杉田 光太郎	救命救急センター(救急科)	800,000	委	公益財団法人 川野小児医学奨学財団
テトラヒドロピオプテリン・サプライにより新生児壊死性腸炎の中樞機能予後を取戻す	杉田 光太郎	救命救急センター(救急科)	1,820,000	補	日本学術振興会
HIV診療医師情報網支援事業	古川 良尚	輸血・細胞治療部	179,000	委	国立病院機構九州医療センター
HIV感染者等保健福祉相談事業	古川 良尚	輸血・細胞治療部	675,000	委	公益財団法人 エイズ予防財団
胎児新生児期の戦略的抗酸化・抗炎症治療は生後致死性消化管イベントを回避しうるか？	武藤 充	周産母子センター	1,690,000	補	日本学術振興会
宿主自然免疫応答制御を枢軸とした川崎病の新規治療戦略	上野 健太郎	周産母子センター	2,210,000	補	日本学術振興会
不妊専門相談支援推進研究	内田 那津子	周産母子センター	631,015	委	鹿児島県
周術期の摂食条件が体内時計に与える影響;遺伝子改変マウスを用いた時間生物学的解析	大野 幸	全身管理歯科治療部	1,170,000	補	日本学術振興会
歯科治療恐怖症における歯科不安と自律神経応答の関連性およびメカニズムの解析	内野 美菜子	全身管理歯科治療部	1,560,000	補	日本学術振興会
エクソソーム中miRNAを起点とした治療抵抗性膀胱癌に対する新規治療戦略の探索	山田 保俊	血液浄化療法部	1,690,000	補	日本学術振興会
膵胆管系腫瘍の早期診断と治療のためのバイオマーカー探索	東 美智代	病理部(病理診断科)	1,430,000	補	日本学術振興会
びまん性肺疾患を中心とする症例の診断を目的とした胸部放射線科専門医の診断	田畑 和宏	病理部(病理診断科)	一症例当たり 2,500円	委	国立大学法人福井大学
びまん性肺疾患を中心とする症例の診断を目的とした胸部放射線科専門医の診断	田畑 和宏	病理部(病理診断科)	一症例当たり 3,000円	委	社会福祉法人恩賜財団済生会熊本病院
新規口腔癌特異的遺伝子であるSTOX2の機能解明と診断・治療への応用の模索	笹平 智則	病理部(歯科系)	1,040,000	補	日本学術振興会
再発危険因子を有するハイリスクStage II 結腸がん治癒切除例に対する術後補助化学療法としてのmFOLFOX6療法またはXELOX療法の至適投与期間に関するランダム化第Ⅲ相比較臨床試験	盛 真一郎	光学医療診療部	55,000	委	公益財団法人 がん集学的治療研究財団
腫瘍免疫環境に着目した、腫瘍に対する腫瘍溶解ウイルスの病態解析	橋元 慎一	光学医療診療部	1,300,000	補	日本学術振興会
運動による肝臓と脳の臓器連関とそのメカニズムの解明	吉田 輝	リハビリテーション部	1,430,000	補	日本学術振興会
アウトカム基盤型教育における統合型コンピテンシー評価システムの開発	田口 則宏	歯科総合診療部	1,170,000	補	日本学術振興会
歯学生の地域志向性を涵養する効果的な地域歯科医療教育法の開発	大戸 敬之	歯科総合診療部	910,000	補	日本学術振興会
肝疾患地域連携体制強化事業	井戸 章雄	肝疾患相談センター	13,119,000	委	鹿児島県
令和4年度肝炎情報センター戦略的強化事業	井戸 章雄	肝疾患相談センター	3,588,000	委	国立研究開発法人 国立国際医療研究センター
老年症候群の受容体連関とミトコンドリア質管理を軸とした機序解明及び治療法開発	佐々木 雄一	緩和ケアセンター	780,000	補	日本学術振興会
独自開発・革新性能の増殖制御型アデノウイルスの骨腫瘍(希少・難治性がん)承認への第Ⅱ相医師主導試験	小賤 健一郎	探索的医療開発センター	90,090,000	委	国立研究開発法人 日本医療研究開発機構
難治性癌まで制圧可能な第二世代「腫瘍溶解性ウイルス・免疫療法」の非臨床開発	小賤 健一郎	探索的医療開発センター	12,999,999	委	国立研究開発法人 日本医療研究開発機構
骨軟部腫瘍を制圧できる全身性癌免疫誘導の革新的な免疫遺伝子・ウイルス治療の開発	小賤 健一郎	探索的医療開発センター	5,590,000	補	日本学術振興会
免疫チェックポイントBispecific抗体遺伝子発現・腫瘍溶解性ウイルスの創出	小賤 健一郎	探索的医療開発センター	9,100,000	補	日本学術振興会

小計25件

ペプチドホルモンステップアップ治療による短腸症における究極の腸管レジリエンス獲得	山田 和歌	総合臨床研修センター	1,690,000	補	日本学術振興会
胸膜リンパ流によるスキップ転移機序の解明:解剖・分子生物学から呼吸器外科へ	武田 亜矢	総合臨床研修センター	1,300,000	補	日本学術振興会
小児腸管内バイオフィーム形成大腸菌が薬剤耐性遺伝子の水平伝播を促進する機構の解明	西 順一郎	感染制御部	1,430,000	補	日本学術振興会
地域医療支援センター設置事業	嶽崎 俊郎	地域医療支援センター	33,099,999	委	鹿児島県
HTLV-Iキャリアにおける全死亡リスクに対する防御要因に関する研究	嶽崎 俊郎	地域医療支援センター	650,000	補	日本学術振興会
人工的腫瘍内微小環境における神経接着分子を介した神経と脳腫瘍細胞の相互作用	武田 泰生	薬剤部	1,950,000	補	日本学術振興会
新規細胞選別技術による腫瘍内dormant cellsの選別と機能解析	寺藺 英之	薬剤部	1,430,000	補	日本学術振興会
地域における看護実践力向上のための連携型シミュレーション教育	田中 久美子	看護部	260,000	補	日本学術振興会
心臓弁膜症手術患者における口腔環境と術後全身状態の関連について	寺野 くらら	臨床技術部	200,000	委	公益財団法人 富徳会
脳卒中急性期の上肢麻痺に対する電気・振動刺激を備えた新しいロボット訓練の効果検証	豊栄 峻	臨床技術部	1,170,000	補	日本学術振興会
CaIDAG-GEF1の止血分子メカニズム解明と新規機能の探索	古城 剛	臨床技術部	1,690,000	補	日本学術振興会
肺MAC症の慢性肉芽形成時のマクロファージ機能変化解明—microRNAの役割	郡山 豊泰	臨床技術部	2,210,000	補	日本学術振興会
活性化凝固第X因子阻害薬内服患者のトロンビン阻害薬濃度偽陽性となるメカニズム解明	中村 政敏	臨床技術部	1,170,000	補	日本学術振興会

小計22件

合計245件

(注) 1国、地方公共団体又は公益法人から補助金の交付又は委託を受け、当該医療機関に所属する医師等が申請の前年度に行った研究のうち、高度の医療技術の開発

- 「研究者氏名」欄は、1つの研究について研究者が複数いる場合には、主たる研究者の氏名を記入すること。
- 「補助元又は委託元」欄は、補助の場合は「補」に、委託の場合は「委」に、○印をつけた上で、補助元又は委託元を記入すること。

(様式第3)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

2 論文発表等の実績

(1)高度の医療技術の開発及び評価を行うことの評価対象となる論文

番号	発表者氏名	筆頭著者の 特定機能病院における所属	題名	雑誌名・ 出版年月等	論文種別
1	Yoshihiko Akasaki 1, Takayuki Tabira 2, Michio Maruta 3, et al.	心臓血管内科	Social Frailty and Meaningful Activities among Community- Dwelling Older Adults with Heart Disease	Int J Environ Res Public Health. 2022 Nov 17;19(22):15167.	Original Article
2	Takeko Kawabata 1, Takuro Kubozono 2, Satoko Ojima 1, et al.	心臓血管内科	Insufficient blood pressure control is independently associated with increased arterial stiffness	Hypertens Res. 2022 Dec;45(12):1861- 1868.	Original Article
3	Yuki Hamamoto 1, Akihiro Tokushige 2, Yuasa Toshinori 3, et al.	心臓血管内科	A new pre-test probability score for diagnosis of deep vein thrombosis in patients before surgery	J Cardiol. 2022 May;79(5):664-670.	Original Article
4	Keisuke Shibata 1, Akihiro Tokushige 2, Masakazu Imamura 3, et al.	心臓血管内科	Evaluating the Khorana risk score of gastrointestinal cancer patients during initial chemotherapy as a predictor of patient mortality: A retrospective study	J Cardiol. 2022 May;79(5):655-663.	Original Article
5	Hiroyuki Kamada 1, Satoshi Nagase 2, Koji Miyamoto 3, et al.	心臓血管内科	A case of antidromic atrioventricular reciprocating tachycardia via the atriofascicular pathway with suspected minor manifest fusion during ventricular pacing	J Arrhythm. 2022 Jun 24;38(4):656- 659.	Original Article
6	Hiroyuki Kamada 1, Kazuki Mori 2, Nobuhiko Ueda 1, et al.	心臓血管内科	Impact of Pre-Ablation Direct Current Cardioversion for Persistent Atrial Fibrillation to Predict Recurrence of Atrial Fibrillation after Catheter Ablation	Int Heart J. 2022 Sep;63(5):828-836.	Original Article

小計6件

7	Mitsuru Ohishi 1	心臓血管内科	Can pulse transit time-estimated blood pressure become a savior for blood pressure research?	Hypertens Res. 2022 Jun;45(6):1070-1071.	Others
8	Mitsuru Ohishi 1	心臓血管内科	Sacubitril/valsartan-A new weapon for fighting the hypertension paradox	Hypertens Res. 2022 May;45(5):915-916.	Others
9	Kayoko Kubota 1, Sunao Miyana 1, Noriko Iwatani 1, et al.	心臓血管内科	Unknown atrial septal defect was diagnosed during the course of treatment for portopulmonary hypertension: A case report	J Cardiol Cases. 2022 Aug 22;26(5):383-385.	Case report
10	Yuki Hamamoto 1, Akihiro Tokushige 2, Toshinori Yuasa 3, et al.	心臓血管内科	Author's reply	J Cardiol. 2023 Jan;81(1):117-118.	Letter
11	Seiichi Mawatari 1, Tsutomu Tamai 2, Kotaro Kumagai 1, et al.	消化器内科	Clinical Effect of Lenvatinib Re-Administration after Transcatheter Arterial Chemoembolization in Patients with Intermediate Stage Hepatocellular Carcinoma	Cancers (Basel). 2022 Dec 13;14(24):6139.	Original Article
12	Kotaro Kumagai 1, Seiichi Mawatari 1, Akihiro Moriuchi 2, et al.	消化器内科	Early-phase prothrombin time-international normalized ratio in acute liver injury indicates the timing of therapeutic intervention and predicts prognostic improvement	Hepatol Res. 2023 Feb;53(2):160-171.	Original Article
13	Nobuhisa Maeda 1, Shiroh Tanoue 1, Yusuke Fujino 1, et al.	消化器内科	A Case of Focal Type 2 Autoimmune Pancreatitis Mimicking Pancreatic Cancer: Treatment with Neoadjuvant Chemotherapy and Surgery	Intern Med. 2022 Dec 21.	Case report

小計7件

14	Hidehito Maeda 1, Fumisato Sasaki 2, Masayuki Kabayama 1, et al.	消化器内科	Efficacy of endoscopic ultrasonography in evaluating tumor thickness in patients with superficial pharyngeal carcinoma: A pilot study	Auris Nasus Larynx. 2022 Jun;49(3):495-503.	Original Article
15	Yuki Hamada 1, Kiyonori Tanoue 1, Yoshiaki Kita 1, et al.	消化器外科	Vascular endothelial growth factor inhibitors promote antitumor responses via tumor microenvironment immunosuppression in advanced colorectal cancer	Scand J Gastroenterol. 2023 Mar 29;1-12.	Original Article
16	Ryutaro Yasudome 1, Naohiko Seki 2, Shunichi Asai 2, et al.	消化器外科	Molecular Pathogenesis of Colorectal Cancer: Impact of Oncogenic Targets Regulated by Tumor Suppressive miR-139-3p	Int J Mol Sci. 2022 Oct 1;23(19):11616.	Original Article
17	Ken Sasaki 1, Yusuke Tsuruda 2, Masataka Shimonosono 2, et al.	消化器外科	Additional Effects of Docetaxel on Neoadjuvant Radiotherapy With Cisplatin/5-Fluorouracil for Esophageal Squamous Cell Carcinoma	Anticancer Res. 2022 Aug;42(8):3905-3911.	Original Article
18	Masataka Shimonosono 1, Ken Sasaki 2, Yusuke Tsuruda 1, et al.	消化器外科	Clinical Outcome After Esophagectomy or Definitive Chemoradiotherapy in Elderly Patients (≥80 Years) With Esophageal Cancer	Anticancer Res. 2022 Aug;42(8):3953-3961.	Original Article
19	Yota Kawasaki 1, Yoichi Yamasaki, Yuto Hozaka, et al.	消化器外科	Surgical Stress Evaluation of Left Lateral Sectionectomy Based on Skeletal Muscle Catabolism	Surg Laparosc Endosc Percutan Tech. 2022 Aug 1;32(4):435-440.	Original Article
20	Ken Sasaki 1, Yusuke Tsuruda 2, Masataka Shimonosono 2, et al.	消化器外科	A comparison of the surgical invasiveness and short-term outcomes between thoracoscopic and pneumatic mediastinoscopic esophagectomy for esophageal cancer	Surg Today. 2022 Dec;52(12):1759-1765.	Original Article

小計7件

21	Hiroshi Kurahara 1, Yuko Mataka 2, Tetsuya Idichi 2, et al.	消化器外科	Spread of lymph node metastasis and adjuvant therapy for distal cholangiocarcinoma	Int J Clin Oncol. 2022 Jul;27(7):1212-1221.	Original Article
22	Takaaki Arigami 1, Daisuke Matsushita 2, Keishi Okubo 2, et al.	消化器外科	A prognostic scoring system for conversion surgery after trastuzumab-based chemotherapy for human epidermal growth factor receptor 2-positive advanced gastric cancer	Surg Today. 2022 Dec;52(12):1721-1730.	Original Article
23	Kosuke Fukuda 1, Takaaki Arigami 2, Koki Tokuda 3, et al.	消化器外科	Successful conversion surgery for stage IV gastric cancer with liver metastases after second-line chemotherapy with ramucirumab and paclitaxel: a case report	Surg Case Rep. 2022 Apr 1;8(1):58.	Case report
24	Ryusei Nagata 1, Eiji Matsuura 1, Satoshi Nozuma 1, et al.	脳神経内科	Anti-ganglionic acetylcholine receptor antibodies in functional neurological symptom disorder/conversion disorder	Front Neurol. 2023 Feb 13;14:1137958.	Original Article
25	Masahiro Ando 1, Yujiro Higuchi 1, Junhui H Yuan 1, et al.	脳神経内科	Genetic and clinical features of cerebellar ataxia with RFC1 biallelic repeat expansions in Japan	Front Neurol. 2022 Aug 10;13:952493.	Original Article
26	Masahiro Ando 1, Yujiro Higuchi 1, Jun-Hui Yuan 1, et al.	脳神経内科	Novel de novo POLR3B mutations responsible for demyelinating Charcot-Marie-Tooth disease in Japan	Ann Clin Transl Neurol. 2022 May;9(5):747-755.	Original Article
27	Masahiro Ando 1, Yujiro Higuchi 1, Junhui Yuan 1, et al.	脳神経内科	Novel heterozygous variants of SLC12A6 in Japanese families with Charcot-Marie-Tooth disease	Ann Clin Transl Neurol. 2022 Jul;9(7):902-911.	Original Article

小計7件

28	Masahiro Ando 1, Yujiro Higuchi 1, Junhui Yuan 1, et al.	脳神経内科	Comprehensive Genetic Analyses of Inherited Peripheral Neuropathies in Japan: Making Early Diagnosis Possible	Biomedicines. 2022 Jun 29;10(7):1546.	Original Article
29	Satoshi Nozuma 1, Eiji Matsuura 1, Yuichi Tashiro 1, et al.	脳神経内科	Efficacy of l-Arginine treatment in patients with HTLV-1-associated neurological disease	Ann Clin Transl Neurol. 2023 Feb;10(2):237-245.	Original Article
30	Masahiro Ando 1, Yujiro Higuchi 1, Yuji Okamoto 1, et al.	脳神経内科	An NEFH founder mutation causes broad phenotypic spectrum in multiple Japanese families	J Hum Genet. 2022 Jul;67(7):399-403.	Original Article
31	Yu Hiramatsu 1, Yuji Okamoto 1 2, Akiko Yoshimura 1, et al.	脳神経内科	Complex hereditary peripheral neuropathies caused by novel variants in mitochondrial-related nuclear genes	J Neurol. 2022 Aug;269(8):4129-4140.	Original Article
32	Nayuta Higa 1, Toshiaki Akahane 2 3, Taiji Hamada 2, et al.	脳神経外科	Distribution and favorable prognostic implication of genomic EGFR alterations in IDH-wildtype glioblastoma	Cancer Med. 2023 Jan;12(1):49-60.	Original Article
33	Nayuta Higa 1, Toshiaki Akahane 2, Seiya Yokoyama 2, et al.	脳神経外科	Prognostic impact of PDGFRA gain/amplification and MGMT promoter methylation status in patients with IDH wild-type glioblastoma	Neurooncol Adv. 2022 Jun 21;4(1):vdac097.	Original Article
34	Nayuta Higa 1, Toshiaki Akahane 2 3, Seiya Yokoyama 2, et al.	脳神経外科	Molecular Genetic Profile of 300 Japanese Patients with Diffuse Gliomas Using a Glioma-tailored Gene Panel	Neurol Med Chir (Tokyo). 2022 Sep 15;62(9):391-399.	Original Article

小計7件

35	Ryutaro Makino 1 2, Shingo Fujio 3 4, Tomoko Hanada 1 2, et al.	脳神経外科	Delayed postoperative hyponatremia in patients with acromegaly: incidence and predictive factors	Pituitary. 2023 Feb;26(1):42-50.	Original Article
36	Kiyotaka Kondo 1, Yoichiro Harada 2, Miyako Nakano 3, et al.	呼吸器内科	Identification of distinct N- glycosylation patterns on extracellular vesicles from small- cell and non-small-cell lung cancer cells	J Biol Chem. 2022 Jun;298(6):101950.	Original Article
37	Takahiro Matsuyama 1, Kentaro Machida 1, Asako Hamu 1, et al.	呼吸器内科	Effects of instructional materials on the proper techniques of inhaler device use	Respir Investig. 2022 Sep;60(5):633-639.	Original Article
38	Kengo Tanigawa 1, Shunsuke Misono 1, Keiko Mizuno 1, et al.	呼吸器内科	MicroRNA signature of small-cell lung cancer after treatment failure: impact on oncogenic targets by miR-30a-3p control	Mol Oncol. 2023 Feb;17(2):328-343. doi: 10.	Original Article
39	Takahiro Matsuyama 1, Hiromi Matsuyama 1, Yoichi Dotake 1, et al.	呼吸器内科	The Therapeutic Potential for Targeting Group 2 Innate Lymphoid Cells in Asthma	Front Immunol. 2022 Jul 13;13:930862.	Review
40	Masaya Aoki 1, Kazuhiro Ueda 1, Go Kamimura 1, et al.	呼吸器外科	Clinical significance of ALKBH4 expression in non-small cell lung cancer	Transl Cancer Res. 2022 Jul;11(7):2040- 2049.	Original Article
41	Zhe-Wu Jin 1, Masaya Aoki 2, Kazuhiro Ueda 2, et al.	呼吸器外科	Human lymph node degeneration in the thoracic region: A morphometric and immunohistochemical analysis using surgically obtained specimens	Front Physiol. 2022 Sep 14;13:990801.	Original Article

小計7件

42	Marie Amitani 1 2, Haruka Amitani 3, Tetsuhiro Owaki 1 2, et al.	心身医療科	The Effect of Mindfulness Yoga in Children With School Refusal: A Study Protocol for an Exploratory, Cluster-Randomized, Open, Standard Care-Controlled, Multicenter Clinical Trial	Front Public Health. 2022 Jul 13;10:881303.	Others
43	Haruka Amitani 1 2, Shigeki Chiba 3, Marie Amitani 4 5, et al.	心身医療科	Impact of Ninjin'yoieito on frailty and short life in klotho-hypomorphic (kl/kl) mice	Front Pharmacol. 2022 Oct 24;13:973897.	Original Article
44	Shuichi Tatarano 1, Akihiko Mitsuke 1, Takashi Sakaguchi 1, et al.	泌尿器科	Laparoscopic Surgery for Pheochromocytoma in Hemodialysis Patients	Int J Nephrol. 2022 Jul 21;2022:3060647.	Original Article
45	Hirofumi Yoshino 1, Shuichi Tatarano 2, Motoki Tamai 2, et al.	泌尿器科	Exosomal microRNA-1 and MYO15A as a target for therapy and diagnosis in renal cell carcinoma	Biochem Biophys Res Commun. 2022 Nov 19;630:71-76.	Original Article
46	Kenji Ishitsuka	血液・膠原病内科	Prognostic indices for peripheral T-cell lymphoma - not otherwise specified and adult T-cell leukemia/lymphoma: From past to future	J Clin Exp Hematop. 2023 Mar 28;63(1):1-11.	Review
47	Makoto Yoshimitsu 1, Kiyoshi Ando 2, Takashi Ishida 3, et al.	血液・膠原病内科	Oral histone deacetylase inhibitor HBI-8000 (tucidinostat) in Japanese patients with relapsed or refractory non-Hodgkin's lymphoma: phase I safety and efficacy	Jpn J Clin Oncol. 2022 Sep 18;52(9):1014-1020.	Original Article
48	Junpei Kawamura 1, Kentaro Ueno 1, Yoshihiro Takahashi 1, et al.	小児科	Usefulness of Three-Dimensional Transthoracic Echocardiographic Planimetry in a 4-Month-Old Infant with Comorbid Aortic Stenosis and Coarctation of the Aorta Complicated with Low Left Ventricular Ejection Fraction	CASE (Phila). 2022 Jul 2;6(7):324-329.	Case report

小計7件

49	Yuichi Kodama 1, Atsushi Sato 2, Keisuke Kato 3, et al.	小児科	Ponatinib in pediatric patients with Philadelphia chromosome-positive leukemia: a retrospective survey of the Japan Children's Cancer Group	Int J Hematol. 2022 Jul;116(1):131-138.	Original Article
50	Yuichi Yamasaki 1, Aki Nakamura 1, Tomohiro Kubota 2, et al.	小児科	Rheumatoid factor value for determining the first biologic agent to use for non-systemic juvenile idiopathic arthritis	Mod Rheumatol. 2022 Oct 5;roac125.	Original Article
51	Saki Tokushige 1, Kentaro Ueno, Miko Morimoto, et al.	小児科	COVID-19 Complicated With Severe Systemic Capillary Leak Syndrome in an Infant	Pediatr Infect Dis J. 2023 Feb 1;42(2):e58-e60.	Case report
52	Satoshi Ieiri 1, Yoshinori Koga 2, Shun Onishi 1, et al.	小児外科	Ambidextrous needle driving and knot tying helps perform secure laparoscopic hepaticojejunostomy of choledochal cyst (with video)	J Hepatobiliary Pancreat Sci. 2022 Apr;29(4):e22-e24.	Review
53	Masakazu Murakami 1, Koji Yamada 1, Shun Onishi 1, et al.	小児外科	How we acquire suturing skills for laparoscopic hepaticojejunostomy	Asian J Endosc Surg. 2022 Oct;15(4):882-884.	Review
54	Keisuke Yano 1, Mitsuru Muto 1, Masakazu Murakami 1, et al.	小児外科	Successful evacuation of water absorbing balls using Amidotrizoic Acid	Pediatr Int. 2023 Jan;65(1):e15459.	Case report
55	Takafumi Kawano 1, Ryota Souzaki 2, Wataru Sumida 3, et al.	小児外科	Laparoscopic approach for abdominal neuroblastoma in Japan: results from nationwide multicenter survey	Surg Endosc. 2022 May;36(5):3028-3038.	Original Article

小計7件

56	Shun Onishi 1, Koji Yamada 1, Masakazu Murakami 1, et al.	小児外科	Co-injection of Bile and Indocyanine Green for Detecting Pancreaticobiliary Maljunction of Choledochal Cyst	European J Pediatr Surg Rep. 2022 Aug 23;10(1):e127-e130.	Case report
57	Keisuke Yano 1, Mitsuru Muto 1, Taichiro Nagai 1, et al.	小児外科	The analgesic effect of the intravenous administration of acetaminophen for pediatric laparoscopic appendectomy: A comparison of scheduled and on-demand procedures	Asian J Endosc Surg. 2022 Oct;15(4):715-721.	Original Article
58	Keisuke Yano 1, Koshiro Sugita 1, Koji Yamada 1, et al.	小児外科	Successful laparoscopic repair for reduction en masse of infantile inguinal hernia: a case report of this rare condition	Surg Case Rep. 2022 Sep 26;8(1):181.	Case report
59	Keisuke Yano 1, Koshiro Sugita 1, Mitsuru Muto 1, et al.	小児外科	The preventive effect of recombinant human hepatocyte growth factor for hepatic steatosis in a rat model of short bowel syndrome	J Pediatr Surg. 2022 Jul;57(7):1286-1292.	Original Article
60	Toshio Harumatsu 1 2, Naoki Shimojima 1, Hirofumi Tomita 1, et al.	小児外科	Successful surgical treatment of congenital tracheal stenosis combined with tracheal bronchus and left pulmonary artery sling: a 10-year single-institution experience	Pediatr Surg Int. 2022 Oct;38(10):1363-1370.	Original Article
61	Keisuke Yano 1, Toshio Harumatsu 1, Koshiro Sugita 1, et al.	小児外科	Clinical features of Mayer-Rokitansky-Küster-Häuser syndrome diagnosed at under 16 years old: results from a questionnaire survey conducted on all institutions of pediatric surgery and pediatric urology in Japan	Pediatr Surg Int. 2022 Nov;38(11):1585-1589.	Original Article
62	Shun Onishi 1, Mitsuru Muto 1, Toshio Harumatsu 1, et al.	小児外科	Intraoperative visualization of urethra using illuminating catheter in laparoscopy-assisted anorectoplasty for imperforated anus-A novel and safe technique for preventing urethral injury	Asian J Endosc Surg. 2022 Oct;15(4):867-871.	Case report

小計7件

63	Toshio Harumatsu 1, Toshihiro Muraji 1, Koshiro Sugita 1, et al.	小児外科	The preoperative lymphocyte ratio and postoperative C-reactive protein are related to the surgical outcome in biliary atresia: an analysis of serial ubiquitous markers of inflammation	Pediatr Surg Int. 2022 Dec;38(12):1777-1783.	Original Article
64	Shun Onishi 1, Mitsuru Muto 1, Koji Yamada 1, et al.	小児外科	Feasibility of delayed anastomosis for long gap esophageal atresia in the neonatal period using internal traction and indocyanine green-guided near-infrared fluorescence	Asian J Endosc Surg. 2022 Oct;15(4):877-881.	Case report
65	Masakazu Murakami 1, Mitsuru Muto 1, Shunsuke Nakagawa 2, et al.	小児外科	Successful laparoscopy-assisted en bloc resection of bulky omental malignant lymphoma involving the ascending colon and multiple lymph node metastases: Report of a technically demanding case in a pediatric patient	Asian J Endosc Surg. 2022 Oct;15(4):836-840.	Case report
66	Koji Yamada 1, Mitsuru Muto 1, Masakazu Murakami 1, et al.	小児外科	An analysis of the correlation between the efficacy of training using a high-fidelity disease-specific simulator and the clinical outcomes of laparoscopic surgery for congenital biliary dilatation in pediatric patients	Int J Comput Assist Radiol Surg. 2023 Jan;18(1):55-61.	Original Article
67	Toshio Harumatsu 1, Mitsuru Muto 1, Takafumi Kawano 1, et al.	小児外科	Analysis of the potential risk factors for defecation problems and their bowel management based on the long-term bowel function in patients with persistent cloaca: results of a nationwide survey in Japan	Pediatr Surg Int. 2023 Jan 30;39(1):96.	Original Article
68	Koji Yamada 1, Mitsuru Muto 1, Shun Onishi 1, et al.	小児外科	Thoracoscopic repair of neonatal left diaphragmatic hernia with sac combined with both extralobar pulmonary sequestration and congenital pulmonary airway malformation	Asian J Endosc Surg. 2023 Jan;16(1):127-130.	Case report
69	Noriko Karakida 1, Shintaro Yanazume 1, Akio Tokudome 1, et al.	産科、婦人科	Successful Treatment of a Life-Threatening Pulmonary Embolism Following Retroperitoneal Tumor Surgery	Cureus. 2022 Nov 14;14(11):e31501.	Case report

小計7件

70	Shinichi Togami 1, Mika Fukuda 1, Shintaro Yanazume 1, et al.	産科、婦人科	A preliminary study on the detection of lymph node metastasis in cervical cancer using a quantitative RT-PCR assay	Jpn J Clin Oncol. 2022 May 5;52(5):475-478.	Original Article
71	Yuko Higashi 1, Atsuko Ibusuki 1, Naoko Baba 1, et al.	皮膚科	Granulocyte and monocyte adsorptive apheresis for pyoderma gangrenosum	Ther Apher Dial. 2022 Apr;26(2):450-455.	Original Article
72	Hisao Kawahira, Kazuyasu Fujii, Hidehisa Ohi, et al.	皮膚科	Invasive squamous cell carcinoma arising from long-lasting enterocutaneous fistula due to Crohn's disease	J Cutan Immunol Allergy. 2022 Apr; 11:184-185	Case report
73	Kazuyasu Fujii, Hisao Kawahira, Mitsuhiro Hisadome, et al.	皮膚科	Development of mycosis fungoides with peripheral blood involvement after a single use of dupilumab	J Cutan Immunol Allergy. 2022 Apr; 6:188-189	Case report
74	Ai Yoshizaki 1, Atsuko Ibusuki 1, Naoko Baba 1, et al.	皮膚科	Paraneoplastic acral vascular syndrome in a patient with uterine cancer	J Dermatol. 2022 Aug;49(8):e274-e275.	Case report
75	Atsuko Matsuoka 1, Kazuyasu Fujii 1, Takuro Kanekura 1	皮膚科	Clear cell syringoma: Disappearance of clear cells after improvement in diabetes mellitus by pituitary adenoma resection	J Dermatol. 2022 Aug;49(8):e268-e269.	Case report
76	Yoshiko Yamasuji-Maeda 1 2, Hisakazu Nishimori 1, Keisuke Seike 1, et al.	皮膚科	Prevention of non-infectious pulmonary complications after intra-bone marrow stem cell transplantation in mice	PLoS One. 2022 Sep 9;17(9):e0273749.	Original Article

小計7件

77	Atsuko Matsuoka 1, Kazuyasu Fujii 1, Yuko Higashi 1, et al.	皮膚科	Subcutaneous panniculitis-like T-cell lymphoma associated with methotrexate treatment	J Dermatol. 2022 Dec;49(12):e430-e432.	Case report
78	Atsuko Matsuoka 1, Yuko Higashi 1, Takuro Kanekura 1	皮膚科	Erythema nodosum at COVID-19 vaccine injection site	J Dermatol. 2023 Feb;50(2):e83-e84.	Case report
79	Ichiro Kawamura 1, Takuya Yamamoto 2, Hiroyuki Tominaga 1, et al.	整形外科・リウマチ外科	Reconstruction Using a Fibular Autograft for Lumbosacral Spinal Deformity in Neurofibromatosis Type 1: A Report of 2 Cases	JBJS Case Connect. 2022 Apr 27;12(2).	Case report
80	Ichiro Kawamura 1, Hiroyuki Tominaga 1, Hiroto Tokumoto 1, et al.	整形外科・リウマチ外科	Removal of a migrated acupuncture needle from the cervical spinal canal with removal confirmation by cone-beam computed tomography in a hybrid operating room	Trauma Case Rep. 2023 Jan 10;43:100772.	Case report
81	Kohei Uekama 1, Takasuke Miyazaki 1, Shingo Maesako 1, et al.	整形外科・リウマチ外科	Clinical significance of the elbow forward translation motion in patients with rotator cuff tears	SES Int. 2023 Mar 31;7(4):555-560.	Original Article
82	Taiji Sakamoto # 1 2, Hiroto Terasaki # 3 2, Toshifumi Yamashita 3 2, et al.	眼科	Increased incidence of endophthalmitis after vitrectomy relative to face mask wearing during COVID-19 pandemic	Br J Ophthalmol. 2022 Jun 21;bjophthalmol-2022-321357.	Original Article
83	Takehiro Yamashita 1, Hideki Shiihara 1, Hiroto Terasaki 1, et al.	眼科	Characteristics of pigmentary glaucoma in Japanese individuals	PLoS One. 2022 Jun 23;17(6):e0268864.	Original Article

小計7件

84	Hiroto Terasaki 1, Toshifumi Yamashita, Ryoh Funatsu, et al.	眼科	OCULAR FACTORS RELATED TO PREOPERATIVE ENLARGEMENT OF IDIOPATHIC MACULAR HOLE DIAMETER	Retina. 2022 Aug 1;42(8):1484-1490.	Original Article
85	Masatoshi Tomita # 1, Takehiro Yamashita # 1, Hiroto Terasaki 1, et al.	眼科	Success Rate of Swept-Source Optical Coherence Tomography Biometry of Eyes of Elementary School Students	Clin Ophthalmol. 2022 Nov 1;16:3607-3612.	Original Article
86	Naohisa Mihara 1, Shozo Sonoda 1, Hiroto Terasaki 1, et al.	眼科	Sex- and Age-Dependent Wide-Field Choroidal Thickness Differences in Healthy Eyes	Clin Med. 2023 Feb 14;12(4):1505.	Original Article
87	Yasuyoshi Motose 1, Hiroto Terasaki 1, Misaki Ichiki 1, et al.	眼科	Simultaneous Occurrence of Buckle Infection and Migration: A Case Report	Medicina (Kaunas). 2023 Feb 23;59(3):449.	Case report
88	Hideki Shiihara 1, Shozo Sonoda 1 2, Hiroto Terasaki 1, et al.	眼科	Wayfinding artificial intelligence to detect clinically meaningful spots of retinal diseases: Artificial intelligence to help retina specialists in real world practice	PLoS One. 2023 Mar 27;18(3):e0283214.	Original Article
89	Takehiro Yamashita 1, Ryo Asaoka 2, Aiko Iwase 3, et al.	眼科	Sex determination using color fundus parameters in older adults of Kumejima population study	Graefes Arch Clin Exp Ophthalmol. 2023 Mar 1.	Original Article
90	Masatoyo Nakajo 1, Aya Takeda 2, Akie Katsuki 3, et al.	放射線科	The efficacy of 18F-FDG-PET-based radiomic and deep-learning features using a machine-learning approach to predict the pathological risk subtypes of thymic epithelial tumors	Br J Radiol. 2022 Jun 1;95(1134):20211050	Original Article

小計7件

91	Kiyohisa Kamimura 1, Masanori Nakajo 1, Misaki Gohara 1, et al.	放射線科	Differentiation of hemangioblastoma from brain metastasis using MR amide proton transfer imaging	J Neuroimaging. 2022 Sep;32(5):920- 929.	Original Article
92	Koji Takumi 1, Hiroaki Nagano 2, Tsuyoshi Myogasako 2, et al.	放射線科	Feasibility of iodine concentration and extracellular volume fraction measurement derived from the equilibrium phase dual-energy CT for differentiating thymic epithelial tumors	Jpn J Radiol. 2023 Jan;41(1):45-53.	Original Article
93	Koji Takumi 1, Hiroaki Nagano 2, Kazuhiro Ueda 3, et al.	放射線科	Left atrial CT volume and CHA2DS2-VASc score predict early pulmonary vein stump thrombus after left upper lobectomy	Sci Rep. 2023 Mar 27;13(1):4965.	Original Article
94	Yusuke Kawashima, Masaaki Miyakoshi, Yoshihiro Kawabata, et al.	顎顔面放射線科	Value of MDCT data of mandibular condyle cancellous bone to osteoporosis screening	American Journal of Diagnostic Imaging 2023 Jan	Original Article
95	Yusuke Kawashima, Masaaki Miyakoshi, Yoshihiro Kawabata, et al.	顎顔面放射線科	Normal Cone beam Computed Tomography image findings of nutrient canals in 340 pediatrics	American Journal of Diagnostic Imaging 2023 Mar	Original Article
96	Hiroko P Indo 1 2, Daisuke Masuda 3 4, Sompong Sriburee 1 5,et al.	顎顔面放射線科	Evidence of Nrf2/Keap1 Signaling Regulation by Mitochondria- Generated Reactive Oxygen Species in RGK1 Cells	Biomolecules. 2023 Feb 27;13(3):445.	Original Article
97	Tatsuro Tanaka 1, Yusuke Kawashima 1, Masafumi Oda 2,et al.	顎顔面放射線科	Visualization of Peripheral Blood Vessels on the Lingual Aspect of the Mandible Using a Balanced Steady-State Free-Precession Sequence with a Time-Spatial Labeling Inversion Pulse: Usefulness for Prevention of Severe Complications of Dental Implantation	J Clin Med. 2022 Oct 18;11(20):6137.	Original Article

小計7件

98	Shintaro Hagihara 1 2, Masayuki Nakagawa 3, Kana Matsubara 3, et al.	麻醉科	Successful annuloplasty using the cone-beam computed tomography-assisted radiofrequency thermocoagulation system in a patient with severe vertebral deformity: a case report	JA Clin Rep. 2022 Aug 13;8(1):63.	Case report
99	Yukie Shirakawa 1, Sachi N Ohno 1, Kanae A Yamagata 1, et al.	歯科麻醉科	Circadian rhythm of PERIOD2::LUCIFERASE expression in the trigeminal ganglion of mice	Front Neurosci. 2023 Mar 28;17:1142785.	Original Article
100	Rumi Shidou 1, Atsushi Kohjitani 1, Masaaki Miyata 2, et al.	歯科麻醉科	Estimation of the Risk of Postoperative Hypertension Following Minor to Moderate Surgery Using an Echocardiogram and Biomarkers	Int Heart J. 2022 May;63(3):558-565.	Original Article
101	Kentaro Kawamura 1, Seiji Etoh 2, Tomokazu Noma 3, et al.	リハビリテーション科	Quantitative measurement of resistance force and subsequent attenuation during passive isokinetic extension of the wrist in patients with mild to moderate spasticity after stroke	J Neuroeng Rehabil. 2022 Oct 13;19(1):110.	Original Article
102	Toshikazu Hirohata 1, Takaya Kitano 2, Chizu Saeki 2, et al.	リハビリテーション科	Quantitative behavioral evaluation of a non-human primate stroke model using a new monitoring system	Front Neurosci. 2022 Sep 1;16:964928.	Original Article
103	Keita Yamagata, Yasuhiko Oga, Sangho Kwon, et al.	矯正歯科	A novel auxiliary device enhances miniscrew stability under immediate heavy loading simulating orthopedic treatment	Angle Orthod. 2023 Jan 1;93(1):71-78.	Original Article
104	Sayaka Hino 1, Aya Maeda-Iino 2, Takakazu Yagi 1 3, et al.	矯正歯科	Effects of sex, age, choice of surgical orthodontic treatment, and skeletal pattern on the psychological assessments of orthodontic patients	Sci Rep. 2022 Jun 1;12(1):9114.	Original Article

小計7件

105	Emi Inada 1, Issei Saitoh 2, Yasutaka Kaihara 3, et al.	小児歯科	Factors related to mouth breathing syndrome in preschool children and the effects of incompetent lip seal: An exploratory study	Clin Exp Dent Res. 2022 Dec;8(6):1555-1560.	Original Article
106	Yoshinori Shirakata 1, Fumiaki Setoguchi 1, Kotaro Sena 1, et al.	歯周病科	Comparison of periodontal wound healing/regeneration by recombinant human fibroblast growth factor-2 combined with β -tricalcium phosphate, carbonate apatite, or deproteinized bovine bone mineral in a canine one-wall intra-bony defect model	J Clin Periodontol. 2022 Jun;49(6):599-608.	Original Article
107	Yoshinori Shirakata 1, Takatomo Imafuji 1, Toshiaki Nakamura 1, et al.	歯周病科	Cross-linked hyaluronic acid gel with or without a collagen matrix in the treatment of class III furcation defects: A histologic and histomorphometric study in dogs	J Clin Periodontol. 2022 Oct;49(10):1079-1089.	Original Article
108	Yasuhiro Nishi 1, Katsura Seto 2, Mamoru Murakami 3, et al.	義歯インプラント科	Effects of Denture Cleaning Regimens on the Quantity of Candida on Dentures: A Cross-Sectional Survey on Nursing Home Residents	Int J Environ Res Public Health. 2022 Nov 28;19(23):15805.	Original Article
109	Haruka Miyata 1, Masakazu Ishii 2, Fumio Suehiro 1, et al.	義歯インプラント科	Elucidation of adipogenic differentiation regulatory mechanism in human maxillary/mandibular bone marrow-derived stem cells	Arch Oral Biol. 2023 Feb;146:105608.	Original Article
110	Kiyohide Ishihata a, Toshiro Kibe a, Masahiro Tezuka a, et al.	口腔顎顔面外科	Postoperative stability following orthognathic surgery and final skeletal morphology in class III patients with cleft lip and palate	J Oral Maxillofac Surg Med Pathol. 2022 Nov;34(6):704-712.	Original Article
111	Kiyohide Ishihata a 1, Takako Okawachi b 1, Toshiro Kibe b, et al.	口腔顎顔面外科	Three-dimensional nasal forms following unilateral cleft-lip nose correction with mandibular ramus cortical bone augmentation for concaved nasal dorsum	Oral Maxillofac Surg Med Pathol. 2022 Nov;34(6):740-748.	Original Article

小計7件

112	Kiyohide Ishihata, Toshiro Kibe, Chang-Hwan Seong, et al.	口腔顎顔面外科	Four-dimensional assessment of facial expression before and after orthognathic surgery in skeletal Class III patients	Oral Sci Int. 2022 Jul;20(2).	Original Article
113	Kiyohide Ishihata 1, Chang-Hwan Seong 1 2, Toshiro Kibe 1, et al.	口腔顎顔面外科	Lipoteichoic Acid and Lipopolysaccharides Are Affected by p38 and Inflammatory Markers and Modulate Their Promoting and Inhibitory Effects on Osteogenic Differentiation	Int J Mol Sci. 2022 Oct 20;23(20):12633.	Original Article
114	Takuya Yoshimura 1, Hajime Suzuki 1, Hiroataka Takayama 1, et al.	口腔顎顔面外科	Prognostic value of inflammatory biomarkers in aged patients with oral squamous cell carcinoma	Front Pharmacol. 2022 Nov 21;13:996757.	Original Article
115	Kohei Godai	手術部	Anaesthesia recommendations for Pallister-Hall syndrome	Anasth Intensivmed. 2022Jul; 63: S242-247.	Others
116	Go Kamimura 1, Kazuhiro Ueda 1, Aya Takeda 1, et al.	手術部	A case of schwannoma at the origin of the right recurrent laryngeal nerve resected under uniportal video-assisted thoracic surgery	Respirol Case Rep. 2022 Aug 23;10(9):e01023.	Case report
117	Go Kamimura 1, Kazuhiro Ueda 1, Aya Takeda 1, et al.	手術部	A case of ectopic cervical thymoma with myasthenia gravis mimicking a parathyroid tumour	Respirol Case Rep. 2022 Oct 25;10(11):e01052.	Case report
118	Koshiro Sugita 1, Mitsuru Muto 1, Kiyotetsu Oshiro 2, et al.	救命救急センター	Is anemia frequently recognized in gastroschisis compared to omphalocele? A multicenter retrospective study in southern Japan	Pediatr Surg Int. 2022 Sep;38(9):1249-1256.	Original Article

小計7件

119	Koshiro Sugita 1, Shun Onishi 1, Chihiro Kedoin 1, et al.	救命救急センター	A safe and effective laparoscopic Ladd's procedure technique involving the confirmation of mesenteric vascular perfusion by fluorescence imaging using indocyanine green: A case report of an infant	Asian J Endosc Surg. 2022 Apr;15(2):410-414.	Case report
120	Koshiro Sugita 1, Toshio Harumatsu 1, Takafumi Kawano 1, et al.	救命救急センター	Clinical features of patients who underwent anoplasty for cloacal exstrophy and their functional outcomes: the results of a nationwide survey in Japan	Pediatr Surg Int. 2023 Feb 10;39(1):112.	Original Article
121	Koshiro Sugita 1, Shun Onishi 1, Mitsuru Muto 1, et al.	救命救急センター	Case report: Severe hepatic fibrosis induced by chronic cholestasis of congenital biliary dilation treated by laparoscopic surgery after immunonutrition support- An infantile case	Front Pediatr. 2023 Jan 12;10:1101000.	Case report
122	Yutaro Madokoro 1, Chinatsu Kamikokuryo 1, Shuhei Niiyama 1, et al.	集中治療部	Early ascorbic acid administration prevents vascular endothelial cell damage in septic mice	Front Pharmacol. 2022 Oct 6;13:929448.	Original Article
123	Yuichi Kodama 1, Atsushi Sato 2, Keisuke Kato 3, et al.	周産母子センター	Ponatinib in pediatric patients with Philadelphia chromosome-positive leukemia: a retrospective survey of the Japan Children's Cancer Group	Int J Hematol. 2022 Jul;116(1):131-138.	Original Article
124	Yoshihiro Takahashi 1, Kentaro Ueno 1, Naohiro Shiokawa 1, et al.	周産母子センター	Successful coil embolization for pediatric internal mammary artery aneurysm after the Fontan procedure: A case report and literature review	J Cardiol Cases. 2022 Jun 30;26(4):279-282.	Case report
125	Mitsuru Muto # 1, Koshiro Sugita # 2, Tomoyuki Matsuba 3, et al.	周産母子センター	How should we treat representative neonatal surgical diseases with congenital heart disease?	Pediatr Surg Int. 2022 Sep;38(9):1235-1240.	Review

小計7件

126	Mitsuru Muto 1, Shun Onishi 1, Masakazu Murakami 1, et al.	周産母子センター	Transanal Mesenteric Resection in Hirschsprung's Disease Using ICG under Concept of NOTES Technique	European J Pediatr Surg Rep. 2022 Aug 16;10(1):e115-e117.	Case report
127	Mitsuru Muto 1, Shun Onishi 1, Masakazu Murakami 1, et al.	周産母子センター	Useful traction technique for laparoscopic fundoplication without removing proceeding gastrostomy in a neurologically impaired patient with a body deformity	Asian J Endosc Surg. 2022 Jul;15(3):697-699.	Case report
128	Ayaka Nagano 1, Koshiro Sugita 1, Toshio Harumatsu 1, et al.	周産母子センター	Predictive factors of bowel resection for midgut volvulus based on an analysis of bi-center experiences in southern Japan	Pediatr Surg Int. 2023 Feb 11;39(1):113.	Original Article
129	Mitsuru Muto 1, Koshiro Sugita 2, Masakazu Murakami 2, et al.	周産母子センター	Association between gastrointestinal perforation and patent ductus arteriosus in extremely-low-birth-weight infants: a retrospective study of our decade-long experience	Pediatr Surg Int. 2023 Feb 15;39(1):125.	Original Article
130	Shintaro Yanazume 1, Jun Fang 2, Rayhanul Islam 2 3, et al.	周産母子センター	Effect of Tumor Targeted-Anthracycline Nanomedicine, HPMA Copolymer-Conjugated Pirarubicin (P-THP) against Gynecological Malignancies	J Pers Med. 2022 May 18;12(5):814.	Original Article
131	Michiyo Higashi 1, Taiji Hamada 2, Ken Sasaki 3, et al.	病理部 (病理診断科)	Esophageal plexiform fibromyxoma: A case report with molecular analysis for MALAT1-GLI1 fusion	Pathol Res Pract. 2022 May;233:153878.	Original Article
132	Mari Kirishima # 1, Seiya Yokoyama # 1, Kei Matsuo 1, et al.	病理部 (病理診断科)	Gallbladder microbiota composition is associated with pancreaticobiliary and gallbladder cancer prognosis	BMC Microbiol . 2022 May 27;22(1):147.	Original Article

小計7件

133	Mari Kirishima 1, Toshiaki Akahane 2, Nayuta Higa 3, et al.	病理部 (病理診断科)	IDH-mutant astrocytoma with an evolutional progression to CDKN2A/B homozygous deletion and NTRK fusion during recurrence: A case report	Pathol Res Pract. 2022 Nov;239:154163.	Case report
134	Ikumi Kitazono 1, Toshiaki Akahane 1 2, Yusuke Kobayashi 3, et al.	病理部 (病理診断科)	Pelvic Carcinosarcoma Showing a Diverse Histology and Hierarchical Gene Mutation with a Common POLE Mutation to Endometrial Endometrioid Carcinoma: A Case Report	Int J Surg Pathol. 2022 Dec;30(8):891- 899.	Case report
135	Hirotsugu Noguchi 1, Michiyo Higashi 1, Ryo Desaki 2, et al.	病理部 (病理診断科)	Adult Hepatocellular Carcinoma Coexisting with Extramedullary Hematopoiesis	Int J Surg Pathol. 2022 May;30(3):339- 345.	Case report
136	Shinichi Hashimoto 1, Yuji Iwashita 2, Hiroki Taguchi 1, et al.	光学医療診療部	Comparison of recurrent biliary obstruction with the use of metal and plastic stents in EUS-guided biliary drainage: A propensity score-matched analysis	Endosc Ultrasound. 2023 Jan- Feb;12(1):64-73.	Original Article
137	Haruka Sakae 1, Seiichi Mawatari 2, Kohei Oda 1, et al.	総合臨床研修センター	A case of autoimmune hepatitis with thymoma and myasthenia gravis	Clin J Gastroenterol. 2022 Aug;15(4):765- 770.	Case report
138	Hideyuki Terazono 1 2, Masami Tsuchiya 2 3, Yosuke Maki 2 4, et al.	薬剤部	Evaluation of a Webinar for Pharmacists Learning Basic Clinical-Oncology during COVID- 19 Pandemic in Japan	Biol Pharm Bull. 2022 Jul;45(7):856- 862.	Original Article
139	Michihiro Ogura 1, Shuji Matsumoto 2 3, Rintaro Ohama 3, et al.	臨床技術部 (リハビリテーション部門)	Immediate Effects of Electrical Stimulation on Oropharyngeal Structure and Laryngeal Vestibular Closure: A Pilot Study in Healthy Subjects	Prog Rehabil Med. 2022 Jul 9;7:20220033.	Original Article

小計7件
計139件

- (注) 1 当該特定機能病院に所属する医師等が前年度に発表した英語論文のうち、高度の医療技術の開発および評価に資するものと判断されるものを七十件以上記入すること。七十件以上発表を行っている場合には、七十件のみを記載するのではなく、合理的な範囲で可能な限り記載すること。
- 2 報告の対象とするのは、筆頭著者の所属先が当該特定機能病院である論文であり、査読のある学術雑誌に掲載されたものに限るものであること。ただし、実態上、当該特定機能病院を附属している大学の講座等と当該特定機能病院の診療科が同一の組織として活動を行っている場合においては、筆頭著者の所属先が大学の当該講座等であっても、論文の数の算定対象に含めるものであること(筆頭著者が当該特定機能病院に所属している場合に限る。)
- 3 「発表者氏名」に関しては、英文で、筆頭著者を先頭に論文に記載された順に3名までを記載し、それ以上は、他、またはet al.とする。
- 4 「筆頭著者の所属」については、和文で、筆頭著者の特定機能病院における所属を記載すること。
- 5 「雑誌名・出版年月等」欄には、「雑誌名. 出版年月(原則雑誌掲載月とし、Epub ahead of printやin pressの掲載月は認めない); 巻数: 該当ページ」の形式で記載すること
(出版がオンラインのみの場合は雑誌名、出版年月(オンライン掲載月)の後に(オンライン)と明記すること)。
記載例: Lancet. 2015 Dec; 386: 2367-9 / Lancet. 2015 Dec (オンライン)
- 6 「論文種別」欄には、Original Article、Case report、Review、Letter、Othersから一つ選択すること。

(様式第3)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

2 論文発表等の実績

(2)高度の医療技術の開発及び評価を行うことの評価対象とならない論文(任意)

番号	発表者氏名	筆頭著者の 特定機能病院における所属	題名	雑誌名・ 出版年月等	論文種別
1	向原 公介、曾我 欣治	心臓血管外科	高齢者の循環器疾患 高齢者の低侵襲心臓血管外科治療	日本臨牀.80(7): 1153-1158, 2022.7	Others
2	上原 翔平、佐々木文郷、前田 英仁、他	消化器内科	鹿児島県における内視鏡的粘膜下層剥離術を施行したバレット食道腺癌患者の経時的変化も含めた臨床背景と治療成績の検討	日本消化管学会雑誌 2022. Sep 6(1):28-35	Original Article
3	児島 一成、佐々木文郷、樺山 雅之、他	消化器内科	腸管重複症と腔内憩室の鑑別が困難だった腺腫を伴う十二指腸隆起病変の1例	日本消化器内視鏡学会雑誌 2022 Apr; 64(4): 1011-1017	Case report
4	中嶋 太極、盛 真一郎、田辺 寛、他	消化器外科	集学的治療を行い二期的に根治切除し得た同時性肝転移を伴う局所進行直腸癌の1例	癌と化学療法(0385-0684)50巻3号 Page372-374(2023.03)	Case report
5	比嘉 那優大、吉本幸司	脳神経外科	良性脳腫瘍の病理と遺伝子異常	臨床検査 2022 6月; 66:742-746	Others
6	藤尾 信吾、花谷 亮典	脳神経外科	神経内視鏡手術	脳神経外科速報 2022 7月;32:523-529	Review

小計6件

7	藤尾 信吾、花谷 亮典	脳神経外科	希少がん治療のアップデート 機能性腫瘍 1)下垂体腫瘍	月刊腫瘍内科 2022 11月;30:492-498	Review
8	花田 朋子、藤尾 信吾、米永 理法、他	脳神経外科	傍鞍部に発生した傍神経節腫の一例	日本内分泌学会雑誌 第32回 日本間脳下垂体腫瘍学会 Proceeding 2022 8月;98:63-65	Case report
9	堀切 陽祐、川出 茂、山神 大、他	糖尿病・内分泌内科	ゴナドトロピン産生下垂体腫瘍の手術前後における内科的考察	日本内分泌学会雑誌(0029-0661)98巻2号 Page552(2022.10)	Original Article
10	大迫 洋一、有馬 純矢、川越 真理、他	泌尿器科	高位膀胱切開にて摘出した膀胱尿道異物の1例	泌尿器外科.2022.06.35:537-540.	Original Article
11	坂口 大、鑪野 秀一、檜木 伴直、他	泌尿器科	腎移植後にロボット支援下膀胱全摘術および回腸導管造設術を施行した1例	日本臨床腎移植学会雑誌.2022.12.10:229-231.	Original Article
12	小代 彩 太崎 友紀子、内田 那津子、他	血液・膠原病内科	チロシンキナーゼ阻害薬中断後の分子遺伝学的再燃に対してインターフェロン α を投与し出産し得た慢性骨髄性白血病	臨床血液 (0485-1439)64巻2号 Page102-106(2023.02)	Case report
13	石塚 賢治	血液・膠原病内科	医学と医療の最前線成人T細胞白血病・リンパ腫の診療	日本内科学会雑誌 112巻1号 Page89-93(2023.01)	Review

小計7件

14	大西 峻、西田 ななこ、 祁答院 千寛、他	小児外科	【どうする?小児の便秘・下痢】便秘の原因となる器質的疾患の診断と長期的な治療戦略 Hirschsprung 病	小児内科(0385-6305)55巻3号 Page385-389(2023.03)	Review
15	家入 里志、菱木 知郎、古村 眞、他	小児外科	外科系新専門医制度の現状,課題そして展望 外科系新専門医制度におけるサブスペシャリティとしての小児外科専門医の役割と今後の課題	日本外科学会雑誌(0301-4894)123巻6号 Page614-617(2022.11)	Review
16	大西 峻、榊屋 隆太、西田 ななこ、他	小児外科	【小児外科を取り巻く最新テクノロジー】蛍光ナビゲーション画像誘導	小児外科(0385-6313)54巻10号 Page982-988(2022.10)	Review
17	大西 峻、村上 雅一、春松 敏夫、他	小児外科	手術手技 細径と破格を克服する小児先天性胆道拡張症の安全・確実な胆道再建 乳児から成人体格まで包含する手技の確立	手術(0037-4423)76巻11号 Page1735-1742(2022.10)	Review
18	家入 里志、村上 雅一、杉田 光士郎、他	小児外科	胎児・新生児・小児用デバイス開発の動向	日本コンピュータ外科学会誌(1344-9486)24巻3号 Page191-194(2022.09)	Review
19	春松 敏夫、西田 ななこ、長野 綾香、他	小児外科	【高位・中間位鎖肛手術術式の成績と問題点アップデート】肛門挙筋群を温存した術後排便機能の経時的推移の比較検討 特に男児に対する仙骨会陰式とmodified PSARPでの経時的推移の比較	小児外科(0385-6313)54巻7号 Page703-707(2022.07)	Review
20	祁答院 千寛 春松 敏夫、矢野 圭輔、他	小児外科	外傷性脾損傷後の脾仮性嚢胞に対し腹腔鏡下嚢胞開窓ドレナージが奏功した1例	日本小児外科学会雑誌(0288-609X)58巻4号 Page734-739(2022.06)	Case report

小計7件

21	村上 雅一、 祁答院千寛、 杉田 光士郎、他	小児外科	【小児の便秘:最近の知見】重症心身障碍児と便秘症	小児外科(0385-6313)54巻4号 Page376-380(2022.04)	Review
22	大西 峻、 武藤 充、 西田 ななこ、他	小児外科	【withコロナの小児医療の変化】地方在住医師にとっての学会参加	小児外科(0385-6313)54巻6号 Page626-630(2022.06)	Review
23	小林 裕明	産科、婦人科	ロボット支援傍大動脈リンパ節郭清 knack & pitfall	産婦人科の進歩 (0370-8446)74巻2号 Page250(2022.05)	Others
24	戸上 真一、小林 裕明	産科、婦人科	子宮頸がんに対するセンチネルパ ネル節生検	産婦人科の実際 (0558-4728)71巻6号 Page581-585(2022.06)	Others
25	小林 裕明	産科、婦人科	My operation journeyそれぞれの手術から伝えたいこと	産婦人科手術(0915-8375)33号 Page123(2022.06)	Others
26	酒瀬川 琢、内田那津子、折田 有史、他	産科、婦人科	血精液症は受精卵や妊娠成績に影響するか?	日本生殖医学会雑誌(1881-0098)67巻4号 Page394(2022.10)	Original Article
27	新原 有一朗、崎濱ミカ、唐木田 智子、他	産科、婦人科	月経異常・卵巣腫大を契機に診断されたFSH産生下垂体腺腫の1例	日本女性医学学会雑誌(2185-8861)30巻1号 Page133(2022.10)	Case report

小計7件

28	唐木田 智子、崎濱ミカ、新原 有一朗、他	産科、婦人科	更年期手指関節症に対するホルモン補充療法(Hormone replacement therapy:HRT)の有効性についての検討	日本女性医学学会雑誌(2185-8861)30巻1号 Page86(2022.10)	Original Article
29	河村 一郎 山元 拓哉 富永 博之、他	整形外科・リウマチ外科	思春期特発性側弯症Lenke type 1A-R におけるdistal adding-onと椎体回旋の関連	J. Spine Res. 13: 1265-1270, 2022.12	Original Article
30	藤井 一恭	皮膚科	【皮膚リンパ腫の病態、診断と治療】疫学調査からわかる本邦の皮膚リンパ腫	皮膚科の臨床.2022 Apr;64:976-84	Review
31	金蔵 拓郎	皮膚科	【好中球が関わる皮膚疾患update】顆粒球単球吸着除去療法の実態	Derma.2022 Jul 324:81-8	Review
32	東 裕子	皮膚科	壊疽性膿皮症に対する顆粒球吸着除去療法	皮膚科.2022 Nov;2:650-4	Others
33	吉崎 愛、指宿 敦子、馬場 直子、他	皮膚科	子宮体癌の治療後に症状が軽快したparaneoplastic acral vascular syndromeの1例	西日本皮膚科(0386-9784)84巻3号 Page278(2022.06)	Case report
34	濱田 拓人、中澤 祐則、寺崎 寛人、他	眼科	両眼に重篤な眼所見を呈し視力予後が不良であった猫ひっかき病の1例	臨床眼科 (2022.04)76巻4号 Page449-456	Case report

小計7件

35	中澤 祐則	眼科	Clinical Challenge 左眼の視野異常と視力低下をきたした1例	臨床眼科 (2022.04)76巻4号 Page409-411	Others
36	野元 翔平、上笹貫 太郎、田畑 和宏、他	眼科	上眼瞼Merkel細胞癌の1例	臨床眼科 (2022.05)76巻5号 Page597-602	Case report
37	中澤 祐則	眼科	昨今の神経眼科の話題-神経眼科の進歩 1 視神経疾患	眼科(2022.07)64巻7号 Page607-612	Review
38	中尾 久美子	眼科	Clinical Challenge黄斑部に白色病変を呈した症例	臨床眼科 (2022.07)76巻7号 Page877-880	Others
39	市來 美沙紀、あべ松 徳子、中尾 久美子、 他	眼科	新型コロナウイルスワクチン接種後に両眼性のぶどう膜炎を発症した1例	臨床眼科 (2022.08)76巻8号 Page1055-1063	Case report
40	寺崎 寛人、坂本 泰 二	眼科	【抗VEGF薬の最新情報】ファリシマブ	眼科(2022.10)64巻10号 Page947-955	Review
41	藤原 和樹、寺崎 寛 人、古江 恵理、他	眼科	悪性黒色腫に対するダブラフェニブ・トラメチニブ併用療法中に脈絡膜新生血管を生じた1例	臨床眼科 (2022.10)76巻10号 Page1372-1379	Case report

小計7件

42	中尾 久美子	眼科	眼疾患を起こすウイルスたちを知る HTLV-1	臨床眼科 (2022.11)76巻12号 Page1564-1568	Review
43	中澤 祐則	眼科	視神経炎診療のブレイクスルー病 態理解から新規治療まで	臨床眼科 (2023.02)77巻2号 Page182-186	Review
44	川島 雅樹、田淵 み な子、山下 勝	耳鼻咽喉科・頭頸部外科	咽頭痛を主訴とした無顆粒球症例	耳鼻咽喉科臨床 2022 Aug;115:650-1	Others
45	山下 薫、四道 瑠 美、祐徳 美耀子、 他	歯科麻酔科	歯科治療恐怖症を有する化学物質 過敏症患者における静脈内鎮静法 による全身管理経験	日歯麻誌, 2023, Jan; 51(1): 4-6(オンライ ン)	Case report
46	下堂 蘭 恵	リハビリテーション科	脳卒中片麻痺に対する促通反復療 法とロボットリハビリテーション	脳神経外科ジャーナ ル31(12)771- 776,2022.12	Review
47	山口 泰平、小幡 純 子、森 和代、他	口腔保健科	造血器悪性腫瘍患者の好中球減 少時に発症した口腔常在菌による 血流感染と口腔管理方法の検討	口腔ケア学会雑誌 2023 Feb、17(2)	Others
48	山形 勁太、丸谷 佳 菜子、大牟禮 治人、 他	矯正歯科	上顎左側第一大臼歯を抜去し上顎 左側第二、第三大臼歯の近心移動 を行った前歯部開咬を伴う骨格性 Ⅱ級症例	九州矯正歯科学会 誌. 2022 Dec;18(1):37-41	Case report

小計7件

49	オノ木 みなみ、八木孝和、楠元 淳也、他	矯正歯科	顎口腔機能の改善が認められた顔面非対称を有する骨格性I級ハイアンデル症例	Clinical and Investigative Orthodontics- Japanese Edition 2022 Sep;81(2):85-92	Case report
50	上之段 麻美、村原貞昭、柳田 廣明、他	冠・ブリッジ科	多目的プライマーが金銀パラジウム合金および純チタンに対するレジンセメントの接着強さにおよぼす影響	接着歯学. 2022 Dec; 40: 2-6	Original Article
51	櫻井 智章、小野 草太、宮田 春香、他	義歯インプラント科	鹿児島大学口腔インプラント専門外来における過去8年間のインプラント治療の後ろ向き研究	南九州歯誌 2022.9.9; 3(1):25-31.	Original Article
52	末廣 史雄	義歯インプラント科	上下顎遊離端欠損に対してインプラント治療を行い咀嚼障害を改善した症例	日本補綴歯科学会誌 2022年9月27日; 15(1):137-40.	Case report
53	後藤 雄一、今村晴幸、坂元 亮一、他	口腔外科	全頸部郭清後に生じた片側乳糜胸に対する保存治療を行った1例	日本口腔腫瘍学会雑誌 2022年9月 34巻 3号	Case report
54	杉田 光士郎、武藤充、家入 里志	救命救急センター	【191の疑問に答える 周産期の栄養】小児科編Q&A ハイリスク (Question 61) IFALDについて教えてください。	周産期医学(0386-9881)52巻増刊 Page469-471(2022.11)	Review
55	濱田 朋紀、瀧 づばき、永野 大河、他	周産母子センター	運針が安全で抜糸が不要な腹式頸管縫縮術の試み	産婦人科手術(0915-8375)33号 Page138(2022.06)	Others

小計7件

56	濱田 朋紀、小林裕明	周産母子センター	失敗から学ぶ手術におけるわれわれの取組みやコツ開腹、腔式運針が安全で抜糸が不要な腹式頸管縫縮術の試み	産婦人科手術(0915-8375)33号 Page19-23(2022.06)	Others
57	内田 那津子、沖利通、酒瀬川 琢、他	周産母子センター	流産分娩後の動静脈奇形への対応と文献的考察	日本生殖医学会雑誌(1881-0098)67巻4号 Page420(2022.10)	Original Article
58	谷本 昭英、横山 勢也、霧島 茉莉	病理部 (病理診断科)	【マイクロバイオームが切り拓く肝胆膵の新未来】胆道疾患 胆汁中細菌叢と膵胆道癌	肝胆膵(0389-4991)86巻3号 Page363-367(2023.03)	Review
59	田崎 貴嗣、霧島 茉莉、北菌 育美、他	病理部 (病理診断科)	胸部大動脈瘤を呈した巨細胞性動脈炎の1例	診断病理(1345-6431)40巻1号 Page91-95(2023.01)	Case report
60	谷本 昭英	病理部 (病理診断科)	【中枢神経系腫瘍の病理II】病理診断 サポート 脳腫瘍のがんゲノム医療 カスタムがん遺伝子パネルによる統合分子診断	病理と臨床(0287-3745)41巻2号 Page0153-0161(2023.02)	Review
61	北菌 育美、霧島 茉莉、田崎 貴嗣、他	病理部 (病理診断科)	FDG-PET高集積を示した遺残副腎由来のOncocytomaの1例	診断病理(1345-6431)39巻4号 Page319-325(2022.10)	Case report
62	窪田 恵美、宿里 亜李沙、岩切 かおり、他	病理部 (病理診断科)	乳腺転移を来した膵solid-pseudopapillary neoplasmの1例	日本臨床細胞学会九州連合会雑誌(0912-6600)53巻 Page79-82(2022.07)	Case report

小計7件

63	竹元 明子、徳丸 季 聡、熊谷 聡美、他	栄養管理部	入院支援部門における管理栄養士の配置有無と最適な病院食提供との関連を検討する多施設共同後ろ向きコホート研究	日本病態栄養学会誌 Vol.25No.3 2022 Sep:257-261	Others
64	城之下 唯子、河村健太郎、比嘉 那優大、他	臨床技術部(リハビリテーション部門)	大脳基底核部ジャーミノーマによる上肢麻痺例への作業療法の経験	総合リハビリテーション50(5):503-508,2022.05	Case report
65	豊栄 峻、松元 秀次、松原 貴哉、他	臨床技術部(リハビリテーション部門)	母指に限局した運動麻痺に対して持続的神経筋電気刺激下の促通反復療法を実施した脳卒中急性期の一例	作業療法 41(5):602-609,2022.10	Case report
66	神之田 理恵、渡邊 温子、松尾 美樹、他	臨床技術部(歯科部門・歯科衛生)	歯科診療用ユニット給水系中の微生物汚染に関する検討	環境感染誌. 2022 Sept; Vol. 37 no. 5:183-189	Original Article

小計4件
計66件

(注) 1 当該医療機関に所属する医師等が前年度に発表したもののうち、高度の医療技術の開発および評価に資するものと判断される主なものを記入すること。

2 記載方法は、前項の「高度の医療技術の開発及び評価を行うことの評価対象となる論文」の記載方法に準じること。

(様式第 3)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

3 高度の医療技術の開発及び評価の実施体制

(1) 倫理審査委員会の開催状況

① 倫理審査委員会の設置状況	<input checked="" type="checkbox"/> ・無
② 倫理審査委員会の手順書の整備状況	<input checked="" type="checkbox"/> ・無
・ 手順書の主な内容 倫理委員会設置者の責務、倫理委員会の役割・責務、倫理委員会の構成・業務・運営、記録の保存、調査・審議の受託、外部倫理審査委員会の利用、守秘義務等	
③ 倫理審査委員会の開催状況	年 12 回

- (注) 1 倫理審査委員会については、「臨床研究に関する倫理指針」に定める構成である場合に「有」に○印を付けること。
2 前年度の実績を記載すること。

(2) 利益相反を管理するための措置

① 利益相反を審査し、適当な管理措置について検討するための委員会の設置状況	<input checked="" type="checkbox"/> ・無
② 利益相反の管理に関する規定の整備状況	<input checked="" type="checkbox"/> ・無
・ 規定の主な内容 目的、定義、委員会の設置、申告書の提出、指導等、異議申立て、情報開示等	
③ 利益相反を審査し、適当な管理措置について検討するための委員会の開催状況	年 12 回

- (注) 前年度の実績を記載すること。

(3) 臨床研究の倫理に関する講習等の実施

① 臨床研究の倫理に関する講習等の実施状況	年 1 回
・ 研修の主な内容 1. 臨床研究管理センターのウェブサイト(e-ラーニング(ICR Web))による受講を実施した。 ※主な講座：臨床研究の基礎知識講座(旧 臨床研究入門初級編) 2. 生命科学・医学系研究講習会を開催した。	

- (注) 前年度の実績を記載すること。

(様式第 4)

高度の医療に関する研修を行わせる能力を有することを証する書類

1 研修の内容

医師として共通に求められている基礎的知識、技術、マナー等の修得を目指したいいわゆる初期臨床研修（2年間）を修了した医師は、その後も引き続き研修を行うことになるが、（各診療科により異なるが通算して概ね5～6年の研修期間）その間、各科の指導医のもと入院患者及び外来患者の診療に従事するとともに、症例検討会、抄読会並びに種々のカンファレンス等に参加し、より一層の研鑽を行う。併せて地域のメディカルセンターとしてより先端的な医療の開発、研究を行っている本学での研修では、それぞれの専門的で高度な知識と技術の修得が出来る。

また、それぞれの科の標榜するための条件となる各科関連学会の定める専門医、認定医の資格取得のための指導体制も十分に整っている。

その他、日進月歩の医学の世界において医師の生涯学習の観点から、地域の病院との連携を促進し地域医療の発展に寄与することを目的とした「研修登録医」制度を設け、本学大学病院において病棟回診、症例検討会その他の研究会並びに患者の診療等に参加することを通じて、先端的な知識や技術を修得するために1年間の研修を行っている。

(注) 上記の研修内容は医師法及び歯科医師法の規定による臨床研修を終了した医師及び歯科医師に対する専門的な研修について記載すること。

2 研修の実績

上記研修を受けた医師数	188 人
-------------	-------

(注) 前年度の研修を受けた医師の実績を記入すること。

3 研修統括者

研修統括者氏名	診療科	役職等	臨床経験年数	特記事項
大石 充	心臓血管内科	部門科長	33年	
曾我 欣治	心臓血管外科	部門科長	32年	
井戸 章雄	消化器内科	部門科長	39年	
大塚 隆生	消化器外科	部門科長	28年	
高嶋 博	脳神経内科	部門科長	33年	
花谷 亮典	脳神経外科	部門科長	33年	
井上 博雅	呼吸器内科	部門科長	38年	
佐藤 雅美	呼吸器外科	部門科長	41年	
浅川 明弘	心身医療科	部門科長	30年	
榎田 英樹	泌尿器科	部門科長	31年	
石塚 賢治	血液・膠原病内科	部門科長	34年	
西尾 善彦	糖尿病・内分泌内科	部門科長	38年	
中村 雅之	神経科精神科	部門科長	27年	
岡本 康裕	小児科	部門科長	33年	
家入 里志	小児外科	部門科長	29年	
小林 裕明	産科、婦人科	部門科長	38年	
谷口 昇	整形外科・リウマチ外科	部門科長	28年	
金蔵 拓郎	皮膚科	部門科長	39年	
坂本 泰二	眼科	部門科長	38年	
山下 勝	耳鼻咽喉科・頭頸部外科	部門科長	27年	
吉浦 敬	放射線科	部門科長	34年	
田中 達朗	顎顔面放射線科	部門科長	26年	

松永 明	麻酔科	部門科長	35年	
杉村 光隆	歯科麻酔科	部門科長	36年	
下堂 蘭 恵	リハビリテーション科	部門科長	34年	
於保 孝彦	口腔保健科	部門科長	40年	
宮脇 正一	矯正歯科	部門科長	34年	
山崎 要一	小児歯科	部門科長	40年	
西谷 佳浩	保存科	部門科長	27年	
野口 和行	歯周病科	部門科長	37年	
南 弘之	冠・ブリッジ科	部門科長	33年	
西村 正宏	義歯インプラント科	部門科長	29年	
杉浦 剛	口腔外科	部門科長	32年	
中村 典史	口腔顎顔面外科	部門科長	41年	
橋口 照人	検査部	部長	36年	
垣花 泰之	救命救急センター (救急科)、集中治療部	センター長	36年	
古川 良尚	輸血・細胞治療部	部長	39年	
谷本 昭英	病理部、病理診断科	部長	35年	
田口 則宏	歯科総合診療部	部長	29年	
川村 英樹	感染制御部	副部長	23年	

(注) 1 医療法施行規則第六条の四第一項又は第四項の規定により、標榜を行うこととされている診療科については、必ず記載すること。

(注) 2 内科について、サブスペシャリティ領域ごとに研修統括者を配置している場合には、すべてのサブスペシャリティ領域について研修統括者を記載すること。

(注) 3 外科について、サブスペシャリティ領域ごとに研修統括者を配置している場合には、すべてのサブスペシャリティ領域について研修統括者を記載すること。

(様式第4)

高度の医療に関する研修を行わせる能力を有することを証する書類

4 医師、歯科医師以外の医療従事者等に対する研修

① 医師、歯科医師以外の医療従事者に対する研修の実施状況（任意）			
研修の主な内容	研修の期間	実施回数	研修の参加人数
鹿児島県母性衛生学会	2022/8/28	1回	170人
鹿児島大学病院歯科 インプラント研修会	2022/4/27～2023/3/15	11回	12人
インプラント カンファレンス	2022/5/9～2023/2/27	16回	3人
安全の知識 輸血の基礎	2022/4/20	1回	60人
災害支援ナース向けの 災害医療講義	2023/1/25	1回	13人
看護部研修	別紙「看護部年間教育実施書」のとおり		
ME機器センター研修	別紙「ME機器センター」のとおり		
② 業務の管理に関する研修の実施状況（任意）			
研修の主な内容	研修の期間	実施回数	研修の参加人数
放射線取扱者教育訓練 (動画)	2022/6/30～2022/7/29	1回	59人
補綴科合同連絡会	2022/4/14～2023/3/9	11回	5人
インプラント専門外来担 当者会議	2022/4/18～2023/3/20	9回	3人
看護部研修	別紙「看護部年間教育実施書」のとおり		

③ 他の医療機関に所属する医療関係職種に対する研修の実施状況

(注) 1 高度の医療に関する研修について、前年度実績を記載すること。

(注) 2 「③他の医療機関に所属する医療関係職種に対する研修の実施状況」については、医療法施行規則第六条の四第四項の規定に基づき、がん、循環器疾患等の疾患に関し、高度かつ専門的な医療を提供する特定機能病院についてのみ記載すること。また、日本全国の医療機関に勤務する医療従事者を対象として実施した専門的な研修を記載すること。

2022年度 看護部年間教育実施書

区分	研修名	研修日時・場所	人数	一般目標	到達目標	研修方法	講師・内容	担当者
新人	基礎研修1 安全の知識 感染管理	4月6日(水) 1G)9:45～12:05 2G)13:30～15:50	52	医療人として必要な基礎的知識・技術を学び、安全・安心な看護が提供できる看護実践能力を養う	1.転倒・転落に関する基本的知識を習得し、演習を通して気づきの能力を実践できる 2.標準予防策、手洗いが実践できる	演習	【演習】「車椅子移乗KYT」「手洗い」「標準予防策」 講師：梅木由紀・田中久美子(教育専従)	田中
	基礎研修2-① IT研修	4月11日(月) 9:00～12:00 鶴陵会館 大ホール	52		1.患者情報を扱う際の責務について説明できる 2.電子カルテを使って患者情報の閲覧を確認できる 3.e-kanja記録システムの閲覧を確認できる 4.看護記録の入力が体験できる 5.電子カルテから医師の指示の確認、閲覧操作を確認できる 6.THINK 医療安全、感染対策等の各マニュアル等を閲覧できる 7.メールや研修記録等の個人の情報ツールの操作方法について説明できる	講義	【講義】「THINK操作に関わる基本事項」「個人情報保護とセキュリティ」 「電子カルテ時代の診療記録」「医療安全と質評価」 講師：医療情報部 部長 宇都 由美子 (鹿児島大学大学院医歯学総合研究科健康科学専攻 人間環境学講座医療システム情報学 教授)	田中
	基礎研修2-①② IT研修	①4月11日(月) 1G)13:10～14:30 2G)14:40～16:00 ②4月12日(火) 1G)9:10～10:30 2G)10:40～12:00 3G)13:20～14:40 4G)14:50～16:10 医療情報部 操作演習室	15		【演習】「THINK操作について」 講師：花原 康代(医療情報部看護師) インストラクター：福島真紀・田中久美子・梅木由紀(教育専従)	田中		
	基礎研修3 <安全の知識> 転倒・転落予防 内服・点滴管理 薬剤の基礎 輸血	4月20日(水) 10:25～15:45 鶴陵会館 大ホール	52		1.転倒・転落に関する基本的知識を習得できる 2.与薬に関する安全管理についての知識を習得できる 3.薬剤の基礎知識を習得する 4.輸血管理の基礎知識を習得する	講義	【講義】安全の知識「内服管理・点滴管理」「転倒・転落の危険判断について」 講師：肥後昌代(医療環境安全部 GRM師長) 【講義】「薬剤の基礎・内服薬・注射薬の基礎」 講師：屋地 慶子(薬剤部副部長) 【講義】「輸血の基礎」 講師：古川 良尚(輸血・細胞治療部 部長)	田中
	基礎研修4 輸液ポンプ・シリンジポンプ	4月25日(月) 1G)8:30～12:00 2G)13:15～16:45 第4講義室 総合臨床研修センター セミナー室、演習室3・4	52		1.輸液ポンプ・シリンジポンプについての基礎知識が習得できる 2.輸液ポンプ・シリンジポンプを安全に操作できる	講義・演習	【講義】「医療機器の取り扱い、輸液ポンプ・シリンジポンプについて」 講師：中島高博(臨床工学技士) 【講義】輸液を受ける患者の看護 講師：田中久美子(教育専従) 【演習】輸液ポンプ・シリンジポンプの取り扱い インストラクター：中島高博・戸高秀美・福島栄一郎(臨床工学技士) 早田知恵(B5部署教育ナース) 湯元慶孝(O2部署教育ナース) 福島真紀・梅木由紀・田中久美子(教育専従)	田中
	基礎研修5-①② 体位変換・褥瘡予防	①5月16日(月) ②5月17日(火) 8:45～9:50 1G)10:00～12:35 2G)14:10～16:45 保健学科 601講義室 基礎・成人看護学実習室	26		1.褥瘡予防に必要な体位変換やポジショニング、良肢位などの基礎的知識・技術を習得できる 2.褥瘡計画書を、指導を受けながら立案できる	講義・演習	【講義】褥瘡予防技術 講師：西帯野智代(皮膚排泄ケア認定・特定看護師) 講師：竹原沙織(皮膚排泄ケア認定看護師) 【演習】褥瘡予防・褥瘡計画書立案 ①5/16インストラクター： ・教育委員：古城邦子(B5)、肘岡奈津子(B4) ・褥瘡対策委員：藤田大智(リハビリ) ・部署教育ナース：中村由佳(C5)、野間しほこ(ICU) ・教育専従：福島真紀・田中久美子 ②5/17インストラクター： ・教育委員：上野かおり(C5)、中野宏美(C4) ・部署教育ナース：下野恵子(B8)、楠元豪(ICU) ・教育専従：福島真紀・田中久美子	田中 5/16古城・肘岡 5/17上野・中野
	基礎研修6 パートナーシップ・マインド 夜勤導入研修	5月25日(水) 1G)9:00～11:00 2G)12:20～14:20 3G)14:45～16:45 総合臨床研修センター セミナー室	52		1.パートナーシップ・マインドについて説明できる 2.PNSが機能するために自身が何をすべきか説明できる 3.PNS体制のもと、自己が成長するために何が必要か考えることができる 4.夜勤業務の流れと夜間の看護ケアの特徴が分かる 5.夜勤業務時の自己の体調管理の重要性について説明できる	講義・演習	【講義】「PNSマインド」 講師：山浦智美(C5 総務委員) 【演習】PNSの実践(ロールプレイ) ファシリテーター：岩下真也(C5教育委員) 田中久美子・福島真紀・梅木由紀(教育専従) 【講義】夜勤の心得 講師：田中久美子(教育専従)	田中 岩下
	基礎研修7-①② 吸引・酸素吸入	①6月2日(木) ②6月3日(金) 1G)8:30～12:15 2G)13:00～16:45 総合臨床研修センター 演習室1・2・3・4	52		1.口鼻腔吸引が演習でできる 2.閉鎖式気管内吸引が演習でできる 3.開放式気管内吸引が演習でできる 4.酸素吸入中の患者の看護について説明できる	講義・演習	【講義】酸素吸入中の患者の看護 講師：呼吸療法士 吉永健嗣(B4看護師) 【演習】吸引 ①6/2インストラクター： ・教育委員：重信玲子(B2)、畠中義美(B8) ・部署教育ナース：徳留美幸(B4)、渡邊聡子(C6) ・教育専従：福島真紀・田中久美子 ②6/3インストラクター： ・教育委員：齋藤元代(C2)、米澤里恵(手術部) ・部署教育ナース：山口敬子(救急部)、今村千恵子(NICU) ・教育専従：福島真紀・田中久美子 【危険予知トレーニング】「酸素・吸引の実践」 担当：教育委員・教育専従	田中 重信 畠中
基礎研修8 口腔ケア 食事介助・経管栄養	6月13日(月) 1G)8:15～12:00 2G)13:00～16:45 保健学科601校講義室 基礎・成人看護学実習室	52	1.口腔ケアの基礎知識・技術を習得できる 2.食事介助の基礎知識・技術を習得できる 3.経管栄養の基礎知識・技術を習得できる	講義・演習	【講義・演習】「口腔ケア・食事介助・経管栄養について」 講師：鈴木真由美(摂食嚥下障害認定看護師) インストラクター： ・教育委員：松山真澄美(B6)、新穂ゆき枝(手術部) ・部署教育ナース：枝田志織(B2)、押川大輔(B3)、徳永香織(C3)、 鶴田祥子(C4)、上村香織(リハビリ) ・教育専従：田中久美子・福島真紀	田中 松山 新穂		

区分	研修名	研修日時・場所	人数	一般目標	到達目標	研修方法	講師・内容	担当者
新人	基礎研修9 看護記録(必要度含む) 接遇・コミュニケーション	6月9日(水) 8:30~16:45 鶴陵会館 大ホール	52	医療人として必要な基礎的知識・技術を学び、安全・安心な看護が提供できる看護実践能力を養う	1.POSによる看護記録について説明できる 2.重症度、医療・看護必要度を理解し、適切に評価することができる 3.評価した内容を、看護記録に正確に記載できる 4.態度・言葉遣い・おもてなしを学ぶことで、患者と信頼関係を学ぶことができる	講義・演習	【講義】「POSによる看護記録」 講師：松田智子(B3看護記録検討・監査委員) 【講義・演習】「重症度・医療・看護必要度」 講師：塗木まみ(B8教育委員) 【講義・演習】「接遇マナーの基本「あいさつ」で変わるおもてなしの心」学研ナーシング 「あなたのコミュニケーションの特徴を知ろう ～リアリティショックを和らげるためのヒント～」学研ナーシング 【研修4復習小テスト】「輸液ポンプ・シリジポンプ」	田中 塗木
	基礎研修10-① 糖尿病看護・血糖測定・静脈血採血	6月27日(月) 10:35~11:50 共通教育棟 インテリジェント室	52		1.糖尿病看護の基礎知識を習得できる 2.血糖測定、静脈血採血が安全に実施できる知識を身につけることができる 3.血糖測定を安全に実施できる 4.静脈血採血を安全に実施できる	講義	【講義】「糖尿病患者の看護」 講師：井手追和美(糖尿病看護認定看護師・医科2階外来部長)	福島
	基礎研修10-①② 糖尿病看護・血糖測定・静脈血採血	①6月27日(月) 1G)13:40~16:45 ②6月28日(火) 1G)8:55~12:00 2G)13:40~16:45 保健学科4階基礎・成人看護学実習室	52		【講義・演習】「血糖測定と静脈採血の実際とリスクマネジメント」 講師：田中久美子(教育専従) ①6/27インストラクター： ・教育委員：山中希世美(C6)、尾上可奈子(リハビリ) ・部署教育ナース：米倉真由美(C7) ・教育専従：田中久美子・梅木由紀 ②6/28インストラクター： ・教育委員：古城邦子(B5)、岩下真也(C3)、上野かおり(C5) ・部署教育ナース：前川奈那(B6)、松田智子(B7)、下野恵子(B8) ・教育専従：田中久美子・梅木由紀 【危険予知トレーニング】「採血の実際場面」、意見交換 インストラクター：福島真紀(教育専従)	福島 6/27山中・尾上 6/28古城・岩下		
	基礎研修11 フィジカルアセスメント	10月6日(木) 1G)8:15~12:00 2G)13:00~16:45 総合臨床研修センターC棟8階 セミナー室、演習室1・2	58		1.フィジカルアセスメントに関する基本的知識を習得できる 2.フィジカルアセスメントの基本技術が習得できる 3.グループワークで事例のフィジカルアセスメントを実施できる	講義・演習	【講義】「フィジカルアセスメントの基礎知識」 講師：山下 浩美(集中ケア認定看護師) 【演習】「事例を用いたフィジカルアセスメントの実際」 講師：山下 浩美(集中ケア認定看護師) 【演習】意識レベルの把握、対光反射の確認 講師：水迫友和(脳卒中リハビリテーション看護認定看護師) インストラクター：塗木まみ(C7教育委員)、田中久美子・福島真紀(教育専従)	福島 塗木
	基礎研修12 ストレス・マネジメント	7月4日(月)12:50~16:45 鶴陵会館 大ホール	52		1.心の健康とストレスについて理解し、対応についても理解できる	講義・演習	【講義】「ストレス・マネジメント」 講師：山下亜矢子(鹿児島大学医学部保健学科 地域包括看護学 教授)	福島
	基礎研修13-① 静脈注射・筋肉注射・皮下注射	8月24日(水)8:30~11:50	52		1.静脈注射・皮下注射・筋肉注射を実施する上で必要な解剖整理について説明できる 2.注射を実施する上で必要なアセスメントについて説明できる 3.安全に静脈内注射・皮下注射・筋肉注射が演習で実施できる	講義	【講義】「注射に関する解剖生理」 講師：畠中慈美(B8教育委員) 【講義】「注射に関する看護師のアセスメント」 講師：齋藤元代(C2教育委員) 【講義】「注射に関連する取り決め事項」 講師：福島真紀(教育専従) 【危険予知トレーニング】「注射」 講師：福島真紀(教育専従)	福島
	基礎研修13-①② 静脈注射・筋肉注射・皮下注射	①8月24日(水) 1G)13:00~16:45 ②8月25日(木) 2G)8:10~11:55 3G)13:00~16:45	52		【演習】「静脈内注射・筋肉注射・皮下注射」 ①8/24インストラクター： ・教育委員：齋藤元代(C2)、松山真奈美(B6) ・部署教育ナース：枝田志織(B2)、松田智子(B7) ・教育専従：田中久美子・福島真紀 ②8/25インストラクター： ・教育委員：脇岡奈津子(B4)、上野かおり(C5) ・部署教育ナース：徳永香織(C3)、鶴田翔子(C4)、渡邊聡子(C6)、米倉安由美(C7) ・教育専従：田中久美子・福島真紀	福島 8/24齋藤・畠中 8/25脇岡・上野		
	基礎研修14-①② BLS	①10月26日(水) 1G)9:00~11:35 2G)13:10~15:45 ②10月27日(木) 3G)9:00~11:35	51		1.AEDを含む一次救命処置について学び、演習の場で実践できる	講義・演習	①10/26【講義・演習】BLS講義・演習 講師：市川善実(ICU災害支援ナース インストラクター： ・教育委員：市川善実(ICU)、山中希世美(C6) ・災害支援ナース：塩崎えり(B8)、泊加奈美(C7) ・保健学科教員：南綾乃、日隈利香 ・教育専従：田中久美子・福島真紀 ②10/27【講義・演習】BLS講義・演習 講師：西端宏平(B7災害支援ナース インストラクター： ・教育委員：古城邦子(B5)、松山真澄美(B6) ・災害支援ナース：西端宏平(B7)、内山綾音(救急部) ・保健学科教員：日隈利香 ・教育専従：福島真紀	福島 10/26市川・山中 10/27古城・松山
看護を語る	11月8日(火) 1G)9:00~11:00 2G)12:15~14:15 3G)14:45~16:45	51	看護の楽しさ、やりがい、奥深さを実感し、専門職者としての自覚や責任ある行動がとれる	1.自分の嬉しかった事例や上手いと感じた看護体験の振り返りが出来る 2.他参加者の看護体験を共有できる 3.看護の楽しさ、やりがい、奥深さを実感できる 4.看護専門職としての姿勢や態度についての自分の課題を考えられる	発表会	【語り】自分の看護を語る「心に残る患者(看護)」 支援者：折田美千代(B3看護師長)、濱島ゆかり(放り看護師長) 高見利恵(教育専従師長)、田中久美子(教育専従副看護師長) 福島真紀・梅木由紀(教育専従) 【講義】「ポートフォリオについて」 講師： 福島真紀(教育専従)	福島 折田 濱島	

区分	研修名	研修日時・場所	人数	一般目標	到達目標	研修方法	内容	担当者
新人	看護実践プロセスⅠ-①②	①12月5日(月) 13:05~16:45 ②12月8日(木) 8:30~12:10	51	自己の看護実践の振り返りを行い、問題点を明確化し、看護師・助産師としての役割を考える	1.看護の役割を理解できる 2.看護実践プロセスを理解し、評価できる	講義・演習	【講義】「看護の視点と看護観」 講師:内山美香(C6教育委員) 【講義】「看護過程について」 講師:福島真紀(教育専従) 【演習】事前に配布した事例の看護上の問題点・アセスメント・看護計画を立て、看護の視点や看護観を考える ・自己の事例で看護計画を振り返り個別的な看護計画について考える ①12/5インストラクター: 新穂ゆき枝(B7教育委員)、田中久美子・福島真紀(教育専従) ②12/8インストラクター: 伊村奈緒子(手術部教育委員)、福島真紀・梅木由紀(教育専従)	福島 12/5新穂 12/8伊村
	フィジカルアセスメントフォローアップ	2月6日(月) 1G)8:30~12:00 2G)13:00~16:30	52	医療人として必要な基礎的知識・技術を学び、安全・安心な看護が提供できる看護実践能力を養う	1.フィジカルアセスメント技術の振り返りが行える。 2.フィジカルアセスメントに関する知識を高め、患者の状態変化をアセスメントすることが出来る。 3.事例の状態変化時の一次評価をISBARCで報告出来る。	講義・演習	【講義・演習】「フィジカルアセスメント」 講師:山下浩美(集中ケア認定看護師) インストラクター: 田中久美子・福島真紀・梅木由紀(教育専従)	福島
2021年度採用者(卒後2年目)	2年目研修 看護倫理Ⅰ	5月20日(金) 1G)9:00~12:15 2G)13:30~16:45 総合臨床研修センター セミナー室	46	看護者が守るべき倫理を理解し、倫理的問題解決に向けた取り組みが実践できる	1.看護者が守るべき倫理について理解できる 2.自己の看護について、看護倫理の観点から振り返ることができる 3.臨床現場における倫理問題解決に向けた取り組みについて、具体的に考えることができる	講義・演習	【講義】「看護倫理」 講師:川内美千代(倫理・教育担当 副看護部長) 【演習】「看護倫理に関する事例検討」(グループワーク) ファシリテーター:川内美千代副看護部長、尾上加奈子(回復期リハ教育委員) 福島真紀・梅木由紀(教育専従)	梅木 福島 尾上
	2年目研修 看護実践プロセスⅠフォローアップ	7月20日(水) 1G)9:00~11:00 2G)12:15~14:15 3G)14:45~16:45 共通教育棟503講義室	45	看護過程の展開における自己の課題を明確にし、看護実践を考える	1.自己の看護実践を振り返ることができる 2.様々な気付きや知識、経験を共有し、事例を深く理解することができる	講義・演習	【講義】「看護実践プロセスⅠの復習」 講師:田中久美子(教育専従) 【演習】「自己の担当患者の看護過程のリフレクション」(グループワーク) インストラクター:重信玲子(B2教育委員)、 田中久美子・福島真紀・梅木由紀(教育専従)	田中 重信
	2年目研修:補講 看護実践プロセスⅠフォローアップ	12月26日(水) ①15:00~16:30 キャリアアップ研修室	1			講義・演習	【講義】「看護実践プロセスⅠの復習」 講師:田中久美子(教育専従) 【演習】「自己の担当患者の看護過程のリフレクション」 インストラクター: 田中久美子(教育専従)	田中
	2年目研修 エンゼルケア①②	①9月5日(月)②9月7日(水) 1G)9:00~12:00 2G)13:45~16:45 保健学科4階実習室(基礎) 成人看護学実習室	35	医療人として必要なエンゼルケアの知識・技術を学び、看取りの看護が提供できる	1.エンゼルケア・看取りの看護について基本的な知識・技術を習得できる	講義・演習	【講義】「エンゼルケア」 講師:田畑真由美(緩和ケア認定看護師) 【講義】「お見送りの実際」 講師:9/5 小齊平博子(NICU教育委員)、齋藤元代C2教育委員) 9/7 岩下真也(C3教育委員)、尾上加奈子(回復期リハ教育委員) 【演習】モデル演習 グループワーク ①9/5インストラクター:小齊平博子(NICU教育委員)、齋藤元代C2教育委員) 有馬美紗(B6がん看護リクナース)、田中久美子・福島真紀(教育専従) ②9/7インストラクター:岩下真也(C3教育委員)、尾上加奈子(回復期リハ教育委員) 脇杏奈(B5がん看護リクナース)、江口友梨(ICUがん看護リクナース) 田中久美子・福島真紀(教育専従)	田中 9/5小齊平・齋藤 9/7岩下・尾上
	2年目研修 挿管介助 閉鎖式吸引操作①②	10月20日(木)、10月21日(金) 1G)9:20~12:10、 2G)13:30~16:20 臨床研修センター セミナー室、演習室1・2・3・4	22		1.挿管介助ができる 2.閉鎖式気管内吸引ができる	講義・演習	【講義】「挿管チューブの固定方法と注意点について」 講師:長野考哲(手術看護認定看護師) 【演習】「挿管介助・吸引」 ①10/20インストラクター: 畠中滋味(B8教育委員)、今村千恵美(NICU部署教育ナース) 山口敬子(救急部署教育ナース)、田中久美子(教育専従) ②10/21インストラクター: 上野かおり(C5教育委員)、野間しほこ(ICU部署教育ナース) 隈元豪(手術部署教育ナース)、田中久美子(教育専従)	田中 10/20畠中 10/21上野
	2年目研修 聴診・12誘導心電図 技術評価①②	①10月31日(火)、②11月1日(火) 9:00~16:15間で、指定された受講 時間に30分づつ 総合臨床研修センター 演習室3・4	45	医療人として必要な基礎的知識・技術を学び、安全・安心な看護が提供できる看護実践能力を養う	1.聴診器が正しく使用でき、呼吸音聴診ができる(副雑音の判別ができる) 2.12誘導心電図の電極が正しく装着できる(波形がわかる)	技術評価	【技術評価】「呼吸音聴診・12誘導心電図装着」 担当:①10/31)徳留美由紀(B4部署教育ナース)、福島真紀(教育専従) ②11/1) 早田知穂(B5部署教育ナース)、梅木由紀(教育専従)	田中
	2年目研修 人工呼吸器管理①②	①11月14日(月)12:45~16:45 ②11月15日(火)12:45~16:45 総合臨床研修センター セミナー室、演習室3・4	45		1.人工呼吸器に関する基礎知識を習得できる 2.人工呼吸器装着患者の看護について理解できる 3.人工呼吸器装着中の安全対策について考えることができる	講義・演習	【講義】「人工呼吸器の基礎」 講師:中島高博(臨床工学技士) 【講義】「人工呼吸器装着中の患者の看護」 講師:市川善実(特定看護師) 【演習】「人工呼吸器操作」 インストラクター:徳田秀仁・新地晃也(臨床工学技士) 【講義・演習】「人工呼吸器関連のインシデント・カニューレに関するインシデントについて」 講師:①11/14山中希世美(C6教育委員) ②11/15田中久美子(教育専従)	田中 11/14山中 11/15齋藤
	2年目研修:補講 挿管介助・閉鎖式吸引 人工呼吸器	2023年2月16日(木)14:00~16:15 総合臨床研修センター演習3・4室	1		1.挿管介助ができる 2.閉鎖式気管内吸引ができる 3.人工呼吸器装着中の安全対策について考えることができる	講義・演習	【講義】「挿管チューブの固定方法と注意点について」:録画 講師:長野考哲(手術看護認定看護師) 【演習】「挿管介助・吸引」 インストラクター: 田中久美子(教育専従)	田中
2年目研修 看護を語る①②	①2023年2月14日(火) 14:35~16:30 ②2023年3月8日(水) 1G)12:15~14:10 2G)14:35~16:30 総合臨床研修センターセミナー室	45	専門職としての自覚や責任ある行動がとれる	1.自分が看護のやりがいや奥深さを感じた看護実践の振り返りができる 2.他参加者との看護体験の共有を通して、自分の看護について考える事ができる 3.2年目看護専門職としての姿勢や態度についての自己の課題を考える	発表会	【語り】「心に残る看護」 ・2年目となり、患者への看護実践のなかで気づいた思いや考え、大事なことについて 1人5分程度 ・グループメンバーと語られた看護のテーマについてディスカッション 支援者:①2/14)塗木まみ(C7教育委員) ②3/8) 山中希世美(C6教育委員) ①②)田中久美子・福島真紀・梅木由紀(教育専従)	田中 2/14塗木 3/8山中	

区分	研修名	研修日時・場所	人数	一般目標	到達目標	研修方法	内容	担当者
2020年度採用者(3年目)	地域施設見学事前学習研修	2月17日(金) 9:00~16:00 鶴岡会館 中・小ホール	31	1.障害を残し、地域・在宅で暮らす患者・家族への看護介入の状況が分かる 2.地域の患者・サービス利用者を取り巻く地域包括ケア体制や他職種協働を理解する	1.地域における社会資源に関する知識を得て、地域医療に関する理解を深めることができる 2.グループワークを通して不足している社会資源の情報を集約できる 3.事例検討を通して社会資源の活用について考えることができる 4.自身の地域施設見学及び病棟における退院支援やプライマリ―患者に対する看護をイメージできる	講義・演習	【講義】「鹿児島医療人育成プランについて～本研修の進め方、地域施設見学の進め方について」 講師：川内美千代（倫理教育担当副看護部長） 【講義】「当院における退院支援のあり方」 講師：下松裕子（地域医療連携センター副看護部長） 【演習】「共通事例に対する退院支援検討」（鹿児島県7医療圏でグループ編成し、担当医療圏について事例検討） インストラクター：川内美千代（教育担当副看護部長、地域看護支援ナース） 岩下真也（C3教育委員、地域看護支援ナース） 田中久美子（教育専従）	田中 岩下
	看護実践プロセスⅡ	6月8日(水) 8:40～10:15鶴岡会館 大ホール 1G)10:25～12:30 2G)14:00～16:05 鶴岡会館 中・小ホール	55	看護過程の展開を理解し、個別性・継続性に配慮した看護を実践できる	1.看護実践プロセス(看護過程)の展開方法を理解できる 2.アセスメント能力を高めることができる 3.個別性・継続性に配慮した看護について考えることができる 4.チームメンバーの一員、プライマリ―ナースとしての役割について考えることができる	講義・演習	【講義】「看護過程概論」 講師：山口さおり（医学部保健学科基幹看護学講座助教） 【講義】「肺がん患者の看護」 講師：市来博美（がん化学療法看護認定看護師） 【演習・グループワーク】「看護過程」 インストラクター：藤岡奈津子（B4教育委員） 田中久美子・福島真紀・梅木由紀（教育専従）	田中 藤岡
	医療器材管理研修	8月16日(火)15:55～16:45 講義：鶴岡会館 大ホール 実地研修：9月～10月のいずれかの日の1時間(14:30～15:30)	48	医療人として必要な基礎知識・技術を学び、安全安心な看護が提供できる看護実践能力を養う	1.医療材料・衛生材料の管理について理解できる 2.洗浄・消毒・滅菌のシステムを理解し管理できる 3.洗浄・消毒・滅菌に対するコスト意識を高める 4.医療器材に関する管理的視点を持つことができる	講義・演習	【講義】「洗浄・消毒・滅菌について」 講師：川島優子（医療器材管理部看護部長） 【演習】医療器材部の実地研修 講師：川島優子（医療器材管理部看護部長）	田中
	フィジカルアセスメント・ベーシック	8月29日(月) 1G)9:40～12:15 2G)13:55～16:30 総合臨床研修センターセミナー室	49	医療人として必要な基礎知識・技術を学び、安全安心な看護が提供できる看護実践能力を養う	1.事例(患者)の変化を予測した意図的な情報収集ができる 2.事例のアセスメントをABRAで報告できる 3.事例の全身状態のフィジカルアセスメントを行い、必要な看護ケアを考える	講義・演習	【小テスト】、【講義】「フィジカルアセスメント・ベーシック」、【演習】「事例」 講師：山下浩美（集中ケア認定看護師）	田中
看護実践	地域施設見学代替研修 2019年度新卒採用者(卒後4年目)入退院支援研修 事例発表会	2023年2月27日、2月28日 3月1日、3月2日 第4講義室	発表者 32 参加者のべ 270	地域・在宅で暮らす患者・家族の看護・介護の状況がわかる 地域の患者・サービス利用者を取り巻く地域包括ケア体制や他職種協働を理解する	1.患者を取り巻く環境と今の健康状態を理解する 2.患者が受けている医療・介護サービス内容を理解する 3.他職種が患者にどのように関わっているかを理解する 4.自分が支援した退院指導や生活指導がどのようにシームレスケアにつながったかを理解する 5.家族や地域で患者を支えているものを理解する 6.自らが鹿児島県の医療を担う一人であることを自覚する	発表会	【発表】2019年度入職の新卒採用者4年目看護師・助産師	高見 2/27折田 2/28島岡 3/1濱島 2/井手迫
	看護実践プロセスⅢ	2022年12月20日(火) 13:00～16:45 総合臨床研修センターセミナー室	17	PONRIに基づいた看護記録を実施し、部署看護師を対象に看護記録の質向上に向けた指導ができる	1.実施している看護が看護記録に反映されているか、記録内容が妥当か評価できる 2.看護実践プロセス(看護過程)の展開を踏まえ、患者と看護実践が見える記録を目指した指導の視点が理解できる	講義・演習	【講義】「看護実践がみえる看護記録」 1.看護記録の意義と専門職が書く記録 講師：高見利恵（教育専従講師） 2.看護過程に沿った看護記録の指導 講師：畠中慈美（B8教育委員） 3.記録監査の現状と課題 講師：松田智子（B3副看護師長・記録検討監査委員） 【演習・グループワーク】事例を用いた監査・評価・指導の実際 インストラクター：松田智子・畠中慈美・高見利恵	高見 畠中
	BLSフォローアップ①②	①9月22日(木) ②10月17日(月) 1G)13:00～14:30 2G)15:15～16:45 総合臨床研修センターセミナー室	48	医療人として必要な基礎知識・技術を学び、安全安心な看護が提供できる看護実践能力を養う	1.正しい胸骨圧迫が出来る 2.バックバルブマスクを用いて、換気出来る 3.AEDが使用できる	演習	【BLS演習】 ①9/22講師：松澤薫（B3災害支援ナース）、平佐田彰（C6災害支援ナース） ②10/17講師：北野舞（手術部災害支援ナース）、谷口美奈代（B5災害支援ナース） インストラクター：各講師、田中久美子・福島真紀（教育専従）	福島 田中
	急変時シミュレーション	6月～2023年2月 各部署にて研修	21部署 のべ45 回のべ323 名	患者の急変時における個人およびチームの迅速かつ適切な対応についてシミュレーションし、安心・安全な看護を提供する能力を養う	1.部署における患者急変時の各看護師の役割と働き方を理解する 2.患者の観察要点を学ぶ	演習	【事前学習】リソースナースを活用した学習会・BLS・SBAR 【演習】部署毎のシミュレーション 【振り返り】急変DVD視聴後の意見交換 インストラクター：各部署担当の専門・特定・認定看護師	教育委員会 部署教育ナース
	専門分野研修 認知症看護	10月7日(金) 13:00～15:00 総合臨床研修センターセミナー室	12		1.認知症看護の基礎知識を習得できる	講義・演習	【講義・演習】「認知症にのってのよい対応と悪い対応について考える」 ～ユマニチュードの4つの柱を意識した対応～ 講師：中野宏美・内匠美貴（認知症看護認定看護師）	福島 中野 内匠
	専門分野研修 心不全看護	11月24日(木) 13:45～16:00 総合臨床研修センター演習1・2室	11		1.心不全について、基礎的な知識を得ることができる 2.VAD(植え込み人工心臓)について知識を得ることができる 3.心不全患者やVAD挿入患者の看護について知識を得ることができる	講義	【講義】「心不全とVADについて」 講師：窪田琢郎（心臓血管内科医師） 【講義】「心不全患者・VAD挿入患者の看護」 講師：高山直子（慢性心不全看護認定看護師） 【講義】「実物のVADを使って、VADの紹介」 講師：新蔵安弘（臨床工学技士）	福島 高山
	専門分野研修 乳がん看護	12月15日(木) 13:00～15:00 総合臨床研修センターセミナー室	7		1.リンパ浮腫の基礎知識を習得できる 2.浮腫を発生した患者のアセスメントが行える	講義・演習	【講義・演習】「静脈浮腫とリンパ浮腫の違いについて理解を深める」 ～リンパ浮腫発症の指導の実際～ 【講義】「がん患者に起こりうる浮腫への初期対応」 講師：吉永美佳（乳がん看護認定看護師）	福島 吉永
	専門分野研修 手術看護	2023年1月30日(月) 13:00～15:00 総合臨床研修センターセミナー室	15		1.周術期看護の基礎知識を習得できる	講義	【講義】「手術を受ける患者の術前評価」「術中看護の実際」「術後の観察のポイント」 講師：永野孝哲（手術看護認定看護師）	福島 永野

区分	研修名	研修日時・場所	人数	一般目標	到達目標	研修方法	内容	担当者
人材育成	プリセプター(実地指導者)・フォローアップ研修Ⅰ	6月22日(水) 1G)9:00~11:00 2G)12:15~14:15 3G)14:45~16:45 総合臨床研修センターセミナー室	41	新人へ主体的に関わる方法を修得する	1.プリセプターとしての役割を再認識し、新人看護職員に対する精神的な支援についての具体的な方法、課題を共有できる	講義・演習	【講義】7~9月の新人指導について 講師:上野かおり(C5教育委員)、梅木由紀(教育専従) 【講義】「あなたのコミュニケーションの特徴を知ろう~リアリティショックを和らげるためのヒント~」: 学研eラーニング聴講 【演習】「新人看護職員の精神的支援について」グループワーク 支援者:上野かおり(C5教育委員)、島岡京美(救急部教育委員)、梅木由紀(教育専従)	梅木 島岡 上野
	プリセプター(実地指導者)・フォローアップ研修Ⅱ	9月14日(水) 1G)10:00~12:00 2G)14:00~16:00 総合臨床研修センターセミナー室	39		1.新人看護職員への適応状況を把握し、プリセプターの役割を再認識することができる 2.新人看護職員を取り巻く環境を理解し、今後どのような支援が望ましいかを考えることができる	講義・演習	【講義】「9月以降の新人への関わり」 講師:梅木由紀(教育専従) 【講義】「プリセプターの新人指導に置ける困難」 講師:吉鶴菜穂(手術部教育委員) 【演習】「新人看護職員が求める支援について考える」ロールプレイ 支援者:吉鶴菜穂(手術部教育委員)、折田美千代(B3教育委員)、梅木由紀(教育専従)	梅木 折田 吉鶴
	プリセプター育成研修・基礎	2023年3月2日(木) 1G)9:00~10:00 2G)12:15~14:15 3G)14:45~16:45 総合臨床研修センターセミナー室	52	プリセプター(実地指導者)の役割を理解できる	1.プリセプターの役割について理解できる 2.プリセプターの役割を担うことへの不安や期待を受講生と共有できる	講義・演習	【講義】「プリセプターに期待すること」 講師:梅木由紀(教育専従) 【講義】「プリセプターの役割」 講師:重信玲子(B2教育委員) 【演習】「目標を立てて、やりたいプリセプターになろう!」グループワーク 支援者:重信玲子(B2教育委員)、梅木由紀(教育専従)	梅木 重信
	プリセプター育成研修・基礎一補講	2023年3月17日(金) 14:45~15:45 医科臨床講義棟 第4講義室	3					梅木
	臨床指導者研修	6月14日(火)9:30~13:00 9:30~13:00 共通教育棟 402講義室	19	臨床指導者としての役割を理解し、学生指導が実践できる	1.臨床実習の意義を説明できる 2.臨床指導者の役割を説明できる 3.自己の実習指導を振り返り、課題に対する具体的な解決方法を列挙できる	講義・演習	【講義】「実習指導の原理」 講師:井上尚美(鹿児島大学保健学科育成看護学 准教) 【演習】「臨床実習指導で先輩を育てよう!」 支援者:中野宏美(C4教育委員)、山下晴美(3階外来教育委員)、梅木由紀(教育専従)	梅木 中野 山下
	フィジカルアセスメント・アドバンスコース 2020年度修了者フォローアップ①②	①5月23日(月)13:10~16:10 ②5月30日(月)13:10~16:10 総合臨床研修センターセミナー室	26	フィジカルアセスメント・アドバンスコース修了者(リソースナース)として、自部署のフィジカルアセスメント向上について取り組むことができる	1.研修企画に必要な基礎知識について説明できる 2.部署の課題について考え、今後の実践活動について企画することができる	講義 演習	【講義】「企画書の作成について~身に付く効果的な研修を行うために~」 講師:國久絵理香(小児看護分野Gナース) 【演習】「実践企画書を作成してみよう!」 インストラクター:市川善実(ICU教育委員)、國久絵理香(小児看護分野Gナース) 田中久美子(教育専従)	田中 市川
	勤務帯リダー研修①	①10月12日(水)12:45~16:45 総合臨床研修センターセミナー室	24	チーム医療の中でリーダーシップを発揮し、安全で質の高い看護サービスを提供できる	1.リーダーシップとマネジメントについて理解する 2.勤務帯リダーの役割について理解する 3.勤務帯リダーを担うにあたっての自己の課題に気づくことができる	講義・演習	【講義】「リーダー概論」 講師:島岡京美(救急部看護師長) 【講義】「勤務帯リーダーの実際」 講師:松山真澄美(B6 副看護師長) 【演習】「リーダーに求められる判断力」 支援者:島岡京美(教育委員)、松山真澄美(教育委員)、高見利恵(教育専従)	高見 島岡 松山
	勤務帯リダー研修②	②2023年1月19日(木)12:45~16:45 総合臨床研修センターセミナー室	10			講義・演習	【講義】リーダー概論 講師:折田美千代(B3 看護師長) 【講義】勤務帯リーダーの実際 講師:市川善美 (ICU 副看護師長) 【演習】リーダーに求められる判断力 支援者:折田美千代(教育委員)、市川善美(教育委員)、高見利恵(教育専従)	高見 折田 市川
	リーダーシップ	9月26日(金)13:30~15:30 鶴陵会館 中ホール	23	日常生活活動の中で、医療チームの一員として適切なリーダーシップを発揮し、よりよいチームができるよう、資質向上を図る	1.リーダーシップについて理解する 2.よりよいチーム活動のための、効果的なリーダーシップについて考えることができる 3.リーダーシップを発揮するための自身の課題を認識できる	講義・演習	【講義】「リーダーシップについて」 【演習】「自己の役割遂行のための効果的なリーダーシップを考える」 講師:有倉巳幸(鹿児島大学教育学部学部長 教授) 演習助手:高見利恵・田中久美子(教育専従)	高見 田中
	部署教育ナース フォローアップ研修	8月26日(金)13:30~15:30 総合臨床研修センター 演習室1・2	15	部署における部署教育ナースとしての役割を果たすことができる	1.部署OJTの課題について考えることができる 2.部署OJTを活性化する方法について考えることができる 3.今後の部署教育ナースとしての目標を明確化することができる	講義・演習	【講義】「OJTとは」 講師:梅木由紀(教育専従) 【講義】「あなたのコミュニケーションタイプの特徴を知ろう」(学研eラーニング聴講) 【演習】「部署全体を巻き込んだ教育に向けて」グループワーク ファシリテーター:小齊平博子(NICU教育委員)、中野宏美(C4教育専従) 田中久美子・福島真紀・梅木由紀(教育専従)	梅木 小齊平 中野
	部署教育ナース育成研修	2023年3月17日(金) 8:30~12:00 総合臨床研修センターセミナー室	17	部署における部署教育ナースとしての役割を果たすことができる	1.新人看護職員卒業研修及び当院の教育体制を理解できる 2.部署教育ナースとしての役割を理解できる 3.集合研修後の部署OJTの効果的な支援を考える事が出来る 4.部署での新人教育の企画書作成を行うことで、効果的なOJTについて考えることができる	講義・演習	【講義】「当院看護部の教育体制と教育プログラム」 講師:高見利恵(教育専従看護師長) 【講義】「新人看護師について、部署教育ナースの役割~部署OJTについて~」 講師:福島真紀(教育専従) 【講義・演習】「テイチング・コーチング・ファシリテーションの基本の基本」学研eラーニング 支援者:高見利恵・福島真紀(教育専従)	福島 高見
	指導力向上研修 ファシリテーション	9月29日(木) 17:30~18:30 医科臨床講義棟 第4講義室	75	看護師育成に必要な教育原理や技法を学び、看護実践における指導力を養う	1.ファシリテーションについて理解できる 2.効果的なファシリテーションについて考えることができる 3.ファシリテーションを発揮するための自身の課題を認識し、指導に活かすことができる	講義・演習	【講義】「ファシリテーションについて」 講師:李慧瑛(鹿児島大学保健学科基幹看護学 助教) 【講義・演習】「ファシリテーションスキルを磨こう!」 講師:演者:川内美千代(副看護部長) 高見利恵・田中久美子・福島真紀(教育専従)	高見
教育講演 鹿児島大学医学部保健学科・鹿児島大学病院看護部合同会	11月18日(金) 17:30~18:30 鶴陵会館 大ホール	109			講義	【講義】「今どきの子供・若者の心事情」 講師:山喜高秀志(鹿児島大学大学院心理臨床研究科 教授)	川内看護副部長 高見	

区分	研修名	研修日時・場所	人数	一般目標	到達目標	研修方法	内容	担当者	
人材育成	地域看護コース I・II・III・IV	I:6月20日 8:30～12:15 II:7月25日 9:00～12:15 III:9月1日～10月26日の間の一日 IV:11月21日 9:00～12:30 I・II・IV:総合臨床研修センターセミナー室 III:地域医療連携センター	15	地域への貢献を主体的に果たすことができる	1.患者を全人的視点で捉え、住み慣れた生活環境でその人らしく生活できるための看護を提供できる 2.患者の視点に立ち、シームレスに看護ケアを実践できる 3.退院困難な患者に社会的資源を活用して、退院調整ができる 4.鹿児島県の超高齢化社会を見据え、地域ケア体制を支援できる	講義・演習	I:【講義】地域看護コースについて 講師:川内美千代(看護部教育担当副看護部長) 【講義】地域連携センターの概要と活動 講師:道園久美子(地域医療連携センター副センター長) 【講義】社会資源を活用した退院支援について 講師:野村瑞穂PSW(地域医療連携センター) 【講義】退院支援に関する当院の取り組みについて:退院支援看護師の活動の実際 講師:下末裕子(地域医療連携センター副部長) II:【退院支援事例報告】新穂ゆき枝(B7副部長、地域看護支援ナース) 上玉利明香(地域医療連携センター退院支援専従看護師) 【演習】「効果的な退院支援をするための情報収集」 「退院支援をするための課題と対策」 ファシリテーター:新穂ゆき枝・上玉利明香 福島真紀・高見利恵(教育専従) III:【地域医療連携センター実務研修】 IV:【講義】鹿児島県の特性を踏まえた退院支援について 講師:白石靖子(地域医療連携センター師長) 【退院支援事例報告】荒田友紀(地域医療連携センター退院支援専従看護師) 【演習】「地域診断・事例検討」グループワーク 支援者:荒田由紀・佐々木美和(退院支援専従看護師) 岩下真也(C3教育委員、地域看護支援ナース) 尾上可奈子(回復期リハ教育委員) 【講義】地域看護コース受講後の取り組みについて 講師:川内美千代(看護部教育担当副看護部長)	高見 岩下 尾上	
管理	看護管理者研修 副看護師長 コンピテンシーモデル研修	7月14日(木) 1G)9:00～12:00 2G)13:00～16:00 鶴陵会館 中・小ホール	72	看護管理者が果たすべき役割について理解し、実践できる。管理者を支援できる	1.看護管理に活かすコンピテンシーについて理解する 2.コンピテンシー評価表を用いて自己評価をすることで、自己の管理実践を振り返ることができる	講義・演習	【講義】「コンピテンシー 信念の維持について」 講師:佐藤博子(福島県立医科大学看護部 基礎看護学准教授 認定看護管理者) 【模擬演習】「事例を通じたグループリフレクションの実際」 講師:佐藤博子 支援者:宮園幸江(看護部長) 今川真由美・新駿河洋子・友栗英子・福島悦子・福田ゆかり(副看護部長) 川内美千代(副看護部長) 折田美千代・濱島ゆかり・島岡京美・高見利恵(看護師長)	教育副部長 川内	
	看護管理者研修 看護師長 コンピテンシーモデル研修	7月15日(金) 9:30～15:30 鶴陵会館 中・小ホール	27	看護管理者が果たすべき役割について理解し、実践できる	1.看護管理者として、自らの能力を開発するためにコンピテンシー評価を活用することができる 2.看護管理者における「コンピテンシー」を用いた評価の進め方がわかる	講義・演習	【講義】「コンピテンシーの目的と基本を押さえた評価方法について」 講師:佐藤博子(福島県立医科大学看護部 基礎看護学准教授 認定看護管理者) 【模擬演習】「うまくいった事例のリフレクション」「困難だった事例のリフレクション」 「事例を用いたリフレクション」 講師:佐藤博子 支援者:宮園幸江(看護部長) 今川真由美・新駿河洋子・友栗英子・福島悦子・福田ゆかり(副看護部長) 川内美千代(副看護部長)	教育副部長 川内	
	経営Ⅰ	6月17日(金)17:30～18:30 鶴陵会館 大ホール	122	病院の経営目標と看護師が果たすべき役割について理解できる	1.病院の経営目標について理解できる 2.病床管理について理解できる 3.病院の経営に対し、看護師が果たす役割について理解できる 4.研修で学んだことを看護実践できる	講義	【講義】「病院経営のしくみと取り組み」 講師:岩穴口孝(医療情報部助教) 講師:福島悦子(看護部経営担当副看護部長)	経営副部長 福島 教育専従 高見	
	経営Ⅱ	10月28日(金)17:30～18:30 鶴陵会館 大ホール	93	病院の経営目標と看護師が果たすべき役割について理解できる	1.病院の経営目標について理解できる 2.病床管理について理解できる 3.病院の経営に対し、リーダー層が果たす役割について課題を見いだすことができる 4.研修で学んだことを看護実践できる	講義	【講義】「病床管理(実践編)～部署経営の取り組み」 講師:白石靖子(地域医療連携センター師長) 講師:三善真由美(C5看護師長) 講師:山口雪子(B5看護師長)	経営副部長 福島 教育専従 高見	
	経営Ⅲ	11月30日(水)17:30～18:30 鶴陵会館 大ホール	91	病院の経営目標と看護師が果たすべき役割について理解できる	1.病院経営の戦略について理解できる 2.病床経営に対する看護管理者に必要な経営意識と役割について示唆を得ることができる 3.研修で学んだことを看護管理で実践できる	講義	【講義】「当院の経営戦略～SOCIETY5.0時代のヘルスケア」 講師:宇都由美子(副病院長 医療情報部部長)	高見	
研究	看護研究研修Ⅰ	6月16日(木) 17:15～18:15 鶴陵会館 中ホール	34	看護研究の基本的な知識を得て、看護研究に取り組むことができる	1.看護研究を行うために必要な基本的事項について理解できる 2.研究目的の明確化と研究疑問を解明するための適正な方法について理解できる 3.研究的倫理を踏まえた看護研究計画書の書き方が理解できる 3.研修での学びを研究活動に活かすことができる	講義	【講義】「研究テーマと研究デザインの設定」 講師:中尾裕子(保健学科看護学専攻成育看護学 教授)	高見	
	看護研究研修Ⅱ	7月4日(月) 17:15～18:15 共通教育棟 インテリジェント室	14			講義	【講義】「文献検索完全マスター実践編」 講師:児玉慎平(保健学科看護学専攻地域包括看護学 准教授)	高見	
	看護研究研修Ⅲ	8月25日(木) 17:15～18:15 医科臨床講義棟 第4講義室	13			講義	【講義】「研究計画書の作成と倫理的配慮」 講師:若松美貴代(保健学科看護学専攻成育看護学 准教授)	南波 高見	
	院内看護研究発表会	11月12日(土) 9:00～12:30 鶴陵会館 大ホール	201			看護研究を通じて看護の探求心を養い、看護活動に役立てることができる	発表	【特別発表】「B7病棟での研究を通しての学び」発表:湯田育大・杉木志保美 【発表】B2、B5、NICU、B7、B8、C4、C5、C6、救急部、医科3階外来、有村尚子ICT、川崎恵看護師長	高見
	院内看護研究発表会 録画上映	12月23日～2023年1月31日 THINK上オンデマンドでの視聴配信				看護研究を通じて看護の探求心を養い、看護活動に役立てることができる	発表	【特別発表】「B7病棟での研究を通しての学び」発表:湯田育大・杉木志保美 【発表】B2、B5、NICU、B7、B8、C4、C5、C6、救急部、医科3階外来、有村尚子ICT、川崎恵看護師長	高見
講演	教育講演会	2021年2月16日(木) 17:00～18:00 鶴陵会館 大ホール	83		講義	【講義】「大人の発達障害の特徴と対応」 講師:赤崎安昭(医学部保健学科作業療法学専攻教授)	看護部・ 保健学科看護学 専攻		

区分	研修名	研修日時・場所	人数	一般目標	到達目標	研修方法	内容	担当者	
看護助手	看護助手研修Ⅰ-①② 「感染対策・医療器材管理」	①6月9日(木)13:30~15:30 ②6月29日(水) 1G)9:30~11:30 2G)13:30~15:30 医科臨床講義棟 第4講義室	55	看護ケアチームの一員として安全にケアが提供できるための、基礎的知識・技術を習得できる	1.感染予防に必要な知識を習得することができる 2.手指衛生の重要性や防護用具の適切な使用について確認できる 3.医療器材管理に必要な知識を習得できる 4.医療器材管理上のルールが理解できる	講義・演習	【講義】「感染対策と5SIについて」 【演習】「PPE」 【講義】「医療器材管理」 講師：有村尚子(感染制御部門感染管理認定看護師) 講師：川島優子(医療器材管理部 看護師長)	梅木	
	看護助手研修Ⅰ-補講 「感染対策・医療器材管理」	11月1日(火)14:30~16:30 キャリアアップ研修室	1						
	看護助手研修Ⅱ-①② 「接遇・パートナーシップマインド」	①8月18日(木)9:30~11:30 ②8月31日(水) 1G)9:30~11:30 2G)13:30~15:30のいずれか1回 総合臨床研修センター 演習室1・2	56		1.医療従事者に求められる接遇が理解できる 2.これまでの自己を振り返り、接遇のあり方について考えることができる 3.パートナーシップマインドについて理解することができる 4.チームの一員としてのこれまでの自分を振り返り、今後、他者と協働するためにどのようにあるべきか考えることができる	講義・演習	【講義】「接遇について」 講師：新駿河洋子 副看護部長 【演習】「接遇についての振り返り」個人・グループワーク 「接遇・マナーの基本～患者・家族へのかかわり方～」学研e-ラーニング 【講義】「パートナーシップマインド」について 「ロールプレイング」 講師：山浦智美(C5 副看護師長、PNS・接遇向上委員) 8/18支援者：古城邦子(B5教育委員)、松山真澄美(B6教育委員) 8/31支援者：新穂ゆき枝(B7教育委員)、市川善美(ICU教育委員) 高見利恵、福島真紀、梅木由紀(教育専従)	梅木 古城 松山 新穂 市川	
	看護助手研修Ⅲ-①② 「BLS・急変時の初期対応」	①11月22日(火) 1G)9:30~11:30 2G)13:30~15:30 総合臨床研修センター 演習室3・4 ②11月29日(火) 13:30~15:30のいずれか1回 総合臨床研修センター セミナー室	57		1.AEDを含む一次救命処置について学び、看護助手としての役割がわかる 2.急変時に速やかに応援を呼ぶ必要性が理解できる 3.1191コールのかけ方がわかる	講義・演習	【講義】「BLSについて」 11/22 講師：重信玲子(DMAT隊員、B2教育委) 11/29 講師：寺園秀美(C4災害支援ナース) 【演習】グループワーク 1「応援・1191コール」 2「事例検討」 3「胸骨圧迫の部位・方法」 4「AEDの使用法」 5「BLS」 11/22インストラクター：重信玲子(B2教育委員)、脇岡奈津子(B4教育委員)、 下野恵子(B8部署教育)、上村香織(回復リハ部署教育)、 福島真紀・梅木由紀(教育専従) 11/29インストラクター：塗木まみ(C7教育委員)、山下晴美(3階外来教育委員)、 湯元慶考(C2部署教育)、中村由佳(C5部署教育)、 福島真紀・梅木由紀(教育専従)	梅木 重信 脇岡 塗木 山下	
看護助手研修Ⅳ 「医療制度・病棟の組織・看護補助業務・個人情報保護と守秘義務・倫理」	①1月31日(木)13:45~15:30 ②2月16日(火) 1G)9:30~11:15 2G)13:45~15:30のいずれか1回 総合臨床研修センター セミナー室	58	1.医療制度の概要及び病院組織を理解する 2.看護補助者の業務を理解し、看護ケアについて重要な役割を担っていることを理解する 3.個人情報保護と守秘義務の重要性について理解できる 4.医療現場における接遇について理解できる 5.医療現場に求められる倫理観や倫理的に配慮した対応について考えることができる	講義	【講義】「医療制度の概要及病院の機能と組織について」 「医療チーム及び看護チームの一員としての看護補助業務について」 講師：福田ゆかり 業務管理副看護部長 【講義】「医療チームの一員としての患者への対応、個人情報保護と守秘義務」 講師：新駿河洋子 室管理副看護部長 【講義】倫理について 講師：川内美千代 教育管理副看護部長	梅木			

4 医師、歯科医師以外の医療従事者等に対する研修

①医師、歯科医師以外の医療従事者に対する研修の実施状況

ME機器センター

研修の主な内容	期間	回数	参加人数(人)	対象者
超音波内視鏡について	2022年4月11日	1	13	看護師
人工呼吸器 Fabianについて	2022年4月14日	1	6	看護師
内視鏡について	2022年4月18日	1	7	看護師
呼吸療法の基礎知識について	2022年4月21日	1	13	メディカルクラーク
エネルギーデバイスの基礎について	2022年4月22日	1	7	看護師
内視鏡の洗浄・消毒方法、内視鏡システム、修理状況に関して	2022年4月25日	1	2	内視鏡洗浄員
手術室設備について	2022年4月27日	1	6	看護師
先端湾曲ビデオスコープの取り扱い勉強会	2022年5月25日	1	2	看護師
内視鏡洗浄、機器取り扱いに関して	2022年5月31日、10月4日	2	3	内視鏡洗浄員
眼科手術装置関連勉強会	2022年6月8日	1	21	看護師
除細動器 使用方法について	2022年6月17日、10月31日	2	16	看護師
閉鎖式保育器について	2022年7月1日～7月31日	—	101	看護師
EIT測定機器説明会	2022年7月6日	1	6	看護師
保育器説明会について	2022年7月12日	1	8	看護師
眼撮影装置について	2022年8月19日	1	6	看護師
内視鏡の洗浄・消毒方法について	2022年8月23日	1	2	内視鏡洗浄員
接遇研修	2022年8月29日	1	19	臨床工学技士
生体情報モニター説明会	2022年9月15日	1	8	看護師
スポットチェックモニター取扱い説明会	2022年10月6日	1	11	看護師
人工呼吸器 Servoシリーズ プリベンティブメンテナンス講習会	2022年10月12日	1	10	臨床工学技士
血液浄化装置・IABP装置について	2022年10月12日	1	16	看護師
DVT・PTE予防勉強会	2022年10月17日	1	6	看護師
NKV-330の取り扱い説明について	2022年10月17日	1	5	看護師
CUREFLO-A 説明会	2022年10月20日	1	10	臨床工学技士
シュミレーター機器説明会	2022年10月20日	1	3	看護師
血液浄化とIABPに関して	2022年10月21日	1	8	メディカルクラーク
気管吸引ハンズオン	2022年10月25日	1	14	看護師
補助人工心臓(Hertmate II、II PC、3)について	2022年10月27日	1	3	臨床工学技士
DVT予防勉強会	2022年11月4日	1	14	看護師
術中モニタリングについて	2022年11月11日	1	22	看護師
2022年度 人工呼吸器 看護師2年目研修	2022年11月14日～11月15日	2	45	看護師

レオカーナについて	2022年11月15日	1	9	看護師
レーザー装置について	2022年11月25日～4月24日	2	26	看護師
PVToolについて	2022年11月28日	1	7	看護師
内視鏡システムについて	2022年12月1日	1	3	看護師・臨床工学技士・内視鏡洗浄員
補助人工心臓 HeartMate II PC3について	2022年12月1日～12月8日	2	22	看護師
人工呼吸器の基礎知識について	2022年12月5日	1	12	看護師
AirVOの使用方法について	2022年12月16日	1	8	看護師
レーザー血流計について	2022年12月26日	1	10	看護師
ERCP手技について・ERCP用スコープ洗浄消毒について	2023年1月25日、3月1日	2	5	臨床工学技士・内視鏡洗浄員
閉鎖式保育器について	2023年2月1日～2月28日	—	104	看護師
VIO3 研修会	2023年2月14日、4月19日	2	10	看護師
ULTRAVISIONについて	2023年2月15日	1	6	臨床工学技士
経皮的心配補助装置について	2023年3月2日	1	8	看護師
血液浄化装置について	2023年3月2日	1	8	看護師
デバイスに関して	2023年3月8日	1	2	臨床工学技士
麻酔で使用する薬剤について	2023年3月8日	1	5	臨床工学技士
SL Oneについて	2023年3月14日～3月15日	2	29	看護師
ドライスイングD2について	2023年3月16日	1	20	看護師
涙道鏡(MVH-2010A)について	2023年3月23日	1	4	看護師
Arctic sun 5000 について	2023年3月30日	1	12	看護師

(様式第 5)

診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の管理方法に関する書類

計画・現状の別	1. 計画	2. 現状
管理責任者氏名	病院長 坂本 泰二	
管理担当者氏名	各診療センター部門科長 薬剤部長 (寺菌 英之) 総務課長 (鮎川 秋徳)	医療情報部長 (宇都 由美子) 臨床技術部長代行 (弓場 裕之) 医務課長 (山森 剛)

		保管場所	管理方法
診療に関する諸記録	規則第二十二條の三第二項に掲げる事項	病院日誌	総務課
		各科診療日誌	各センター、部門科
		処方せん	薬剤部
		手術記録	・電子カルテ。 ・スキャン文書/医療情報部診療情報管理部門 (カルテ保管庫)
		看護記録	・電子カルテ。 ・スキャン文書/医療情報部診療情報管理部門 (カルテ保管庫)
		検査所見記録	・電子カルテ。 ・スキャン文書/医療情報部診療情報管理部門 (カルテ保管庫)
		エックス線写真	医療情報部・放射線部/PACS保管
		紹介状	医療情報部診療情報管理部門 (カルテ保管庫)
	退院した患者に係る入院期間中の診療経過の要約及び入院診療計画書	・電子カルテ。 ・スキャン文書/医療情報部診療情報管理部門 (カルテ保管庫)	(1) 診療記録に関する諸記録は、2007年以降の外來及び入院分から電子カルテに保管している。 (2) 一部の諸記録 (紹介状、同意書等) については、1患者1ID番号により、外來ホルダー・入院ホルダーに分けて定められた保存期間に基づき一括管理している。 (3) 保管期間を超過した紙媒体の診療諸記録は、廃棄ルールに基づき原則廃棄している。 (4) 画像データ (CT、MRI、RI、一般撮影、透視、血管造影等) は2013年からはデジタル画像として院内サーバにて保存している。 (5) 特別な場合 (医療訴訟、公的機関からの要請等) 以外は、院外への持出しは厳禁としている。

病院の管理及び運営に関する諸記録	三項に掲げる事項 規則第二十二條の三第	従業者数を明らかにする帳簿	総務課	
		高度の医療の提供の実績	医務課	
		高度の医療技術の開発及び評価の実績	総務課	
		高度の医療の研修の実績	総務課	
		閲覧実績	総務課	
		紹介患者に対する医療提供の実績	医務課	
		入院患者数、外来患者及び調剤の数を明らかにする帳簿	医務課	
	に掲げる事項 規則第一條の十一第一項	医療に係る安全管理のための指針の整備状況	医務課	
		医療に係る安全管理のための委員会の開催状況	医務課	
		医療に係る安全管理のための職員研修の実施状況	医務課	
		医療機関内における事故報告等の医療に係る安全の確保を目的とした改善のための方策の状況	医務課	

			保管場所	管理方法
病院の管理及び運営に関する諸記録	規則第一条の十一第二項第一号から第三号までに掲げる事項	院内感染対策のための指針の策定状況	医務課	
		院内感染対策のための委員会の開催状況	医務課	
		従業者に対する院内感染対策のための研修の実施状況	医務課	
		感染症の発生状況の報告その他の院内感染対策の推進を目的とした改善のための方策の実施状況	医務課	
		医薬品安全管理責任者の配置状況	薬剤部	
		従業者に対する医薬品の安全使用のための研修の実施状況	薬剤部	
		医薬品の安全使用のための業務に関する手順書の作成及び当該手順書に基づく業務の実施状況	薬剤部	
		医薬品の安全使用のために必要となる未承認等の医薬品の使用の情報その他の情報の収集その他の医薬品の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況	薬剤部	
		医療機器安全管理責任者の配置状況	医務課	
		従業者に対する医療機器の安全使用のための研修の実施状況	臨床技術部	
		医療機器の保守点検に関する計画の策定及び保守点検の実施状況	臨床技術部	
医療機器の安全使用のために必要となる情報の収集その他の医療機器の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況	臨床技術部			

		保管場所	管理方法
病院の管理及び運営に関する諸記録	規則第九条の二十の二第二項第一号から第十三号まで及び第十五条の四各号に掲げる事項	医療安全管理責任者の配置状況	医務課
		専任の院内感染対策を行う者の配置状況	医務課
		医薬品安全管理責任者の業務実施状況	薬剤部
		医療を受ける者に対する説明に関する責任者の配置状況	医務課
		診療録等の管理に関する責任者の選任状況	医療情報部
		医療安全管理部門の設置状況	医務課
		高難度新規医療技術の提供の適否等を決定する部門の状況	医務課
		未承認新規医薬品等の使用条件を定め、使用の適否等を決定する部門の状況	薬剤部
		監査委員会の設置状況	総務課
		入院患者が死亡した場合等の医療安全管理部門への報告状況	医務課
		他の特定機能病院の管理者と連携した相互立入り及び技術的助言の実施状況	医務課
		当該病院内に患者からの安全管理に係る相談に適切に応じる体制の確保状況	医務課
		医療安全管理の適正な実施に疑義が生じた場合等の情報提供を受け付けるための窓口の状況	総務課
		職員研修の実施状況	総務課
		管理者、医療安全管理責任者、医薬品安全管理責任者及び医療機器安全管理責任者のための研修の実施状況	総務課
管理者が有する権限に関する状況	総務課		
管理者の業務が法令に適合することを確保するための体制の整備状況	総務課		
開設者又は理事会等による病院の業務の監督に係る体制の整備状況	総務課		

(注)「診療に関する諸記録」欄には、個々の記録について記入する必要はなく、全体としての管理方法の概略を記入すること。また、診療録を病院外に持ち出す際に係る取扱いについても記載すること。

(様式第6)

病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法に関する書類

○病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法

計画・現状の別	1. 計画 <input type="radio"/> ② 現状 <input checked="" type="radio"/>
閲覧責任者氏名	病院長 坂本 泰二
閲覧担当者氏名	総務課長 鮎川 秋徳
閲覧の求めに応じる場所	総務課
閲覧の手続の概要 閲覧場所を設置しており、要求があった場合には対応できる状況である。	

(注)既に医療法施行規則第9条の20第5号の規定に合致する方法により記録を閲覧させている病院は現状について、その他の病院は計画について記載することとし、「計画・現状の別」欄の該当する番号に○印を付けること。

○病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧の実績

前年度の総閲覧件数	延	0	件
閲覧者別	医師	延	0 件
	歯科医師	延	0 件
	国	延	0 件
	地方公共団体	延	0 件

(注)特定機能病院の名称の承認申請の場合には、必ずしも記入する必要はないこと。

規則第1条の11第1項各号に掲げる医療に係る安全管理のための体制の確保に係る措置

① 医療に係る安全管理のための指針の整備状況	有・無
<p>・ 指針の主な内容：</p> <p>I 趣旨 II 安全管理に関する基本的考え方 III 組織に関する基本的事項 IV 医療に係る安全管理のための職員研修に関する基本方針 V 事故報告等の医療に係る安全の確保を目的とした改善のための方策に関する基本方針 VI 医療事故等発生時の対応に関する基本方針 VII 医療従事者と患者との間の情報の共有に関する基本方針 VIII 患者等からの相談への対応に関する基本方針 IX その他医療安全の推進のために必要な基本方針</p>	
② 医療に係る安全管理のための委員会の設置及び業務の状況	
<p>・ 設置の有無（有・無）</p> <p>・ 開催状況：年 12 回</p> <p>・ 活動の主な内容：</p> <p>(1) 医療の安全管理体制の確保に関すること。 (2) 医療に関する安全管理指針に関すること。 (3) 医療事故等の防止対策の検討及び推進に関すること。 (4) 医療の安全管理のための教育及び研修に関すること。 (5) その他医療の安全管理等に関すること。</p>	
③ 医療に係る安全管理のための職員研修の実施状況	年 3 回
<p>・ 研修の内容（すべて）：e-learning研修</p> <p>(1) 医療安全研修①（外部機関からの医療安全情報） (2) 医療安全研修②（医療安全管理・感染管理に関する自己チェックシート） (3) 医療安全研修③ チームSTEPPS研修（リスクマネージャー対象）</p>	
④ 医療機関内における事故報告等の医療に係る安全の確保を目的とした改善のための方策の実施状況	
<p>・ 医療機関内における事故報告等の整備（有・無）</p> <p>・ その他の改善のための方策の主な内容：</p> <p>(1) 医療環境の変化に対応するため、医療安全管理マニュアルを随時改訂した。 (2) 医療安全活動強化月間（6月・11月）を設定した。 (3) 医療安全強化月間およびリスクマネージャー連絡会議等でのインシデント(1)レベル0、1報告の推奨を行った。</p>	

(注) 前年度の実績を記入すること。

規則第1条の11第2項第1号に掲げる院内感染対策のための体制の確保に係る措置

① 院内感染対策のための指針の策定状況	有・無
<p>・ 指針の主な内容：</p> <p>I 趣旨 II 院内感染対策の基本指針 III 組織体制 IV 職員の教育及び研修 V 報告に関する基本方針 VI 対応に関する基本方針 VII その他 VIII 閲覧</p>	
② 院内感染対策のための委員会の開催状況	年 12 回
<p>・ 活動の主な内容：</p> <p>本院における院内感染対策に関する発生状況や抗菌薬使用量を含む実施状況の情報共有、及び問題の原因分析、改善策を審議し、諸施策等の策定等を行う。</p>	
③ 従業者に対する院内感染対策のための研修の実施状況	年 6 回
<p>・ 研修の内容（すべて）：</p> <p>院内感染対策研修①「標準予防策と感染経路別予防策」 院内感染対策研修②「抗菌薬適正使用」 院内感染対策研修③「米国における感染症緊急事態対応体制と医療機関緊急事態指揮システム」 院内感染対策研修④「新型コロナウイルス感染症」 院内感染対策研修⑤「結核」 院内感染対策研修⑥「当院の広域抗菌薬の使用状況と抗菌薬適正使用における課題」</p> <p>※その他に清掃業者・調理従事者向けの研修会を実施した。</p>	
④ 感染症の発生状況の報告その他の院内感染対策の推進を目的とした改善のための方策の状況	
<p>・ 病院における発生状況の報告等の整備 (有・無)</p> <p>・ その他の改善のための方策の主な内容：</p> <p>(1) 伝播リスクの高い感染症発生時や耐性菌保有リスクの高い海外医療機関歴のある患者や過去の耐性菌検出者の入院時に部署から感染制御部に報告 (2) 注意すべき病原体の検出時に検査部からICTに報告 (3) 週1回検査部から病棟別主要注意菌検出状況をまとめた感染情報レポートをICTに提出 (4) 重大な感染事例の発生時は感染制御部から病院長に報告 (5) ICTスタッフ会議、感染症対策委員会において報告 (6) リスクマネージャー連絡会議を通じて院内に周知</p>	

(注) 前年度の実績を記入すること。

規則第1条の11第2項第2号に掲げる医薬品に係る安全管理のための体制の確保に係る措置

① 医薬品安全管理責任者の配置状況	有・無
② 従業者に対する医薬品の安全使用のための研修の実施状況	年14回
<p>・ 研修の主な内容：</p> <p>2022/ 4/ 5 研修歯科医採用者ガイダンス 2022/ 4/ 6 新規採用者（医科研修医）ガイダンス 2022/ 4/12 新人看護職員基礎研修 2022/ 6/17 麻薬の取り扱いと管理（B7病棟） 2022/ 6/23 化学療法の吐き気止めについて（C6病棟） 2022/ 6/23 カテコラミンについて（ICU） 2022/10/18 ユニツキシリンについて（C6病棟） 2022/11/17 入院支援室業務について（入院支援室） 2022/12/ 1 鎮静剤について（ICU） 2022/12/20 麻薬と抗がん剤（C5病棟） 2022/12/20 麻薬の取り扱い・管理について（C5病棟） 2023/ 1/31 精神科薬剤の粉碎・簡易懸濁の可否と転倒リスクについて（C2病棟） 2023/ 3/13 ～ 31 未承認新規医薬品等を用いた医療体制について（web研修, 全職員対象） 2023/ 3/13 ～ 31 麻薬の取扱い・管理について（web研修, 全職員対象）</p>	
③ 医薬品の安全使用のための業務に関する手順書の作成及び当該手順書に基づく業務の実施状況	
<p>・ 手順書の作成 （ 有・無 ）</p> <p>・ 手順書の内訳に基づく業務の主な内容：</p> <p>(1) 医薬品の採用について (2) 医薬品の購入について (3) 調剤室における医薬品の管理について (4) 病棟・各部門への医薬品の供給について (5) 外来患者への医薬品使用について (6) 病棟における医薬品の管理について (7) 入院患者への医薬品使用について (8) 医薬品情報の収集・管理・提供について (9) 手術・麻酔部門について (10) 救急部門・集中治療室について (11) 輸血・細胞治療部門について (12) 血液浄化部門について (13) 臨床検査部門、画像診断部門について (14) 外来化学療法部門について (15) 歯科領域について (16) 他施設との連携について (17) 在宅患者への医薬品使用について (18) 放射性医薬品について (19) 院内製剤について (20) 重大な有害事象の予防・対応について</p>	

- (21) 事故発生時の対応について
- (22) 教育・研修について
- (23) 医薬品関連の情報システムの利用について

④ 医薬品の安全使用のために必要となる未承認等の医薬品の使用の情報その他の情報の収集その他の医薬品の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況

- ・ 医薬品に係る情報の収集の整備 (有 ・ 無)
- ・ 未承認等の医薬品の具体的な使用事例 (あれば) :
 - (1) 腸管不全関連肝障害に対するSMOF lipidの投与 (1症例目)
 - (2) 腸管不全関連肝障害に対するSMOF lipidの投与 (2症例目)
 - (3) 腸管不全関連肝障害に対するSMOF lipidの投与 (3症例目)
 - (4) 根治切除不能の腎細胞癌に対するベムゾロキサマブとレパチニブの併用療法
 - (5) 胎児頻脈性不整脈に対するソタロールとフルカニドの経胎盤的抗不整脈薬投与
 - (6) 自己免疫性肝炎に対するミコフェノール酸エフェルの投与
 - (7) POEMS症候群に対するレリトミドの投与
 - (8) 肺門部小細胞肺癌に対するパクリタセルの投与
 - (9) 癌性胸膜炎に対するシプロラチンの投与
 - (10) 小児の食道憩室症に対する食道狭窄症拡張術の適用
 - (11) 心臓血管手術における心筋保護液の組成
 - (12) 難治性の急性骨髄性白血病に対するレリトミドの投与
 - (13) 急性未分化型白血病に対するイマチニブの投与
 - (14) 好酸球性消化管疾患に対するゼンダコトカブセルの投与
 - (15) 陰茎癌に対するパクリタセル＋レスファミド＋シプロラチン併用療法
 - (16) 慢性骨髄性白血病に対するホチニブの投与
 - (17) TAFRO症候群に対するリツキシマブの投与
 - (18) 乳房外パジェット病に対するTS1＋ドセタセルの投与
 - (19) 進行性乳癌 (脳転移、脳浮腫) に対するハラゲン＋アパステフ併用療法
 - (20) 同種造血幹細胞移植後生着不全に対する血漿交換療法＋リツキシマブ＋パフィーコート輸血
 - (21) 肺移植後移植片慢性機能不全に対するアジスロマイシンの投与

・ その他の改善のための方策の主な内容 :

医薬品情報の周知状況の確認を徹底するために、DIニュースについては、毎月の発行分を医療安全管理委員会に報告し、また、リスクマネージャー連絡会議にて全職員への再周知を依頼し、各部署より情報確認済み署名記載用紙を回収している。

緊急安全性情報 (イエローレター) ならびに安全性速報 (ブルーレター) が発出された場合には、院内通知文書や院内メール、院内イントラネット、病棟担当薬剤師による情報提供、当該医薬品を使用している患者カルテへの記載を行う等、様々な方法で情報提供を行っている。

一般医薬品については、適応外処方については疑義照会として実施し、また、禁忌については、電子カルテ上で警告表示している。警告を突破して禁忌薬が処方された場合は、疑義照会を実施し、処方変更を依頼している (警告を突破して禁忌薬が処方された場合、調剤支援システムにより、処方箋に禁忌薬が処方されている旨が出力されるため、初回出力時に疑義照会している)。

また、適応外使用・禁忌に対する使用については、未承認新規医薬品等評価部門へ申請し許可を得られなければ使用できない体制を構築しており、病棟薬剤師ならびに調剤する薬剤師は、適応外・禁忌に関する処方を発見した際には、処方医に未承認新規医薬品等評価部門への申請が必要な旨を伝え、あわせて、未承認新規医薬品等評価部門長である、医薬品安全管理責任者へ報告している。

(注) 前年度の実績を記入すること。

規則第1条の11第2項第3号に掲げる医療機器に係る安全管理のための体制の確保に係る措置

① 医療機器安全管理責任者の配置状況	有・無
② 従業者に対する医療機器の安全使用のための研修の実施状況	年 10 回
<ul style="list-style-type: none"> ・ 研修の主な内容： <ol style="list-style-type: none"> (1) 人工心肺装置（補助循環装置を含む）研修会（2022年10月12日、2023年3月2日） (2) 人工呼吸器研修会（2022年11月8日～11月30日、2023年3月15日～3月31日） (3) 血液浄化療法研修会（2022年10月12日、2023年3月2日） (4) 除細動器研修会（2022年11月8日～11月30日、2023年3月15日～3月31日） (5) 閉鎖式保育器研修会（2022年7月1日～7月31日、2023年2月1日～2月28日） 	
③ 医療機器の保守点検に関する計画の策定及び保守点検の実施状況	
<ul style="list-style-type: none"> ・ 医療機器に係る計画の策定 （ 有 ・ 無 ） ・ 機器ごとの保守点検の主な内容： <ol style="list-style-type: none"> (1) 人工心肺装置及び補助循環装置 （年 1 回） (2) 人工呼吸器 （年 1 回） (3) 血液浄化療法装置 （年 1 回） (4) 除細動器 （年 1 回） (5) 閉鎖式保育器 （年 1 回） 	
④ 医療機器の安全使用のために必要となる未承認等の医療機器の使用の状況その他の情報の収集その他の医療機器の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況	
<ul style="list-style-type: none"> ・ 医療機器に係る情報の収集の整備 （ 有 ・ 無 ） ・ 未承認等の医療機器の具体的な使用事例（あれば）：なし ・ その他の改善のための方策の主な内容： <ol style="list-style-type: none"> (1) 全医療職員を対象とした講習会（2機種 年2回） <ol style="list-style-type: none"> 1) 医療機器に係る安全管理のための研修会 2023年11月（除細動器） 2) 医療機器に係る安全管理のための研修会 2022年11月（人工呼吸器） 3) 医療機器に係る安全管理のための研修会 2023年3月（除細動器） 4) 医療機器に係る安全管理のための研修会 2023年3月（人工呼吸器） (2) 気管支内視鏡使用医師向け講習会 対象診療科：呼吸器内科 (3) その他研修会 <ol style="list-style-type: none"> 1) 2022年度採用初期臨床研修医ガイダンス 2) 2022年度 2年目看護師研修（人工呼吸器） (3) 医療機器安全管理検討委員会およびME機器センター運営委員会での情報周知 <ol style="list-style-type: none"> 1) キャピオックスカスタムパック EBS 心肺キット プライミング操作時のご確認のお願い 2) 人工呼吸器 SERVO-U および SERVO-U Adult についての重要なお知らせ（注意喚起） 3) 医療関連機器による圧迫創傷 4) テスト肺使用による 人工呼吸器回路の再接続忘れ 	

(注) 前年度の実績を記入すること。

規則第9条の20の2第1項第1号から第13号の二に掲げる事項の実施状況

① 医療安全管理責任者の配置状況	有・無
<p>・ 責任者の資格 (<input checked="" type="checkbox"/> 医師 ・ 歯科医師)</p> <p>・ 医療安全管理責任者による医療安全管理部門、医療安全管理委員会、医薬品安全管理責任者及び医療機器安全管理責任者の統括状況</p> <p>医療に関する安全管理のための指針を令和元年6月10日一部改訂し、従来の医療環境安全部を医療安全管理部と感染制御部に改組し、各部門の機能強化を図った。その上で医療安全管理責任者に副病院長 (安全管理・感染対策担当) を充て、医療安全管理委員会、医薬品安全管理責任者及び医療機器安全管理者を統括させることとしている。</p>	
② 専任の院内感染対策を行う者の配置状況	有 (9 名) ・ 無
<p>③ 医薬品安全管理責任者の業務実施状況</p> <p>・ 医薬品に関する情報の整理・周知に関する業務の状況</p> <p>医薬品情報室にて情報を収集・整理し、DI ニュースとして発行している。また、平成 28 年 10 月より、1 ヶ月の周知状況を医療安全管理委員会に報告し、リスクマネージャー連絡会議にて全職員への再周知を依頼し、各部署より情報確認済み署名記載用紙を回収している。</p> <p>緊急安全性情報 (イエローレター) ならびに安全性速報 (ブルーレター) が発出された場合には、情報発信時に情報確認済み署名記載用紙を回覧し、回収している。(直近では令和 3 年 6 月にジョイクル関節注 30mg によるショック、アナフィラキシーについてのブルーレターが発出されている)</p> <p>医薬品・医療機器安全情報に掲載されている医薬品については、当該医薬品を投与している患者を抽出し、当該医薬品を投与している患者の主治医に対し、病棟担当薬剤師より、電子カルテにて主治医等へ情報提供を行い、該当患者一覧表を保存している。</p> <p>・ 未承認等の医薬品の使用に係る必要な業務の実施状況</p> <p>一般医薬品については、適応外処方については疑義照会として実施し、また、禁忌については、電子カルテ上で警告表示している。警告を突破して禁忌薬が処方された場合は、疑義照会を実施し、処方変更を依頼している (警告を突破して禁忌薬が処方された場合、調剤支援システムにより、処方箋に禁忌薬が処方されている旨が出力されるため、初回出力時に疑義照会している)。</p> <p>また、適応外使用・禁忌に対する使用については、未承認新規医薬品等評価部門へ申請し許可を得られなければ使用できない体制を構築しており、病棟薬剤師ならびに調剤する薬剤師は、適応外・禁忌に関する処方を発見した際には、処方医に未承認新規医薬品等評価部門への申請が必要な旨を伝え、あわせて、未承認新規医薬品等評価部門長である、医薬品安全管理責任者へ報告している。</p> <p>・ 担当者の指名の有無 (<input checked="" type="checkbox"/> 有 ・ 無)</p> <p>・ 担当者の所属・職種 :</p>	

(所属：薬剤部，職種 薬剤部長)	(所属：薬剤部，職種 副薬剤部長)
(所属：薬剤部，職種 医薬品情報主任)	(所属：薬剤部，職種 病棟薬剤業務管理主任)
④ 医療を受ける者に対する説明に関する責任者の配置状況	<input checked="" type="checkbox"/> ・無
<p>・医療の担い手が説明を行う際の同席者、標準的な説明内容その他説明の実施に必要な方法に関する規程の作成の有無 (<input checked="" type="checkbox"/>・無)</p> <p>・説明等の実施に必要な方法に関する規程に定められた事項の遵守状況の確認、及び指導の主な内容： インフォームドコンセント委員会において、診療科より提出された説明書がインフォームドコンセントマニュアルの規定にそったものであるかを確認、審査し、不足追加部分について指摘、訂正を促す。最終版を委員会で承認し、院内共通の文書として登録している。</p>	

⑤ 診療録等の管理に関する責任者の選任状況	<input checked="" type="checkbox"/> ・無
<p>・診療録等の記載内容の確認、及び指導の主な内容：</p> <p>診療記録の記載方法は、診療情報管理委員会で作成した「診療記録記載マニュアル」に提示している。診療記録の記載内容の確認は、同委員会で作成した「診療記録監査マニュアル」に従い、医療情報部診療情報管理部門で定期的に量的監査をおこなっている。 また、診療情報管理 WG においては、多職種での質的監査も実施している。監査結果は関連する委員会等で報告している。</p>	
⑥ 医療安全管理部門の設置状況	<input checked="" type="checkbox"/> ・無
<p>・所属職員：専従（4）名、専任（ ）名、兼任（2）名 うち医師：専従（1）名、専任（ ）名、兼任（2）名 うち薬剤師：専従（1）名、専任（ ）名、兼任（ ）名 うち看護師：専従（2）名、専任（ ）名、兼任（ ）名</p> <p>（注）報告書を提出する年度の10月1日現在の員数を記入すること</p> <p>・活動の主な内容：</p> <ol style="list-style-type: none"> (1) 医療安全を確保するための改善方策に関すること。 (2) 医療安全に係る教育・研修事業の企画及び運営に関すること。 (3) インシデントの分析に関すること及びインシデント分析部会開催に関すること。 (4) インシデントに関する診療録や看護記録等への記載状況の確認・指導に関すること。 (5) 患者や家族への説明等の対応状況の確認・指導に関すること。 (6) 医療安全管理委員会の運営に関すること。 (7) 院内各部門における医療安全対策の実施状況の評価に基づき、医療安全確保のための業務改善計画書を作成し、それに基づく医療安全対策の実施状況及び評価結果を記録すること。 (8) 医療安全管理委員会との連携状況、院内研修の実績、患者等の相談件数及び相談内容、相談後の取り扱いその他の医療安全管理者の活動実績の記録に関すること。 (9) 医療安全に係る連絡調整に関すること。 (10) その他医療安全対策の推進に関すること。 	

※ 平成二八年改正省令附則第四条第一項及び第二項の規定の適用を受ける場合には、専任の医療に係る安全管理を行う者が基準を満たしていることについて説明すること。
※ 医療安全管理委員会において定める医療安全に資する診療内容及び従事者の医療安全の認識についての平時からのモニタリングの具体例についても記載すること。

⑦ 高難度新規医療技術の提供の適否等を決定する部門の状況

- ・ 前年度の高難度新規医療技術を用いた医療の申請件数（2件）、及び許可件数（2件）
- ・ 高難度新規医療技術の提供の適否等を決定する部門の設置の有無（・無）
- ・ 高難度新規医療技術を用いた医療を提供する場合に、従業者が遵守すべき事項及び高難度新規医療技術の提供の適否等を決定する部門が確認すべき事項等を定めた規程の作成の有無（・無）
- ・ 活動の主な内容：

部門科等の長から申請が行われた内容を確認するとともに、高難度新規医療技術評価委員会に対して当該技術の提供の適否、実施を認める条件等について意見を求め、その意見を踏まえ適否等について決定し、部門科等の長に対し適否結果通知書により通知している。

実施された高難度新規医療技術に関し、定期的に、及び術後に患者が死亡した場合その他必要な場合には、診療録等の記載内容の確認を行い、従業者の遵守状況の確認を行っている。

高難度新規医療技術の提供の適否等について決定した時及び従業者の遵守状況を確認した時は、病院長に報告している。

- ・ 規程に定められた事項の遵守状況の確認の有無（・無）
- ・ 高難度新規医療技術評価委員会の設置の有無（・無）

⑧ 未承認新規医薬品等の使用条件を定め、使用の適否等を決定する部門の状況

- ・ 前年度の未承認新規医薬品等を用いた医療の申請件数（21件）、及び許可件数（21件）
- ・ 未承認新規医薬品等の使用条件を定め、使用の適否等を決定する部門の設置の有無（・無）
- ・ 未承認新規医薬品等を用いた医療を提供する場合に、従業者が遵守すべき事項及び未承認新規医薬品等の使用条件を定め使用の適否等を決定する部門が確認すべき事項等を定めた規程の作成の有無（・無）
- ・ 活動の主な内容：

- (1) 未承認新規医薬品等使用の可否の審査
- (2) 未承認新規医薬品等評価部門にて使用が認められた医薬品の使用報告書の確認
- (3) 未承認新規医薬品等評価部門にて使用が認められた医薬品の使用後の有害事象等の発生の有無の確認
- (4) 薬剤部各部署からの報告による未承認新規医薬品等の情報収集

- ・ 規程に定められた事項の遵守状況の確認の有無（・無）
- ・ 未承認新規医薬品等評価委員会の設置の有無（・無）

⑨ 入院患者が死亡した場合などの医療安全管理部門への報告状況

- ・入院患者が死亡した場合の医療安全管理部門への報告状況：年 218 件
- ・上記に掲げる場合以外の場合であって、通常の経過では必要がない処置又は治療が必要になったものとして特定機能病院の管理者が定める水準以上の事象が発生したとき当該事象の発生の事実及び発生前の状況に関する医療安全管理部門への報告状況：年 80 件
- ・上記に関する医療安全管理委員会の活動の主な内容
 - A. 上記報告の状況の確認及び管理者への報告
 - B. 概要の確認、調査・分析、改善方法の立案・検討を行う

⑩ 他の特定機能病院等の管理者と連携した相互立入り及び技術的助言の実施状況

- ・他の特定機能病院等への立入り（（病院名：京都大学（Web））・無）
- ・他の特定機能病院等からの立入り受入れ（（病院名：札幌医科大学（Web））・無）
- ・技術的助言の実施状況

医療安全管理体制、医薬品安全管理体制、高難易度新規医療技術担当部門等に係る助言について、各部門において検討し、適宜改善を図っている。

⑪ 当該病院内に患者からの安全管理に係る相談に適切に応じる体制の確保状況

- ・体制の確保状況

患者相談窓口を設置し、寄せられた相談内容を把握、規則によって定められた者による医療相談室会議を開催し、対応するとともに、関係部署、安全部門へも協力を要請している。

⑫ 職員研修の実施状況

- ・研修の実施状況

新規で採用された医師、歯科医師、医療職員及び事務職員を対象に、4月に初任者研修を実施し、受講させている（令和4年度については新型コロナウイルス感染症対策のためeラーニング形式または部門ごとの研修とした。）。中途採用の職員に対しても、毎月eラーニング形式による研修を実施し、受講させている。

（注）前年度の実績を記載すること（⑥の医師等の所属職員の配置状況については提出年度の10月1日の員数を記入すること）

⑬ 管理者、医療安全管理責任者、医薬品安全管理責任者及び医療機器安全管理責任者のための研修の実施状況

・研修の実施状況

管理者

2023/ 2/ 2 日本医療機能評価機構 特定機能病院管理者研修 [継続]

医療安全管理責任者

2023/ 1/16 日本医療機能評価機構 特定機能病院管理者研修 [継続]

医薬品安全管理責任者

2022/11/21 日本医療機能評価機構 特定機能病院管理者研修 [継続]

医療機器安全管理責任者

2023/ 2/20 日本医療機能評価機構 特定機能病院管理者研修 [継続]

(注) 前年度の実績を記載すること

⑭ 医療機関内における事故の発生の防止に係る第三者による評価の受審状況、当該評価に基づき改善のために講ずべき措置の内容の公表状況、当該評価を踏まえ講じた措置の状況

・第三者による評価の受審状況

公益財団法人日本医療機能評価機構（主たる機能：一般病院3、副機能：精神科病院）

認定期間：2020/ 3/ 6 ～ 2025/ 3/ 5

・評価に基づき改善のために講ずべき措置の内容の公表状況

日本機能評価機構ホームページにより公表

・評価を踏まえ講じた措置

制度に基づき、期中の確認を実施

(注) 記載時点の状況を記載すること

規則第7条の2の2第1項各号に掲げる管理者の資質及び能力に関する基準

管理者に必要な資質及び能力に関する基準	
<ul style="list-style-type: none"> ・ 基準の主な内容 <p>◎鹿児島大学病院長候補者選考実施規則 附属病院長候補者の資格は、人格が高潔で、次に掲げる要件を全て満たす者とする。</p> <ol style="list-style-type: none"> (1) 医師免許を有している者 (2) 医療安全確保のために必要な資質及び能力を有する者 (3) 病院の管理運営に必要な資質及び能力を有する者 <p>◎鹿児島大学病院長候補者選考基準 【病院長に求められる資質及び能力】 附属病院長候補者の資格は、人格が高潔で、次に掲げる要件を全て満たす者とする。</p> <ol style="list-style-type: none"> (1) 医師免許を有し、教育研究及び医療行政に関する識見を有する者 (2) 医療安全確保のために必要な資質及び能力を有する者 (3) 病院の管理運営に必要な資質及び能力を有する者 (4) 鹿児島大学及び鹿児島大学病院の理念の実現に必要な資質及び能力を有する者 <ul style="list-style-type: none"> ・ 基準に係る内部規程の公表の有無 (<input checked="" type="checkbox"/> ・ 無) ・ 公表の方法 鹿児島大学ホームページにおいて公表 	

規則第7条の3第1項各号に掲げる管理者の選任を行う委員会の設置及び運営状況

前年度における管理者の選考の実施の有無	<input checked="" type="checkbox"/> ・ 無
<ul style="list-style-type: none"> ・ 選考を実施した場合、委員会の設置の有無 (<input checked="" type="checkbox"/> ・ 無) ・ 選考を実施した場合、委員名簿、委員の経歴及び選定理由の公表の有無 (<input checked="" type="checkbox"/> ・ 無) ・ 選考を実施した場合、管理者の選考結果、選考過程及び選考理由の公表の有無 (<input checked="" type="checkbox"/> ・ 無) ・ 公表の方法 鹿児島大学病院ホームページにおいて公表 	

管理者の選任を行う委員会の委員名簿及び選定理由

氏名	所属	委員長 (○を付す)	選定理由	特別の関係
馬場 昌範	鹿児島大学	○	病院長候補者選考委員会規則 第3条第1項第1号	<input checked="" type="checkbox"/> ・無
田頭 吉一	鹿児島大学		病院長候補者選考委員会規則 第3条第1項第1号	<input checked="" type="checkbox"/> ・無
井戸 章雄	鹿児島大学		病院長候補者選考委員会規則 第3条第1項第2号	<input checked="" type="checkbox"/> ・無
橋口 照人	鹿児島大学		病院長候補者選考委員会規則 第3条第1項第3号	<input checked="" type="checkbox"/> ・無
西村 正宏	鹿児島大学		病院長候補者選考委員会規則 第3条第1項第4号	<input checked="" type="checkbox"/> ・無
池ノ上 克	宮崎市郡医師会病 院特別参与、 宮崎大学学長顧問		病院長候補者選考委員会規則 第3条第1項第5号	有・ <input checked="" type="checkbox"/> 無
神川 洋一	鹿児島県弁護士会 会長、 弁護士法人照国総 合事務所		病院長候補者選考委員会規則 第3条第1項第5号	有・ <input checked="" type="checkbox"/> 無

規則第9条の23第1項及び第2項に掲げる病院の管理及び運営を行うための合議体の設置及び運営状況

合議体の設置の有無	<input checked="" type="checkbox"/> ・無
<p>・合議体の主要な審議内容</p> <p>(1) 病院の運営管理、経営等に関する重要事項</p> <p>(2) 病院長候補適任者の選考に関する事項</p> <p>(3) その他病院長が必要と認める事項</p> <p>・審議の概要の従業者への周知状況</p> <p>当該合議体に参加した各所属長をとおして、各部門に伝達している。また、イントラネットに会議資料を掲載し、院内の職員全員が閲覧できる環境を整備している。</p> <p>・合議体に係る内部規程の公表の有無 (<input checked="" type="checkbox"/>・無)</p> <p>・公表の方法</p> <p>鹿児島大学ホームページにより公表している。</p> <p>・外部有識者からの意見聴取の有無 (<input checked="" type="checkbox"/>・無)</p> <p>大学本部から、オブザーバーとして、理事、業務監査監事、会計監査監事が出席し、意見を伺っている。</p>	

合議体の委員名簿

氏名	委員長 (○を付す)	職種	役職
坂本 泰二	○	医師	病院長
石塚 賢治		医師	副病院長
杉村 光隆		歯科医師	副病院長
大塚 隆生		医師	副病院長
榎田 英樹		医師	副病院長
小林 裕明		医師	副病院長
宮藺 幸江		看護師	副病院長
吉浦 敬		医師	副病院長
宇都 由美子		看護師	副病院長
家入 里志		医師	副病院長
又木 雄弘		医師	副病院長
谷口 昇		医師	副病院長
岡本 康裕		医師	病院長補佐
大石 充		医師	病院長補佐
西尾 善彦		医師	病院長補佐
曾我 欣治		医師	診療科長
花谷 亮典		医師	診療科長
高嶋 博		医師	診療科長
井上 博雅		医師	診療科長
上田 和弘		医師	診療科長

浅川 明弘		医師	診療科長
中条 哲浩		医師	診療科長
中村 雅之		医師	診療科長
山下 勝		医師	診療科長
金蔵 拓郎		医師	診療科長
田中 達朗		歯科医師	診療科長
松永 明		医師	診療科長
下堂 蘭 恵		医師	診療科長
宮脇 正一		歯科医師	診療科長
南 弘之		歯科医師	診療科長
西谷 佳浩		歯科医師	診療科長
野口 和行		歯科医師	診療科長
西村 正宏		歯科医師	診療科長
橋口 照人		医師	部長
垣花 泰之		医師	センター長
新山 修平		医師	副センター長
古川 良尚		医師	部長
谷本 昭英		医師	部長
上村 修司		医師	部長
田口 則宏		歯科医師	部長
上野 真一		医師	センター長
馬渡 誠一		医師	センター長
山口 泰平		歯科医師	センター長
小賤 健一郎		医師	センター長
西 順一郎		医師	部長
嶽崎 俊郎		医師	センター長
寺 蘭 英之		薬剤師	部長
染矢 朋宏		事務	部長

規則第15条の4第1項第1号に掲げる管理者が有する権限に関する状況

管理者が有する病院の管理及び運営に必要な権限

- ・ 管理者が有する権限に係る内部規程の公表の有無（ 有 ・ 無 ）

- ・ 公表の方法

鹿児島大学ホームページにおいて公表。

- ・ 規程の主な内容

病院長は、病院の管理運営、経営等全ての事項について、意思決定の最終責任者として、業務を掌理する。

- ・ 管理者をサポートする体制（副院長、院長補佐、企画スタッフ等）及び当該職員の役割

副病院長

【役割】 医科統括・総務担当、歯科総括担当

副病院長（特命）

【役割】 経営戦略・医療人材確保担当、医療安全管理・感染制御担当、先端医療・医療の質担当、看護・患者サービス担当、災害対策担当、医療情報・経営分析担当、働き方改革担当、病院再開発担当、周術期支援・手術効率化担当

- ・ 病院のマネジメントを担う人員についての人事・研修の状況

特定機能病院管理者研修（令和4年度開催分）

第3回病院経営次世代リーダー養成塾（令和4年2月17日（木））

第5回病院長塾（令和5年2月9日（木））

第6回医師の働き方改革セミナー（令和5年1月30日（月））

規則第15条の4第1項第2号に掲げる医療の安全の確保に関する監査委員会に関する状況

監査委員会の設置状況	<input checked="" type="checkbox"/> ・無
<p>・ 監査委員会の開催状況：年2回</p> <p>・ 活動の主な内容：</p> <p>(1) 委員会は、医療安全管理責任者、医療安全管理部門、医療安全管理委員会、医薬品安全管理責任者、医療機器安全管理責任者等の業務の状況について病院長等から報告を求め、又は必要に応じ自ら確認すること。</p> <p>(2) 委員会は、必要に応じ、学長又は病院長に対し、医療に係る安全管理についての是正措置を講ずるよう意見を述べること。</p> <p>(3) 委員会は、前各号の業務について、監査報告書を学長に提出するとともに、監査結果を公表すること。</p> <p>・ 監査委員会の業務実施結果の公表の有無（<input checked="" type="checkbox"/>・無）</p> <p>・ 委員名簿の公表の有無（<input checked="" type="checkbox"/>・無）</p> <p>・ 委員の選定理由の公表の有無（<input checked="" type="checkbox"/>・無）</p> <p>・ 監査委員会に係る内部規程の公表の有無（<input checked="" type="checkbox"/>・無）</p> <p>・ 公表の方法： 鹿児島大学病院ホームページにより公表。</p>	

監査委員会の委員名簿及び選定理由（注）

氏名	所属	委員長 (○を付す)	選定理由	利害関係	委員の要件 該当状況
栗原 慎太郎	長崎大学病院	○	医療に係る安全管理に関する識見を有する者	有・ <input checked="" type="checkbox"/> 無	1
蓑毛 まりえ	さくら総合法律事務所		法律に関する識見を有する者	有・ <input checked="" type="checkbox"/> 無	1
三好 綾	NPO法人 がんサポートか ごしま		医療を受ける者	有・ <input checked="" type="checkbox"/> 無	2

(注) 「委員の要件該当状況」の欄は、次の1~3のいずれかを記載すること。

1. 医療に係る安全管理又は法律に関する識見を有する者その他の学識経験を有する者
2. 医療を受ける者その他の医療従事者以外の者（1.に掲げる者を除く。）
3. その他

規則第15条の4第1項第3号イに掲げる管理者の業務の執行が法令に適合することを
確保するための体制の整備に係る措置

管理者の業務が法令に適合することを確保するための体制の整備状況

・体制の整備状況及び活動内容

(1) 業務監査

① 人事事務処理状況に関する監査（実地監査）

監査内容：労務基準法、労働安全衛生法等の遵守状況

実施時期：令和5年10月2日～令和5年10月31日

② 個人情報管理状況に関する監査（実地監査）

監査内容：個人情報保護法等の遵守状況

実施時期：令和5年11月1日～令和5年11月30日

③ 法人文書管理状況に関する監査（実地監査）

監査内容：公文書等の管理に関する法律等の遵守状況

実施時期：令和5年11月1日～令和5年11月30日

④ 情報セキュリティに関する監査（実地監査）

i) 監査内容：情報セキュリティに関する脆弱性診断

実施時期：令和5年4月3日～令和6年2月29日

ii) 監査内容：学内事務システムの情報セキュリティポリシー等の遵守状況

実施時期：令和5年12月1日～令和5年12月22日

(2) 会計監査

監査内容：現金・資金管理、収入・支出、契約、旅費、報酬、資産管理、未収債権及び公
的研究費の会計処理状況等に関する監査

実施時期：（書面監査）令和5年6月1日～令和5年7月31日

（実地監査）令和5年9月1日～令和5年9月29日

・ 専門部署の設置の有無（ ・ 無 ）

・ 内部規程の整備の有無（ ・ 無 ）

・ 内部規程の公表の有無（ ・ 無 ）

・ 公表の方法

鹿児島大学病院ホームページにより公表。

規則第15条の4第1項第3号口に掲げる開設者による業務の監督に係る体制の整備に係る措置

開設者又は理事会等による病院の業務の監督に係る体制の状況			
<ul style="list-style-type: none"> ・ 病院の管理運営状況を監督する会議体の体制及び運営状況 経営協議会で、病院の経営状況について確認を行う。 ・ 会議体の実施状況（年6回） ・ 会議体への管理者の参画の有無および回数（<input checked="" type="checkbox"/>有・無）（年6回） ・ 会議体に係る内部規程の公表の有無（<input checked="" type="checkbox"/>有・無） ・ 公表の方法 鹿兒島大学ホームページにより公表。 			
病院の管理運営状況を監督する会議体の名称：			
会議体の委員名簿			
氏名	所属	委員長 (○を付す)	利害関係
			有・無
			有・無
			有・無
			有・無

(注) 会議体の名称及び委員名簿は理事会等とは別に会議体を設置した場合に記載すること。

規則第15条の4第1項第4号に掲げる医療安全管理の適正な実施に疑義が生じた場合等の情報提供を受け付ける窓口の状況

窓口の状況
<ul style="list-style-type: none">・ 情報提供を受け付けるための窓口の設置の有無 (<input checked="" type="checkbox"/> 有 ・ 無)・ 通報件数 (年 0 件)・ 窓口に提供する情報の範囲、情報提供を行った個人を識別することができないようにするための方策その他窓口の設置に関する必要な定めの有無 (<input checked="" type="checkbox"/> 有 ・ 無)・ 窓口及びその使用方法についての従業者への周知の有無 (<input checked="" type="checkbox"/> 有 ・ 無)・ 周知の方法 鹿児島大学ホームページ及び鹿児島大学病院ホームページに掲載。

(様式第 7)

専門性の高い対応を行う上での取組みに関する書類（任意）

1 果たしている役割に関する情報発信

① 果たしている役割に関する情報発信の有無	<input checked="" type="checkbox"/> 有・無
<p>・ 情報発信の方法、内容等の概要</p> <p>病院概要及病院ホームページにおいて、法令による医療機関の承認・公費負担医療等指定状況等や各診療科の特色を発信している。</p>	

2 複数の診療科が連携して対応に当たる体制

① 複数の診療科が連携して対応に当たる体制の有無	<input checked="" type="checkbox"/> 有・無
<p>・ 複数の診療科が連携して対応に当たる体制の概要</p> <p>救急患者及び複数疾患等においては、診療科を超えて連携して治療にあたっている。</p> <p>医科歯科連携により、医科の病気で入院される患者さんに対し、適切な口腔ケアを徹底して行うことで、イレギュラーな入院の長期化を防ぎ、総体的な入院期間の短縮に貢献している。</p>	